PUB. DIJ-193C

Canon

DIGITAL VIDEO CAMERA

FV M200

使用説明書

はじめに
基本編
応用編
編集する
カードを使う
印刷する
画像転送する
その他

以下の説明書もあわせてご覧ください。

・Digital Video Software 使用説明書

もくじ

はじめに

基本編（自動で撮る／テレビで見る）

応用編（効果的に使う）

編集する

カードを使う

印刷する

画像転送する

その他（ご注意など）

本書の使いかた

このたびは、キヤノンFV M200をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用の前にこの「使用説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後は、大切に保管してください。

本書の記載について

：操作するうえで、守っていただきたいことです。

：基本操作に加えて、知っておいていただきたいことです。

（📖 ○○）：（　）内の数字は参照ページです。

：表示の点滅を示しています。

動作モードです。

操作するボタンやスイッチです。

画面の表示です。

・文中の「画面」は、液晶画面またはファインダーの画面を表しています。
・文中の「カード」は、マルチメディアカードまたはSDメモリーカードを表しています。
・作例写真は、スチルカメラで撮影したものを使用しています。

動作モードについて

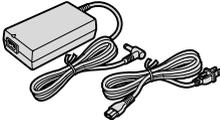
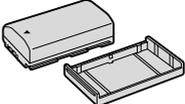
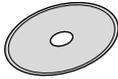
・動作モードは、電源スイッチとテープ/カード切換スイッチの位置で切り換えます。

動作モード	電源スイッチ	テープ/カード切換スイッチ	参照ページ
カメラモード	カメラ		30
再生(VTR)モード	再生（VTR）		37
カードカメラモード	カメラ		98
カード再生モード	再生（VTR）		116

・動作モードによっては、使用できない機能があります。本書では、次のように表示しています。
カメラモード ：使用できます。　カメラモード ：使用できません。

付属品をお確かめください

本機をお使いになる前に、付属品をお確かめください。

FV M200 使用説明書	Digital Video Software 使用説明書	コンパクトパワー アダプター CA-570 電源コード	バッテリーパック NB-2LH
本体用コイン型 リチウム電池 CR1616	リモコン (ワイヤレスコントローラー) WL-D85	リモコン用コイン型 リチウム電池 CR2025	レンズキャップ/ レンズキャップ用ひも
ショルダーストラップ SS-900	ステレオビデオ ケーブル STV-250N	USBケーブル IFC-300PCU	マルチメディアカード MMC-16M
ソフトウェアCD-ROM DIGITAL VIDEO SOLUTION DISK	ワイドアタッチメント WA-34		

必ずお読みください

ためし撮り
必ず事前にためし撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。

記録内容の補償はできません。
万一、ビデオカメラやテープ、カードなどの不具合により記録や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

著作権について
あなたがビデオで録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

長時間録画モードについて
長時間録画（LP）モードは、標準（SP）モードの1.5倍の録画ができる機能です。LPモードでの録画／再生は、テープの特性や使用環境に影響されやすく、再生時、画面にモザイク状のノイズが発生したり、音声が途切れたりする場合があります。大切な撮影にはSPモードをお使いください。

液晶画面やファインダーについて
液晶画面やファインダーは、非常に精密度の高い技術で作られています。99.99%以上の有効画素がありますが、黒い点があらわれたり、赤や青、緑の点が常時点灯することがあります。これは、故障ではありません。なお、これらの点は、記録されません。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報処理装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。

安全上のご注意

ご使用の前に必ず「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

絵表示について：

この使用説明書および製品への表示では、製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。

その表示と意味は次のようになっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告 火災 感電 破裂	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、火災、感電、破裂などによって、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。必ずお守りください。
煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常が発生した場合、すぐに、電源プラグをコンセントから抜くか、バッテリーパックをはずしてください。 そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。 煙が出なくなるのを確認してから、ご購入になった販売店またはキヤノンサービスセンターに修理を依頼してください。 お客様による修理は危険ですからおやめください。	 プラグをコンセントから抜く
本機器を落としたり、外装を破損した場合は、電源プラグをコンセントから抜くか、バッテリーパックをはずしてください。 ご購入になった販売店またはキヤノンサービスセンターに修理を依頼してください。 そのまま使用した場合、火災、感電の原因となります。	 プラグをコンセントから抜く
本機器内部に水、飲料水、海水などの液体が入ったり、濡らしたりしないようにご注意ください。または異物が入った場合は、すぐに、電源プラグをコンセントから抜くか、バッテリーパックをはずしてください。 そのまま使用した場合、火災、感電の原因となります。ご購入になった販売店またはキヤノンサービスセンターにご連絡ください。 特にお子様のいるご家庭では、ご注意ください。	 プラグをコンセントから抜く
風呂場、シャワー室など湿度の高い所に置いたり、使用したりしないでください。 水などが入ると、火災、感電、やけどの原因となります。	 風呂場、シャワー室での使用禁止
バッテリーパック内部に水、飲料水、海水などの液体が入ったり、濡らしたりしないようにご注意ください。 そのまま使用した場合、火災、感電、やけどの原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺、湿度の高い場所などでの使用は、特にご注意ください。	 水濡れ禁止
雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れないでください。 感電の原因となります。	 接触禁止

⚠警告 火災 感電 破裂	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、火災、感電、破裂などによって、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。必ずお守りください。
本機器を海外旅行者用の電子式変圧器や航空機、船舶、DC／ACコンバーターなどの電源に接続しないでください。また、表示された電源電圧や周波数以外では使用しないでください。 火災、感電、けがの原因となります。	 禁止
海外で使用する場合は、その国の電圧、コンセントの形状をお調べください。 火災、感電の原因となります。	 強制
海外で、変換プラグアダプターをご使用の場合、電源プラグの刃を、根元まで入れてください。 根元まで入れない場合、感電の原因となります。	 強制
電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントに溜まったほこりや汚れを、乾いた布で拭き取ってください。 ほこり、湿気、油煙の多いところで、電源プラグを長期間差したままにすると、その周辺に溜まったほこりが湿気を吸って絶縁不良となり、火災の原因になります。	 強制
電源コードを傷つけないでください。 **・加工したり、傷つけたりしないでください。** **・無理に曲げたり、引っ張ったり、重いものを載せたりしないでください。** **・熱器具に近づけたり、加熱したりしないでください。** 電源コードが傷ついたり（芯線の露出、断線等）して、火災、感電の原因となります。コードが傷ついた場合、ご購入になった販売店またはキヤノンサービスセンターにご依頼ください。	 禁止
本機器の外装をはずさないでください。 内部に高電圧の部分がありますので、感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は、ご購入になった販売店またはキヤノンサービスセンターにご依頼ください。	 分解禁止
本機器を分解、改造しないでください。 発熱、火災、感電、けがの原因となります。	 分解禁止
強い衝撃や振動を与えたり、投げつけないでください。 破損により、火災、やけど、けがの原因となります。特に、液晶画面は、ガラス製のため、画面に強い衝撃を与えると、割れてけがの原因となります。	 禁止

⚠警告 ⚠火災 ⚠感電 ⚠破裂	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、火災、感電、破裂などによって、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。必ずお守りください。
指定された充電器を使用してください。 DCプラグの形状が同じでも、電圧や極性が異なる場合があるので、それ以外のものを使用すると、発熱や、変形して、火災、感電の原因となります。	 強制
バッテリーパックは、指定された機器にご使用ください。 それ以外のものに使用すると、バッテリーパックの液漏れ、発熱、破裂の原因となります。	 強制
バッテリーパックを、金属製のネックレス、キーホルダー、ヘアピンなどと一緒に、携帯や保管をしないでください。 バッテリーパックなどの「＋」と「－」の端子がショートされ、高熱や液漏れにより、やけど、けがの原因となります。 持ち運びや保存のときは、必ず付属のショート防止用端子カバーを取り付けてください。	 禁止
本機器の内部や端子部に金属類を入れたり、ショートさせないでください。 火災、感電、けがの原因となります。	 禁止
バッテリーパック、コイン型リチウム電池などを、電子レンジ、オーブンなどで加熱したり、火の中へ投げ入れたりしないでください。 バッテリーパックの破裂により、やけど、けがの原因となります。	 禁止
バッテリーパックから液漏れした時、皮膚や衣服につけたり、目に入れたり、火気に近づけたりしないでください。 皮膚の障害、失明、発火の原因となります。	 禁止
バッテリーパックを電源コンセントや自動車のシガーライターソケットなどに直接接続しないでください。 バッテリーパックの液漏れ、発熱、破裂により火災、やけど、けがの原因となります。	 禁止
コイン型リチウム電池をお子様の手の届かないところへ置いてください。 万一、飲み込んだ場合、電池の金属ケースが壊れて、電池の液で胃、腸が損傷する恐れがありますので、ただちに医師と相談してください。	 強制
お子様が使用のときには、保護者が正しい使用方法を充分に教えてください。また、使用中にもご注意ください。 感電、けがの原因となります。	 強制

⚠警告 火災 感電 破裂	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、火災、感電、破裂などによって、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。必ずお守りください。
乳幼児の手の届かないところで、使用、保管してください。 感電、けがの原因となります。	 強制
自動車などの運転中に、運転者は本機器を操作しないでください。 交通事故の原因となります。	 禁止
撮影しているときは、周囲の状況にご注意ください。 けがや交通事故の原因となります。	 強制
本機器をぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。 落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。	 禁止
ビデオカセットの挿入口などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込まないでください。 そのまま使用した場合、火災、感電の原因となります。	 禁止
ワイドアタッチメントで、太陽や強い光源を直接見ないでください。 失明の原因となります。	 禁止
本機器を、ストーブなどの熱器具に近づけないでください。 外装が変形したり、コードの被覆が溶けて、火災、感電の原因となることがあります。	 禁止
直射日光下や発熱体のそばなど、60℃以上の高温の場所で使用や放置しないでください。 バッテリーパックの液漏れ、発熱、破裂により、火災、やけど、けがの原因となることがあります。	 禁止
コンパクトパワーアダプター、バッテリーパック、ビデオカメラなどを使用中に、温度の高くなる部分に長時間触れないでください。 長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。	 強制

⚠ 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容です。必ずお守りください。

テーブルクロス、じゅうたん、ふとん、クッションなどをかけたまま使用しないでください。
内部に熱がこもり火災の原因となることがあります。

禁止

指定されたバッテリーパックを使用してください。
それ以外のものを使用すると、バッテリーパックの破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を汚す原因となることがあります。

強制

濡れた手で、電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

電源プラグをコンセントから抜くときは必ずプラグを持って抜いてください。
電源コードを引っ張ると、コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

強制

使用しないときは、安全のために、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

プラグをコンセントから抜く

テレビは前面が重いので、アンテナコードやＡＶコードなどを接続するとき、転倒防止の処置をとってください。
テレビが転倒し、けがの原因となることがあります。

強制

コード類は正しく配置してください。
電源コード、DCケーブル、AVケーブルなどに足を引っ掛けたりして、転倒したり、ものが落ちたりして、けがの原因となることがあります。

強制

バッテリーパック、ショルダーストラップ、グリップベルトなどを確実に取り付けてください。
緩んで脱落すると、けがの原因となることがあります。

強制

湿気、油煙、ほこりなどの多い場所に保管しないでください。
火災、感電の原因となることがあります。

禁止

⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容です。必ずお守りください。
お子様がビデオカセットの挿入口から、手を入れないようにご注意ください。 けがの原因となることがあります。	 指をはさまれないよう注意
飛行機内で使用する場合は、乗務員の指示に従ってください。 機器から出る電磁波により、飛行機の計器に影響を与える恐れがあります。	 強制
コイン型リチウム電池を金属のピンセットなどでつかまないでください。 発熱により、やけどの原因となることがあります。	 強制
ワイドアタッチメントを取り付けるときは、確実にねじ込んでください。 緩んで脱落して割れると、ガラスの破片でけがの原因となることがあります。	 強制
フラッシュを人の目に近づけて発光しないでください。 目の近くでフラッシュを発光すると、視力障害を起こす恐れがあります。特に、乳幼児を撮影するときは1m以上離れてください。	 禁止
車の運転者などに向けて、フラッシュを発光したり、ミニビデオライトを点灯させたりしないでください。 事故の原因となります。	 禁止
フラッシュの発光部分を手で覆ったまま発光しないでください。 やけどの恐れがあります。	 禁止

いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

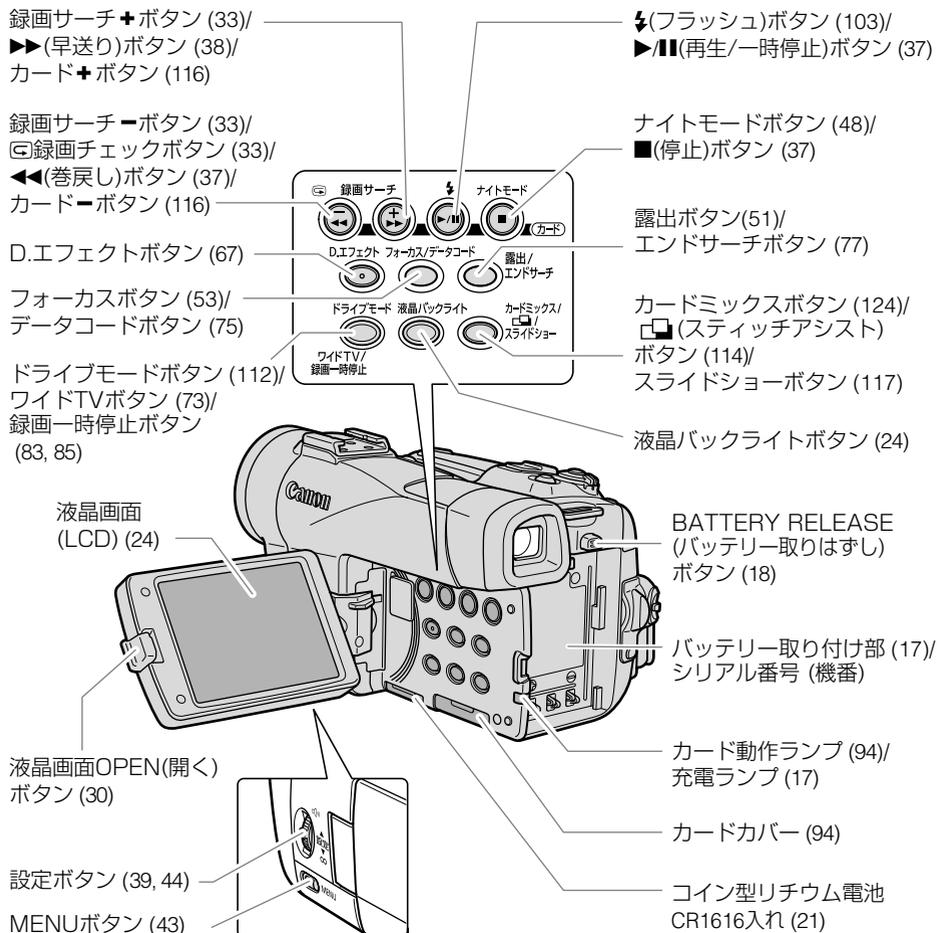
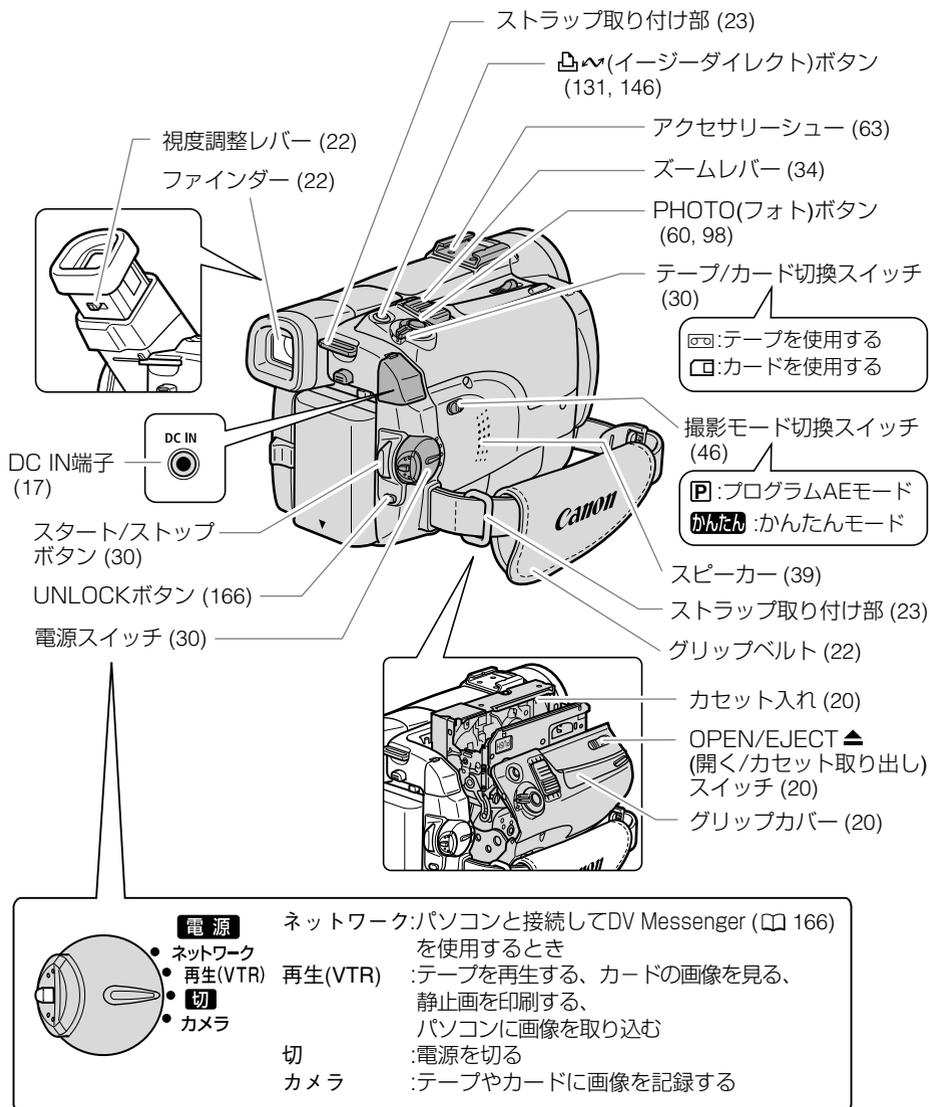
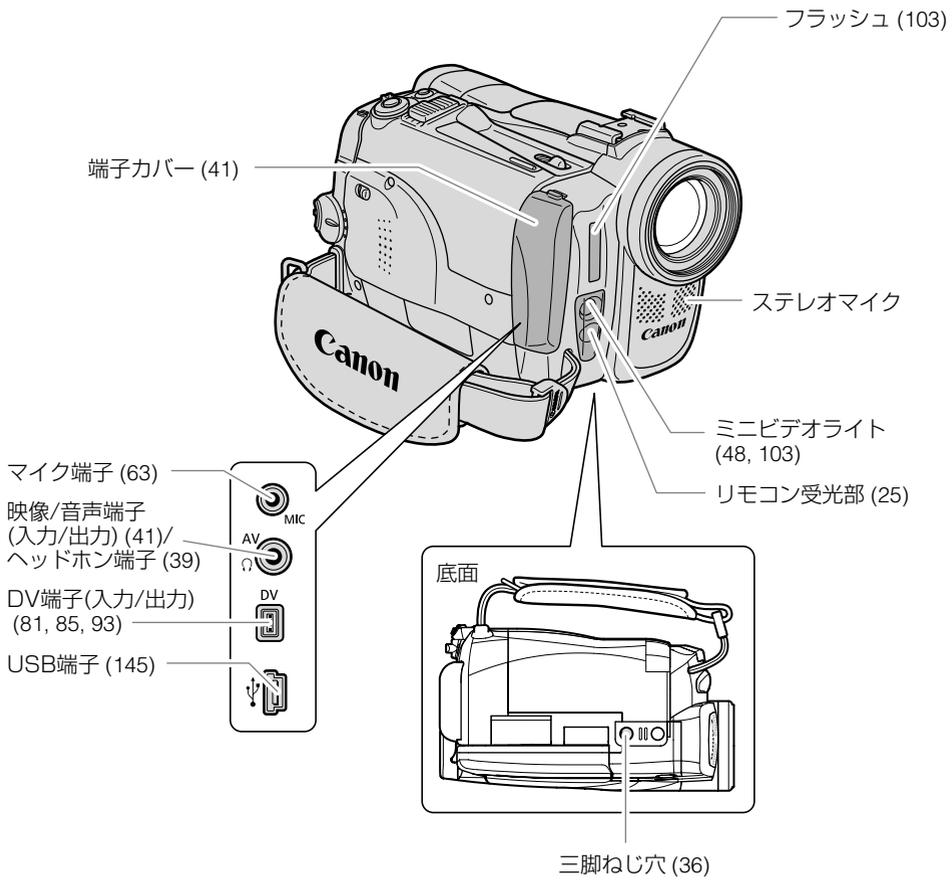
各部の名称

(　)内の数字は参照ページです。

本体

各部の名称ーつづき

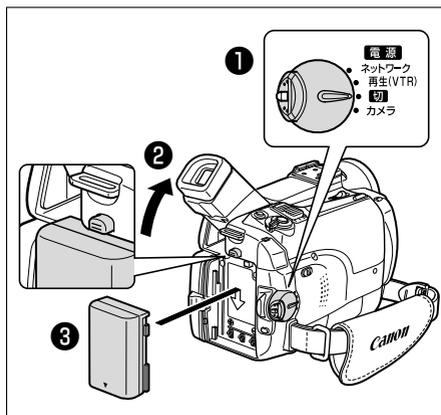
ネットワーク	:パソコンと接続してDV Messenger (🕮 166)を使用するとき
再生(VTR)	:テープを再生する、カードの画像を見る、静止画を印刷する、パソコンに画像を取り込む
切	:電源を切る
カメラ	:テープやカードに画像を記録する

フラッシュ (103)
端子カバー (41)
ステレオマイク
ミニビデオライト
(48, 103)
リモコン受光部 (25)
マイク端子 (63)
映像/音声端子
(入力/出力) (41)/
ヘッドホン端子 (39)
DV端子(入力/出力)
(81, 85, 93)
USB端子 (145)
MIC
AV
DV
底面
三脚ねじ穴 (36)

リモコン WL-D85(25)

① 送信部 (25)	⑩ ゼロセットメモリーボタン (78)
② スタート/ストップボタン (30)	⑪ フォトボタン (60, 98)
③ カード＋／カード－ボタン (116)	⑫ ズームボタン (34)
④ 日付サーチボタン (79)	⑬ 再生ボタン (37)
⑤ 巻戻しボタン (37)	⑭ 早送りボタン (38)
⑥ 逆方向コマ送り/逆方向再生ボタン (38)	⑮ 停止ボタン (37)
⑦ 一時停止ボタン (38)	⑯ 正方向コマ送り/正方向再生ボタン (38)
⑧ スローボタン (38)	⑰ ×2ボタン (38)
⑨ アフレコボタン (90)	⑱ オンスクリーン (画面表示)ボタン (154)

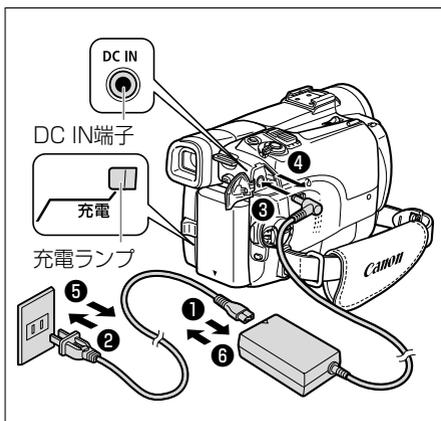
電源を準備する

バッテリーパックは、充電してから使います。

バッテリーパックを取り付ける

❶ 電源スイッチを「切」にする

❷ ファインダーを上げる

❸ バッテリーパックを押し付けながら、カチッとロックされるまで下にずらす

バッテリーパックを使うときは、ショート防止用端子カバーを取りはずします（🕮 179）。

バッテリーパックを充電する

❶ コンパクトパワーアダプターに電源コードを差し込む

❷ 電源プラグをコンセントに差し込む

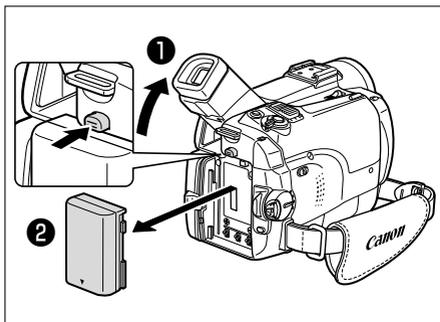
❸ DC IN端子にコンパクトパワーアダプターを差し込む

充電ランプが点滅し、充電が始まります。
充電が終わると、充電ランプが点灯します。

❹ コンパクトパワーアダプターを本機から抜く

❺ 電源プラグをコンセントから抜く

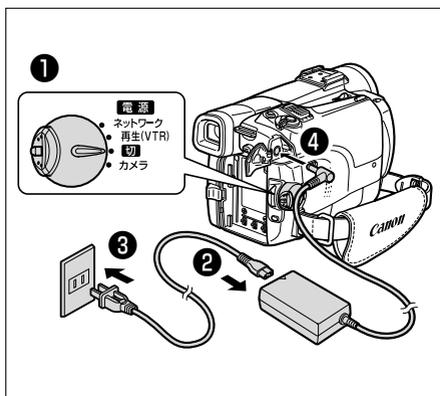
❻ 電源コードをコンパクトパワーアダプターから抜く

次のページへ

バッテリーパックを取りはずす

❶ ファインダーを上げる

❷ BATTERY RELEASEボタンを押しながら、バッテリーパックを上にずらす

家庭用コンセントにつないで使う

本機を家庭用コンセントにつなぐと、バッテリーパックの残量を気にせずに使用できます。
また、バッテリーパックを取り付けたまま使用しても、バッテリーパックは消耗しません。

❶ 電源スイッチを「切」にする

❷ コンパクトパワーアダプターに電源コードを差し込む

❸ 電源プラグをコンセントに差し込む

❹ DC IN端子にコンパクトパワーアダプターを差し込む

❍ コンパクトパワーアダプターを抜き差しするときは、必ずビデオカメラの電源を切ってください。
❍ テレビの近くでコンパクトパワーアダプターを使用すると、テレビ放送の画面にノイズが出ることがあります。コンパクトパワーアダプターをテレビやアンテナケーブルから離してください。
❍ DC IN端子には、指定された製品以外を絶対に接続しないでください。また、コンパクトパワーアダプターを指定された製品以外に接続しないでください。
❍ コンパクトパワーアダプターを使用中、音がすることがありますが、故障ではありません。
❍ バッテリーパックの充電中は、コンパクトパワーアダプターの電源コードを、コンセントから抜き差ししないでください。充電が停止したり、充電ランプが点灯してもバッテリーパックが正しく充電されていないことがあります。このような場合は、バッテリーパックを一度取りはずしてから、取り付けてください。また、充電中に停電が起きた場合も、同様の手順で充電し直してください。

❍ コンパクトパワーアダプター、バッテリーパックに異常があるときは、充電ランプが早い連続した点滅（0.5秒間隔で1回）になり、充電を中止します。

❍ ランプの点滅／点灯が充電した目安の量（残量）を示します。
0〜50% ：約1秒間隔で1回ずつ点滅
50%以上：約1秒間隔で2回ずつ点滅
100% ：点灯

❍ バッテリーパックの充電時間とフル充電したバッテリーパックの使用時間は、次のとおりです。

バッテリーパック		NB-2LH	NB-2L（別売）	BP-2L12（別売）	BP-2L14（別売）
本機での充電時間		約135分	約120分	約210分	約240分
連続撮影時間					
ファインダー使用時		約120分	約100分	約205分	約250分
液晶画面使用時	標準	約95分	約75分	約165分	約205分
	明るい	約85分	約70分	約140分	約180分
実撮影時間*					
ファインダー使用時		約70分	約55分	約120分	約150分
液晶画面使用時	標準	約55分	約45分	約95分	約120分
	明るい	約50分	約40分	約85分	約105分
再生時間		約110分	約90分	約185分	約230分

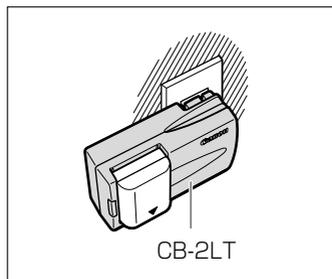
* 実撮影時間は、撮影、撮影一時停止、電源の入/切、ズームなどの操作をくり返したときの撮影時間の目安です。実際には、これよりも短くなることがあります。

❍ 10℃〜30℃の範囲で充電することをおすすめします。0℃未満、40℃以上では、充電ランプが早い連続した点滅になり、充電を中止します。

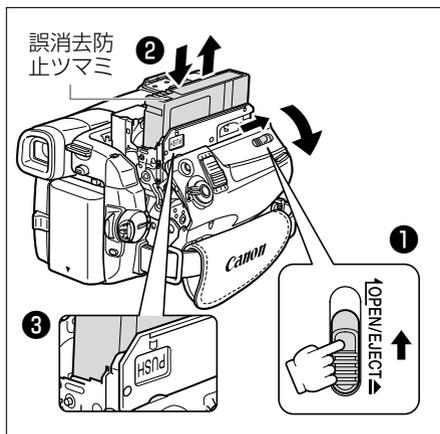
❍ 充電時間は周囲の温度や充電状態によって異なります。

❍ 低温下で使用したときには、使用時間は短くなります。

❍ 別売のバッテリーチャージャーCB-2LTを使って充電できます。詳しくは、バッテリーチャージャーの使用説明書をご覧ください。
バッテリーチャージャーを使用したときのバッテリーパックの充電時間は、次のとおりです。

バッテリーパック	充電時間
NB-2LH	約90分
NB-2L（別売）	約80分
BP-2L12（別売）	約150分
BP-2L14（別売）	約170分

❍ **バッテリーパックは、予定撮影時間の2〜3倍分をご用意ください。**
ビデオカメラの消費電力は、ズームなどの操作によって変化します。そのためバッテリーパックの実際の使用時間は、表記の時間より短くなります。撮影時には、予定撮影時間の2〜3倍のバッテリーパックを用意することをおすすめします。

カセットを入れる／出す

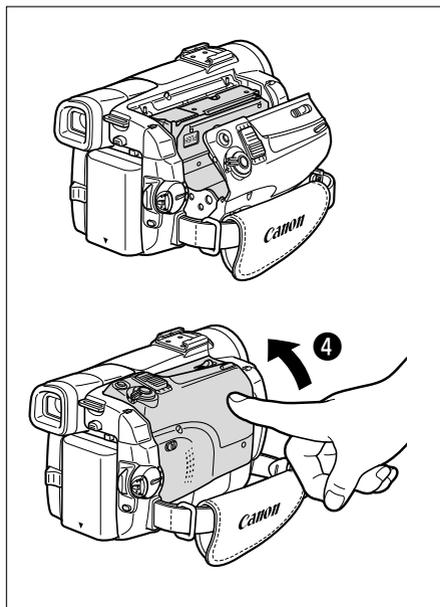
ビデオカセットは、MiniDVマークの付いたものをお使いください。

❶ **OPEN/EJECT⏏スイッチを押し、グリップカバーを止まるまで開く**

カセット入れが自動的に開きます。

❷ **カセットを入れる／出す**

- カセットの透明な窓をグリップ側に向け、誤消去防止ツマミを手前にして入れます。
- カセットを出すときは、カセット入れからまっすぐに引き抜きます。

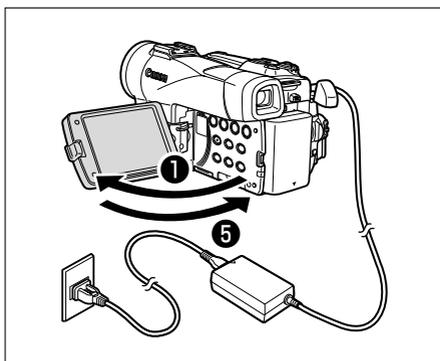
❸ **PUSH マークを押して、カセット入れを閉める**

カセット入れが自動的に収納されます。

❹ **カセット入れが完全に収納されてから、グリップカバーを閉める**

❍ カセット入れが自動的に動いている間は、無理に押したり、動きを妨げたり、グリップカバーを閉じたりしないでください。故障の原因となります。
❍ グリップカバーを閉めるときは、指をはさまないようにご注意ください。

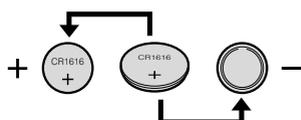
バッテリーパックなどの電源を取り付けていると、電源スイッチが「切」でも、カセットの出し入れはできます。操作が終わると自動的に電源が切れます。

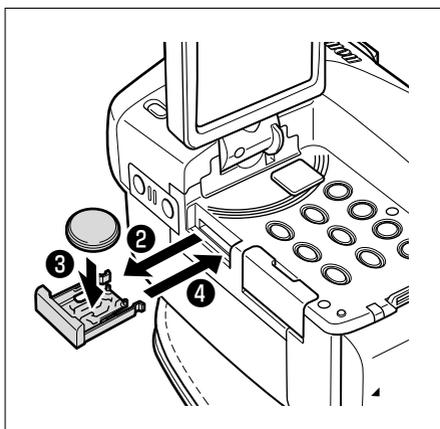
コイン型リチウム電池を入れる

世界時計のエリアや日付、時刻（📖 26）などを記憶するには、コイン型リチウム電池が必要です。お使いになる前に付属のコイン型リチウム電池を入れてください。
電池を交換するときは、コイン型リチウム電池CR1616をお求めください。

❶ OPENボタンを押して液晶画面を開く

電池を交換するときは、日付などのデータを保持するため、コンパクトパワーアダプターなどの電源を取り付けておいてください。

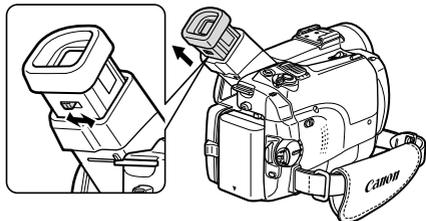
❷ 電池入れを引き抜く

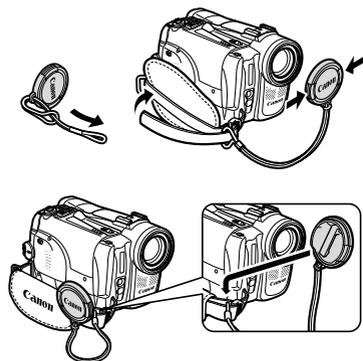
❸ 電池の＋側を下にして、電池を入れる

❹ 電池入れを取り付ける

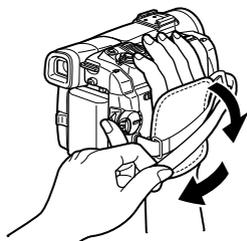
❺ 液晶画面を閉じる

コイン型リチウム電池の交換時期

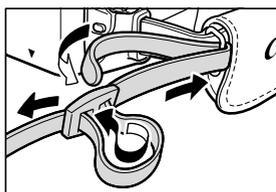
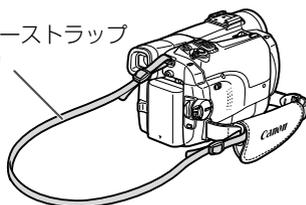
コイン型リチウム電池は約1年使用できます。電池が入っていなかったり、電池の容量が低下すると、「⌂」が画面で赤く点滅し、電池の交換時期を知らせます。

カメラの準備

ファインダーを調整する（視度調整）

電源を入れ、ファインダーを止まるところまで、引き出します。ファインダー内の表示がはっきり見えるように、視度調整レバーを動かして調整します。
ファインダーを使用するときは、必ず液晶画面をカチッと音がするまでしっかりと閉じてください。
ファインダーを収納するときは、押し込んでください。

レンズキャップを取り付ける

付属のひもをレンズキャップの穴に通し、本体のグリップベルトに取り付けます。
レンズキャップを取り付けたり、取りはずすときは、キャップのボタンを押します。
撮影中は、レンズキャップをグリップベルトに引っ掛けておくと便利です。

グリップベルトを調整する

右手で本体を持ちながら、親指でスタート/ストップボタン、人差し指でズームレバーが操作できるように、手の位置を決め、ベルトの長さを調整します。

ショルダーストラップを取り付ける

ワイドアタッチメントWA-34を使う

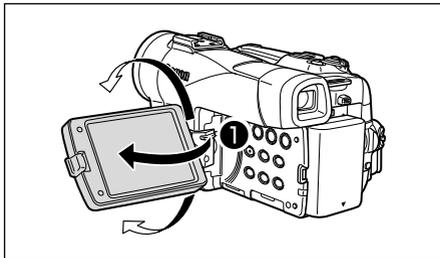
WA-34は、広角撮影を行うための倍率変換レンズで、ズームをワイド端（Wの端）にして使います（0.7倍）。

WA-34を、ビデオカメラのフィルター取り付けねじに完全にねじ込みます。

- ❍ ズームレバーをT側に動かすと、ピントが合いません。
- ❍ ご使用の前には、WA-34とビデオカメラのレンズ面のゴミをブロワーブラシなどで、完全に取り除いてください。また、WA-34には、指紋がつきやすいので、ご注意ください。表面のゴミや指紋にピントが合うことがあります。
- ❍ WA-34を湿度の高い場所で、長期間保管しないでください。カビが生えることがあります。

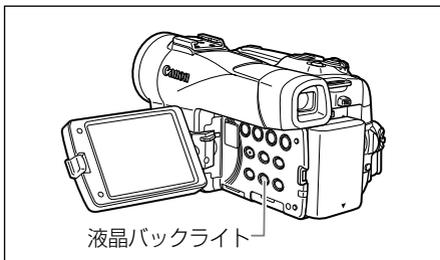
- ❍ WA-34をビデオカメラに取り付けると、リモコンの受光範囲が狭くなったり、フラッシュ／ビデオライトや補助光を使用時に影ができることがあります。
- ❍ WA-34とフィルターは同時に使用できません。

液晶画面を調整する

液晶画面の角度を変える

❶ 液晶画面を90°まで開く

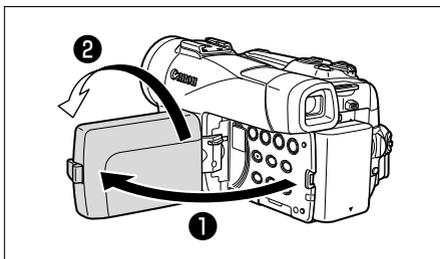
- 90°までファインダー側に回転できます。
- 180°までレンズ側に回転できます。

液晶画面全体を明るくする（液晶バックライト）

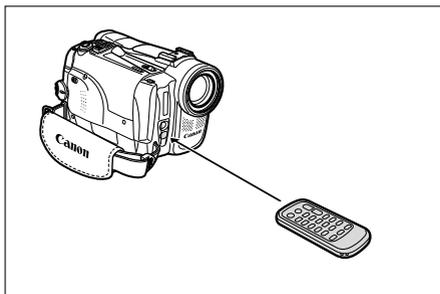
液晶画面の明るさを標準と明るいで切り換えられます。「液晶バックライトボタン」を押すたびに切り換ります。屋外の撮影などに便利です。

液晶バックライトボタンを押す

- ❍ テープやカードに記録される画像の明るさは変わりません。また、ファインダーの明るさも変わりません。
- ❍ バッテリーパック使用時には、液晶画面の明るさ設定は、電源スイッチを操作しても憶えています。
- ❍ 液晶画面を明るくしているとバッテリー使用時間が短くなります。

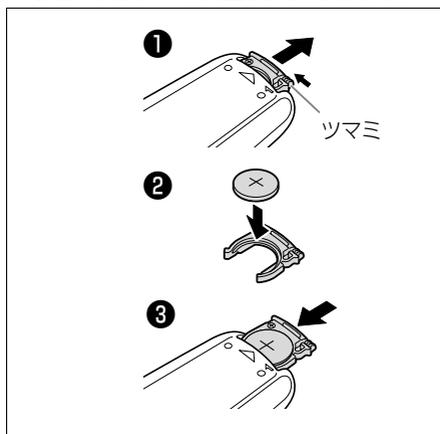
液晶画面を相手に見せながら撮る（対面撮影）

液晶画面を相手に見せながら、ファインダーを使って撮影できます。セルフタイマー（ 📖60）などで、ビデオカメラを固定して大勢で撮影したりするときにも便利です。

液晶画面を90°まで開き、180°まで回転する

リモコンを使う

リモコンの操作のしかた

リモコン受光部に向けて、リモコンのボタンを押す

電池の入れかた

リモコンは、コイン型リチウム電池（CR2025）で動作します。

❶ ツマミを矢印の方向に押しながら、電池入れを引き抜く

❷ 電池を入れる

電池の＋側を上にして、電池入れに入れます。

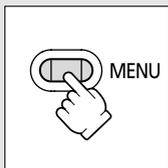
❸ 電池入れを取り付ける

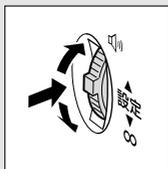
❍ リモコンの受光部に直射日光や照明などの強い光が当たっていると、正常に動作しないことがあります。
❍ リモコンで操作できないときは、必ず本体のメニューの「システム設定」で、「リモコンセンサー」が「入」になっていることを確認してください。
❍ リモコンのボタンを押しても動作しなくなったり、本体に近づかないと動作しなくなったときは、電池を交換してください。

日時を設定する

はじめてお使いになる場合や、コイン型リチウム電池を交換した場合には、画面に「エリア／日時を設定してください」の表示が出ます。日付／時刻を設定する前に、世界時計のエリアを設定してください。

世界時計のエリアを選ぶ

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

1 MENUボタンを押す

- メニューが出ます。

2 「システム設定」を選ぶ

① 設定ボタンを上／下に押して、選択枠を「システム設定」に合わせます。

② 設定ボタンをまっすぐ押すと、「システム設定」サブメニューが出ます。

3 「エリア／サマータイム」を選ぶ

① 設定ボタンを上／下に押して、選択枠を「エリア／サマータイム」に合わせます。

② 設定ボタンをまっすぐ押すと、「エリア／サマータイム」だけの表示になります。

- はじめてお使いになる場合は「トウキョウ」が最初に表示されます。

③ 設定ボタンをまっすぐ押すと、「システム設定」サブメニューに戻ります。

日付／時刻を設定する

カメラモード　再生(VTR)モード　｜　カードカメラモード　カード再生モード

4「日時設定」を選ぶ

① 設定ボタンを上／下に押して、
選択枠を「日時設定」に合わせます。

② 設定ボタンをまっすぐ押すと、
「日時設定」だけの表示になります。

5 日付と時刻を設定する

例：2005年10月1日午前9時20分に設定する

① 設定ボタンをまっすぐ押して、
項目を選びます。選んだ項目が点滅します。
押すたびに、年→月→日→時→分と項目が変わります。

② 設定ボタンを上／下に押して、数字を選びます。

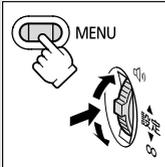
①と②の操作をくり返して設定します。

③ 時報に合わせて、MENUボタンを押します。
内蔵時計が動き始めます。

次のページへ

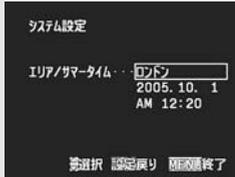
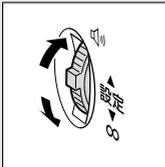
撮影時に日時を表示する

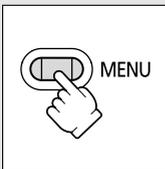
本機では、撮影中に現在の日時を画面の左下に表示できます。

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

① MENUボタンを押す
②「表示設定」➤「日時表示」➤「入」を順に選ぶ
・設定ボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。
③ MENUボタンを押す

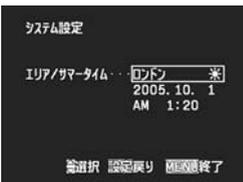
旅行先のエリアを選ぶ

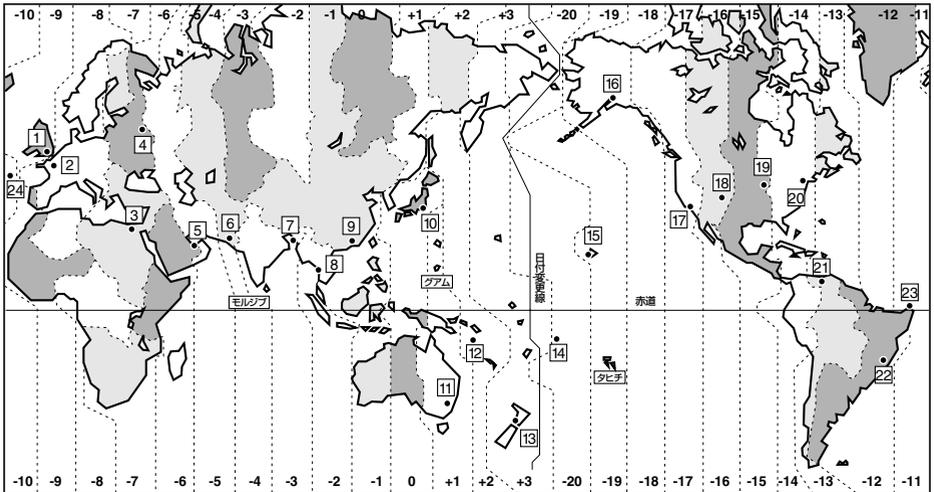
本機の世界時計機能では、主要都市を含む世界24ケ所の標準時間を表示できます。海外へ旅行したときに「エリア」の設定を旅行先に変えるだけで、日時は現地時間に変わります。

26ページの操作3-②のあと

1 エリアを選ぶ

- 設定ボタンを上／下に押します。
- 押すたびに都市名が変わり、その都市の日付／時刻になります。

2 MENUボタンを押す

- メニューが消えます。

サマータイムを設定するときは

都市名の右に ☀ マークの付くものを選んでください。

世界時計の都市と代表国

都市番号と都市名と日本との時差			代表国/代表地域
1	ロンドン	グリニッチ標準時 -9	イギリス（GMT：グリニッチ標準時）、ポルトガル
2	パリ	-8	イタリア、オランダ、スイス、スウェーデン、スペイン、ドイツ、中央ヨーロッパ標準時（CET）
3	カイロ	-7	エジプト、ギリシャ、トルコ
4	モスクワ	-6	イラク、ケニア、サウジアラビア、ロシア（モスクワ）
5	ドバイ	-5	アラブ首長国連邦
6	カラチ	-4	パキスタン、モルジブ
7	ダッカ	-3	インド、バングラデシュ
8	バンコク	-2	カンボジア、タイ、ベトナム、ジャカルタ
9	ホンコン	-1	オーストラリア西部（パース）、シンガポール、台湾、中国、フィリピン、ボルネオ島、バリ島
10	トウキョウ	日本標準時（JST）	日本、韓国
11	シドニー	+1	オーストラリア東部（シドニー、ゴールドコースト）、グアム、サイパン
12	ソロモン	+2	ニューカレドニア
13	ウェリントン	+3	ニュージーランド、フィジー
14	サモア	-20	西サモア
15	ホノルル	-19	タヒチ、ハワイ/米国ハワイ標準時（HST）
16	アンカレジ	-18	アンカレジ/米国アラスカ標準時（AST）
17	ロサンゼルス	-17	サンフランシスコ、ロサンゼルス/米国太平洋標準時（PST）、カナダ西海岸
18	デンバー	-16	デンバー/米国山地標準時（MST）
19	シカゴ	-15	シカゴ、ダラス/米国中部標準時（CST）、メキシコ
20	ニューヨーク	-14	ニューヨーク、ワシントン/米国東部標準時（EST）、モントリオール/カナダ東海岸、ペルー
21	カラカス	-13	チリ、ベネズエラ
22	リオ	-12	アルゼンチン、ブラジル
23	フェルナンド	-11	フェルナンドデノロニャ島（ブラジル）
24	アゾレス	-10	アゾレス諸島（ポルトガル）

テープに動画を撮る

撮影する前に

必ず事前にためし撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。大切な撮影の前には市販の乾式のクリーニングカセットを使って、ビデオヘッドをきれいにしてください。

液晶画面を見ながら撮る

❶ レンズキャップをはずす

❷ カメラモードにする

1. 電源スイッチを「カメラ」にする
2. テープ/カード切換スイッチを「 」にする

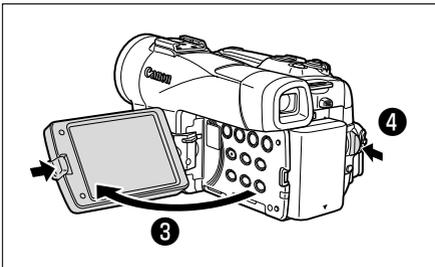
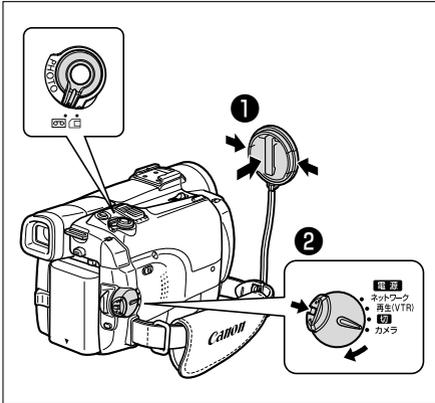
● 電源スイッチは、緑のボタンを押しながら「カメラ」に合わせます。

❸ 液晶画面を開く

OPENボタンを押して開き、見やすい角度に調整します。

❹ スタート/ストップボタンを押す

● 撮影（録画）が始まります。

● スタート/ストップボタンをもう一度押すと、撮影一時停止になります。

撮影が終わったら

❶ 電源スイッチを「切」にする

❷ 液晶画面を垂直にしてから閉じる

カチッと音がするまでしっかりと閉じてください。

❸ レンズキャップをつける

❹ カセットを取り出す

❺ バッテリーパックを取りはずす

- **撮影一時停止中は、テープとヘッドの保護のために、約5分で電源が切れます。電源が切れる約20秒前に、画面中央に「⚠AUTO POWER OFF」が出ます。撮影を続けるときは、電源スイッチを一度「切」にしてから、電源を入れ直してください。**
- カセットを入れた直後は、テープカウンターが完全に止まってから、撮影を始めてください。
- カセットを取り出さなければ、電源を切っても、次の場面をきれいにつないで撮影できます。
- 屋外など周囲が明るい場所で撮影するときに液晶画面が見にくい場合は、ファインダーで見ながら撮影してください。
- 大きな音の近く（打ち上げ花火や太鼓、コンサートなど）で撮影すると、音が歪んだり、実際より小さく記録されることがあります。これは故障ではありません。

次のページへ

テープ撮影中の画面表示について

①タイムコード（撮影時間表示）

撮影時間を「時：分：秒」で表示します。
・本機はドロップフレーム方式を採用しています。ドロップフレーム方式では、30フレーム/秒でカウントするタイムコードと、フレーム周期が29.97秒のNTSC映像信号との間に生じるズレを自動的に補正し、より高精度の編集が可能です。

②テープの残量表示と「 END」の点灯

テープの残量時間を「分」で表示します。
撮影中は、「 」が動きます。
撮影中にテープがなくなると「 END」が点灯し、停止します。
・撮影時間が15秒以下のときは残量表示が出ないことがあります。
・テープの残量表示は、テープの種類によっては、正しく表示されないことがあります。

③バッテリーパックの残量表示

バッテリーパックの残量の目安を表示します。

・バッテリーパックが消耗すると「 」が赤く点滅します。充電したバッテリーパックと交換してください。
・消耗したバッテリーパックを装着すると、電源が入らなかったり、「 」が出ずに切れたりすることがあります。
・残量と表示内容はビデオカメラ、バッテリーパックの状態により必ずしも一致しません。

④「 」の点滅

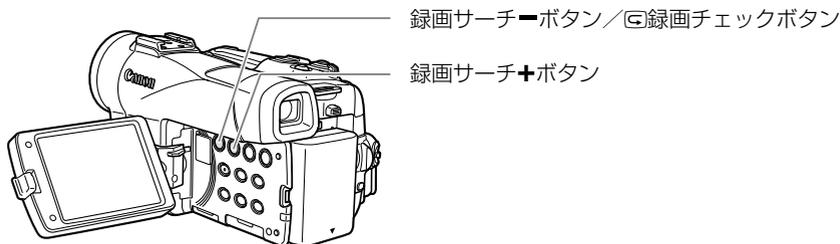
コイン型リチウム電池が入っていなかったり、電池の容量が低下すると、「 」が赤く点滅します。新しいコイン型リチウム電池と交換してください。

⑤お知らせタイマー

撮影を始めてから約10秒間、撮影時間を表示します。
・1つの場面の撮影時間が短いと、落ち着きのない画面になりがちです。お知らせタイマーを見ながら、撮影すると便利です。

テープに撮影した画像を確認する（録画チェック／録画サーチ）

録画チェック	最後に撮影した場面を、画面で確認できます。
録画サーチ	撮影した場面を再生して、撮り直しや続けて撮影したい場面を探せます。

基本編 撮る

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

録画チェック

撮影一時停止中 録画チェックボタンをポンと押す

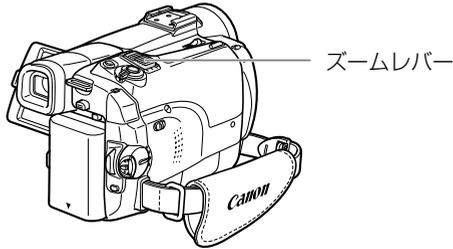
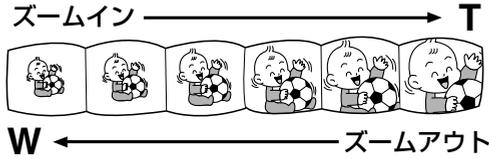
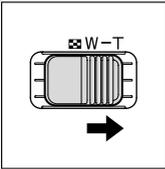
撮影した最後の場面（約3秒間）が再生され、撮影一時停止に戻ります。

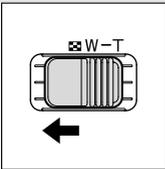
録画サーチ

撮影一時停止中 録画サーチ+／ーボタンを押し続ける

押し続けている間、再生されます。ボタンを離すと、その場面で撮影一時停止になります。

ズームを使って撮る

20倍光学ズームに加えて、400倍のデジタルズームを装備しています。カードカメラモードでは、デジタルズームは80倍になります。

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

ズームインする

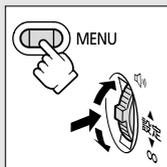
- ズームレバーをT側に引きます。
- 被写体が大きくなり、ズームインになります。

ズームアウトする

- ズームレバーをW側に押します。
- 被写体が小さくなり、ズームアウトになります。

❍ ズームレバーを少し動かすと低速ズームに、さらに動かすと高速ズームになります。リモコンでは、ズームスピードは一定です。
❍ 撮影一時停止中は、より速いズームができます。
❍ 撮影中ズームを使いすぎると、落ち着きのない画面になります。効果的にお使いください。
❍ ズームをしながら撮影するときは、被写体から1m以上離れてください。W側いっぱいに動かすと、約1cmまで近づいて撮影できます。
❍ Tはtelephoto（テレフォト）（望遠）、Wはwide（ワイド）（広角）の頭文字です。

デジタルズームを設定する

デジタルズームを設定していて、光学ズーム領域を越えると、自動的にデジタルズームになります。デジタル領域では画像をデジタル処理するため、拡大するほど画像が粗くなります。

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

① MENUボタンを押す

②「カメラ設定」➤「デジタルズーム」➤ 設定内容を順に選ぶ

・設定ボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。

③ MENUボタンを押す

❍ ナイトモードでは、デジタルズームは使用できません。

❍ マルチ画面を設定しているとき、スティッチアシストで撮影するときは、デジタルズームは使用できません。

❍ ズームレバーを操作すると、約4秒間、ズーム表示が出ます。デジタルズーム領域は、80倍までは水色、80倍から400倍までは青色で表示されます。

よりよいビデオ撮影のために

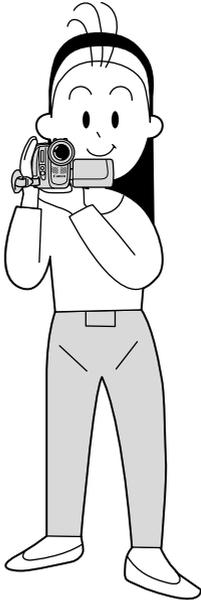
ビデオカメラ本体の持ちかた

ビデオカメラを持つときは、マイクやレンズに指がかからないようにしてください。

一番安定した構えかた

・ 右手でグリップを持ち、右脇をしめる。
・ 左手は軽くカメラの底にそえて安定させる。

ライティング

屋外でのビデオ撮影では、太陽を背に撮影することをおすすめします。

安定した撮影をするためには

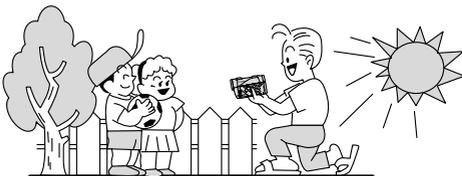
状況に合わせて構えかたを変えましょう。

液晶画面は角度が変えられますので、姿勢に合わせて調整します。

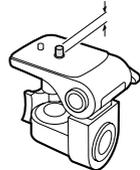
・ 壁に寄りかかる

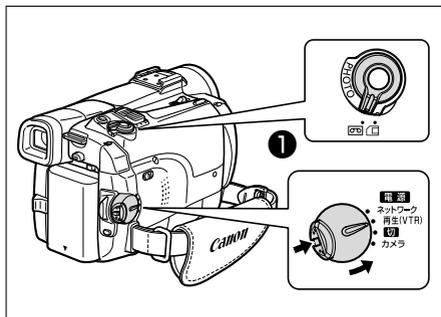
・ テーブルなどを利用して本体を置く

・ ひじをたてて地面に伏せる

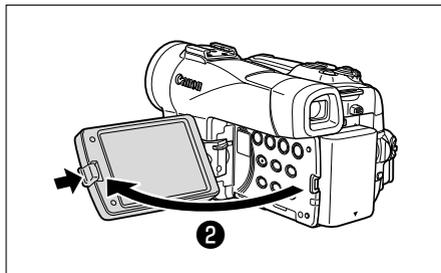
・ 片膝立ちになる

・ 三脚を使う

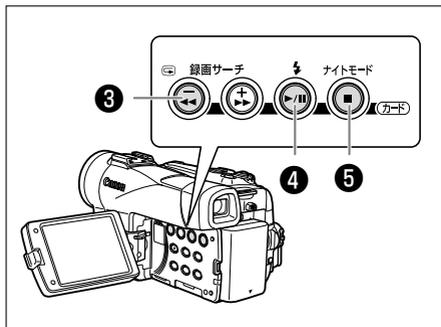
三脚を使うときには

・ 直射日光がファインダー内に入ると、レンズが光を集めるためにファインダーの回りが溶けてしまいます。ファインダーを太陽に向けないでください。
・ 三脚は、必ず取り付けネジの長さが5.5mm未満のものをご使用ください。5.5mm以上のネジ長のものを使用すると、本体を破損することがあります。

テープを再生する

再生画面がおかしいときは
ビデオヘッドが汚れている場合があります。市販の乾式のヘッドクリーニングカセットを使ってビデオヘッドをきれいにしてください。

❶ 再生（VTR）モードにする

1. 電源スイッチを「再生（VTR)」にする
2. テープ/カード切換スイッチを「📼」にする

● 電源スイッチは、緑のボタンを押しながら「再生（VTR)」に合わせます。

❷ 液晶画面を開く

● OPENボタンを押して開き、見やすい角度に調整します。

❸ ◀◀ボタンを押す

テープが巻戻ります。

❹ ▶/❚❚ボタンを押す

再生が始まります。

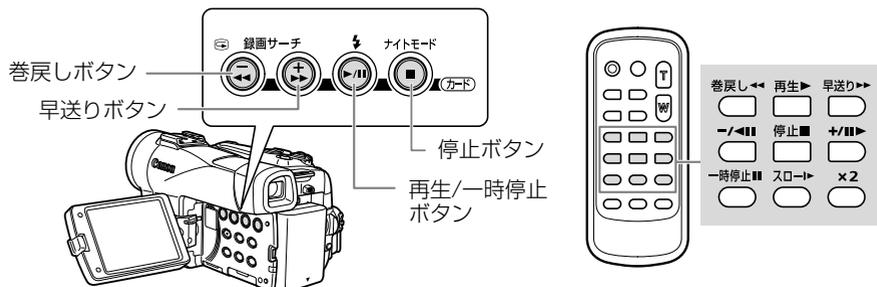
❺ ■ボタンを押す

再生が終わります。

❍ 液晶画面を閉じると、ファインダーで再生画面を見ることができます。

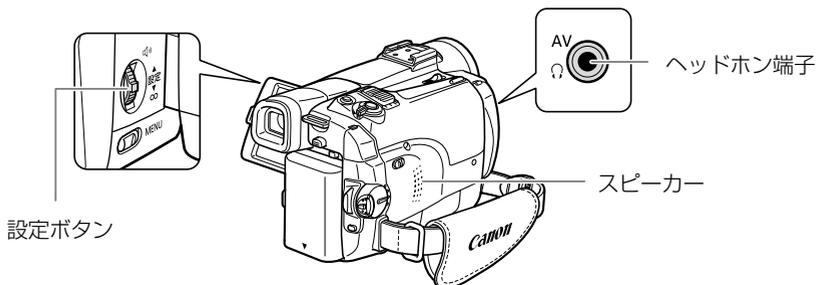
❍ **画面表示について**
再生時のタイムコードは、「時：分：秒：フレーム」で表示されます。また、テープ残量表示は、再生時間が15秒以下のとき、表示されないことがあります（📖 32)。

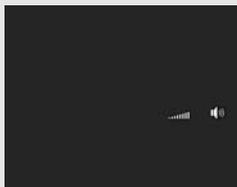
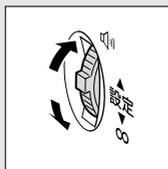
次のページへ

いろいろな再生

早送り再生 ▶▶	再生／早送り中に▶▶(早送り)ボタンを押し続けると、約9.5倍の早送り再生になります。
巻戻し再生 ◀◀	再生／巻戻し中に◀◀(巻戻し)ボタンを押し続けると、約9.5倍の巻戻し再生になります。
再生一時停止 ▶II	再生中に▶/II(一時停止)ボタンを押します。
逆方向再生 ◀×1	再生中にリモコンの−/◀IIボタンを押します。再生▶ボタンを押すと、ふつうの再生に戻ります。
コマ送り ◀II　II▶	再生一時停止中にリモコンの＋/II▶または−/◀IIボタンを押すと、押すたびに１コマずつ送られます。押し続けると連続コマ送りになります。
スロー再生 ◀I　I▶	再生／逆方向再生中にリモコンのスローI▶ボタンを押すと、通常の約1/3のスロー再生になります。再生▶ボタンを押すと、ふつうの再生に戻ります。
2倍速再生 ◀×2　2×▶	再生／逆方向再生中にリモコンの×2ボタンを押します。再生▶ボタンを押すと、ふつうの再生に戻ります。

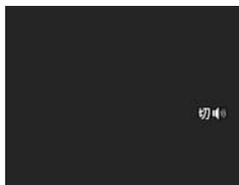
- いろいろな再生機能を使って再生したときは、音声は聞こえません。
- 再生機能によっては、画面が多少乱れることがあります。
- 再生一時停止が約5分以上続くと、テープとヘッドの保護のため、自動的に停止状態になります。再生するときは、もう一度再生ボタンを押します。

音量を調整する

液晶画面で再生するときに、同時にスピーカーで音声も聞くことができます。液晶画面を閉じるとスピーカーは切れます。ファインダーで見るときは、ヘッドホンを使って音声を聞きます。

スピーカーの音量を調整する

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

設定ボタンを上／下に押す

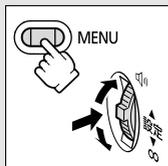
- 音量表示が出ます。調整を終えると、約2秒後に表示は消えます。

音声の消しかた

- 設定ボタンを下に押し続けます。音量表示が消え、「切」が出ます。
- 再び音声を聞くときは、設定ボタンを上に押します。

次のページへ

ヘッドホンの音量を調整する

ヘッドホン端子は、映像/音声（AV）端子と共通です（📖41）。ヘッドホンは、画面に「🎧」の表示が出ているときに使用できます。「🎧」が出ていない場合は、設定を変更します。

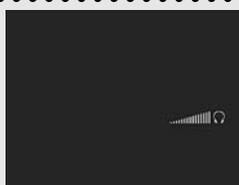
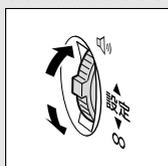
カメラモード　再生(VTR)モード　|　カードカメラモード　カード再生モード

① MENUボタンを押す

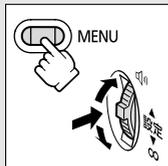
②「VTR設定」➤「AV/ヘッドホン🎧」➤「ヘッドホン🎧」を順に選ぶ

・設定ボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。

③ MENUボタンを押す

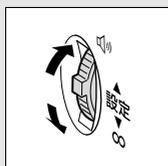
・「🎧」の表示が出ます。

カメラモード　再生(VTR)モード　|　カードカメラモード　カード再生モード

再生中 設定ボタンを上／下に押す

カメラモード　再生(VTR)モード　|　カードカメラモード　カード再生モード

1 「🎧音量」を選ぶ

① MENUボタンを押す

②「オーディオ設定」➤「🎧音量」を選ぶ

・設定ボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。

2 設定ボタンを上／下に押す

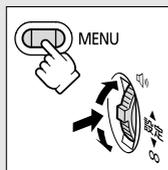
❍ 画面に「🎧」の表示が出ていないときは、ヘッドホンを接続しないでください。表示が出ていないときに、ヘッドホンを接続すると、雑音が出ます。

❍ ヘッドホンに設定しているときは、スピーカーから音声は出ません。

テレビで見る

映像/音声端子は、ヘッドホン端子と共通です（📖 40）。映像/音声端子を使うときに、画面に「🎧」の表示が出ている場合は、設定を変更します。

映像/音声端子を使う

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

① MENUボタンを押す

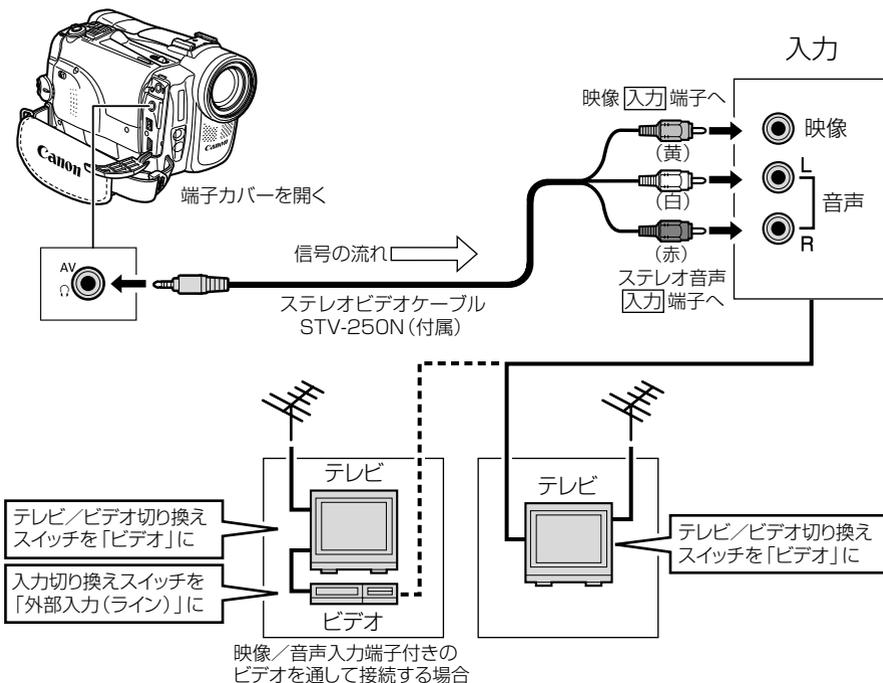
② 「VTR設定」➤「AV/ヘッドホン🎧」➤「AV」を順に選ぶ

・設定ボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。

③ MENUボタンを押す

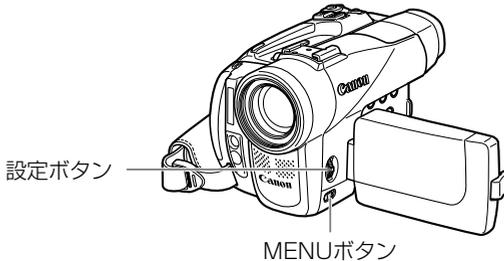
映像/音声入力端子付きのテレビにつないで見る　ステレオ

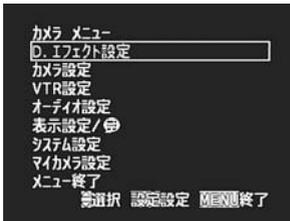
接続は、各機器の電源を切って行います。接続する機器の使用説明書もあわせてご覧ください。

入力
映像 入力 端子へ
映像
（黄）
（白）
L
音声
（赤）
R
ステレオ音声 入力 端子へ
端子カバーを開く
AV
信号の流れ
ステレオビデオケーブル
STV-250N（付属）
テレビ
テレビ／ビデオ切り換えスイッチを「ビデオ」に
入力切り換えスイッチを「外部入力（ライン）」に
ビデオ
映像／音声入力端子付きのビデオを通して接続する場合
テレビ
テレビ／ビデオ切り換えスイッチを「ビデオ」に

次のページへ

- ❍ 本機にコンパクトパワーアダプターを接続して、家庭用のコンセントで使うことをおすすめします。
- ❍ **ビデオ方式 IDシステム（ID-1）方式対応のテレビの場合**
  本機のワイドテレビ用「ワイドTV」機能（🕮 73）で撮影した映像をテレビで見るときに、映像入力端子につないで再生すると、自動的にワイド画面に切り換わります。

ご購入時の設定を変える（メニュー）

本機のさまざまな機能について、ご購入時の設定をメニューから変更できます。
メニュー項目は、メニュー一覧（🕮 152〜165）をご覧ください。

メニュー画面下部の緑でマークされている表示は、本体上のボタンを表しています。

カメラ メニュー
D.エフェクト設定
カメラ設定
VTR設定
オーディオ設定
表示設定/
システム設定
マイカメラ設定
メニュー終了
選択 設定設定 MENU終了

選択	設定ボタンを上／下に押して、設定内容を選択します。
設定 設定	設定ボタンをまっすぐ押して、設定します。
設定 戻り	設定ボタンをまっすぐ押して、前のメニューに戻ります。
MENU 終了	MENUボタンを押して、メニューを終了します。

ここでは、カメラモードのときに、本体で操作する場合で説明しています。
例：「デジタルズーム」を「80×」に設定する

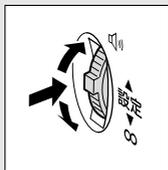
1 MENUボタンを押す

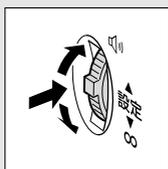
● メインメニューが出ます。

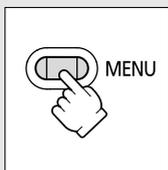
次のページへ

2 項目を選ぶ

①設定ボタンを上／下に押して、選択枠を設定する項目に合わせます。
②設定ボタンをまっすぐ押すと、選んだ項目のサブメニューが出ます。

3 機能を選ぶ

①設定ボタンを上／下に押して、選択枠を設定する機能に合わせます。
②設定ボタンをまっすぐ押すと、選んだ機能だけの表示になります。

4 設定内容を選び、設定する

①設定ボタンを上／下に押して、選択枠を設定する設定内容に合わせます。
②設定ボタンをまっすぐ押すと、サブメニューに戻ります。

5 MENUボタンを押す

- メニューが消えます。
- シャッタースピード、ホワイトバランスと言語以外の機能は、4-②の操作の代わりにMENUボタンを押しても選択内容を設定し、メニューを終了できます。

❍ 他の機能の設定内容などにより設定できない項目は、紫色で表示されます。
❍ MENUボタンを押すと、メニューはいつでも終了します。

撮影場面や目的に合わせて撮る（プログラムAE）

撮影モードについて

撮影シーンに合わせて、撮影モードを選びます。

かんたんモード

すべてをカメラまかせ。
スタート/ストップボタンを押すだけで、簡単に撮影できるモードです。メニューなどで、設定できない機能があります。

オートモード

カメラまかせで撮影できるモードですが、メニューなどで、細かく設定できます。

スポーツモード

テニスやゴルフなど、動きの速い被写体の撮影に適しています。

ポートレートモード

背景や被写体の手前にあるものをボカし、被写体を引き立たせて撮影します。ズームを望遠（T）側にすると、背景のボケの効果がより大きくなります。

スポットライトモード

スポットライトなどで照明されたシーンや花火などをきれいに撮影できます。

サーフ&スノーモード

夏の海岸や冬のスキー場など、照り返しが強い場所でも被写体が暗くなるのを防ぎ、鮮明に撮影できます。

ローライトモード

多少暗いところや暗くても照明が使えない場所で、被写体を明るく撮影できます。

撮影モードによって、操作できる機能が異なります。

<table>
<tr><th>撮影モード</th><th>□
かんたん</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th></tr>
<tr><td>手ぶれ補正</td><td>×（入）＊</td><td colspan="6">○</td></tr>
<tr><td>フォーカス（ピント合わせ）</td><td rowspan="3">×
（オート：
自動調整）</td><td colspan="6">○</td></tr>
<tr><td>ホワイトバランス</td><td colspan="6">○</td></tr>
<tr><td>シャッタースピード</td><td>○</td><td colspan="5">×（オート：自動調整）</td></tr>
<tr><td>露出ロック／補正</td><td rowspan="3">×</td><td colspan="6">○</td></tr>
<tr><td>デジタルエフェクト</td><td colspan="6">○</td></tr>
<tr><td>カードミックス</td><td colspan="6">○</td></tr>
</table>

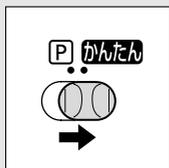
○：操作できます。　×：操作できません。　（網掛け）：カメラモードのときのみ
＊常に「入」に設定されています。

撮影モードの選びかた

カメラモード 再生(VTR)モード | **カードカメラモード** カード再生モード

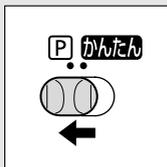
1

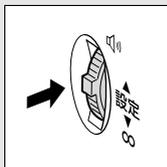
□ **かんたんモードの場合**

撮影モード切換スイッチを「かんたん」にする

- 「□ かんたん」の表示が出ます。

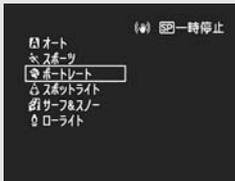
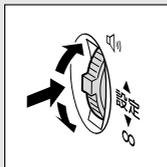
1

□ **かんたんモード以外の場合**

撮影モード切換スイッチをⓅにする

2

設定ボタンをまっすぐ押す

● プログラムAEメニューが出ます。

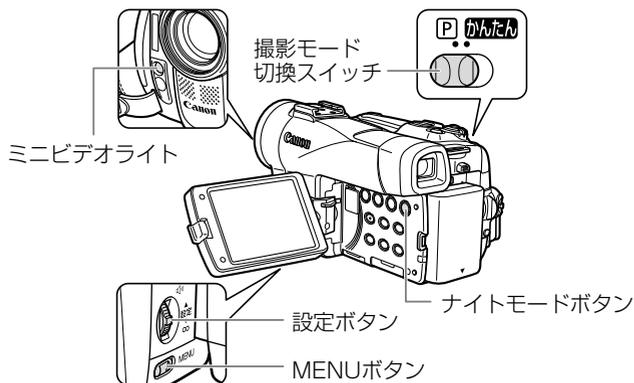
3

撮影モードを選ぶ

①設定ボタンを上／下に押して、選択枠を撮影したいモードに合わせます。
②設定ボタンをまっすぐ押すと、選んだモードのアイコン表示が出ます。

❍ プログラムAEモードの設定は、一度、撮影モード切換スイッチを「かんたん」にした後にⓅに戻すと、「オート」になります。
❍ プログラムAEモードを変えると、映像の明るさが一時的に大きく変化することがありますので、撮影中はモードを変えないでください。
❍ AEは、自動露出の意味です。（Auto-Exposure）
❍ スポーツモード／ポートレートモード：
再生すると、なめらかに見えないことがあります。
❍ サーフ&スノーモード：
・ 曇りや日陰など周囲が暗いときには、被写体が明るくなり過ぎる場合があります。画面で映像をご確認ください。
・ 再生すると、なめらかに見えないことがあります。
❍ ローライトモード：
・ 動きのある被写体は、尾を引いたような残像になります。
・ 明るく撮影できる分、通常の撮影に比べて画質が多少劣化することがあります。
・ 自動でピントが合いにくいときは、手動でピントを合わせてください。

応用編

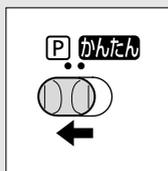
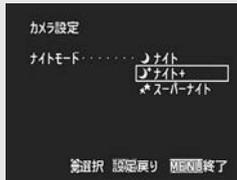
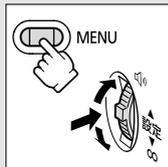
ナイトモードを使う

ナイト	夜景や暗くても照明が使えない場所で、被写体をカラーで明るく撮影できます。
ナイト+	常時、ミニビデオライトが点灯し、カラーで明るく撮影できます。
スーパーナイト	ナイトで撮影できない真っ暗な場所でも、周囲の明るさによってミニビデオライトが自動的に点灯し、カラーで明るく撮影できます。

ナイト

ナイト+、スーパーナイト

設定のしかた

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

1 撮影モード切換スイッチをPにする

2 ナイトモードを選ぶ

①MENUボタンを押す
②「カメラ設定」➤「ナイトモード」➤ 設定内容を順に選ぶ
・設定ボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。
③MENUボタンを押す

3 ナイトモードボタンを押す

- 選んだナイトモードのアイコン表示が出ます。
- もう一度押すと、オートモードになります。

❍ 動きのある被写体は、尾を引いたような残像になります。
❍ 明るく撮影できる分、通常の撮影に比べて画質が多少劣化することがあります。
❍ 画面に白い点などが現れることがあります。
❍ 自動でピントが合いにくいときは、手動でピントを合わせてください。
❍ ナイトモードを設定しているときは、デジタルズームとマルチ画面は使用できません。
❍ ナイトモードを設定しているときは、プログラムAEメニューから撮影モードを選択できません。

美肌モードを使う

美肌モードを使うと、肌がなめらかに表現されて、よりきれいに見えます。

設定のしかた

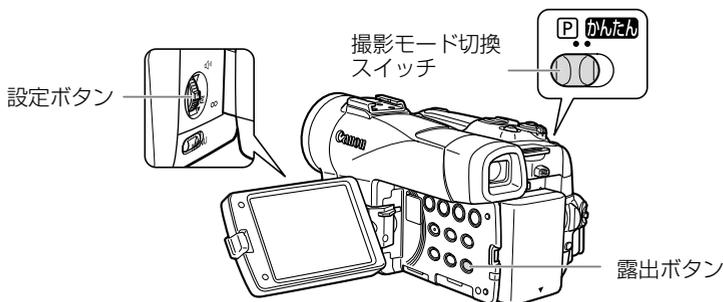
カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

①MENUボタンを押す
②「カメラ設定」➤「美肌」➤「入」を順に選ぶ
・設定ボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。
③MENUボタンを押す
・「美肌」の表示が出ます。

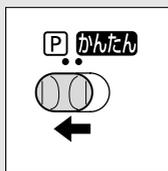
❍ □ かんたんモードでは、美肌モードは使用できません。
❍ 人物を大きく撮影するときに使うと効果的です。画面の中に肌色に近い部分があるときも、ソフトに表現されます。
❍ 電源スイッチや撮影モード切換スイッチを切り換えると、美肌モードは「切」になります。

手動で明るさを変える（露出ロック／露出補正）

被写体が太陽を背にしていたりする逆光の状態では、被写体が黒くつぶれてしまうことがあります。逆に、あまり強い光を被写体が受けると、白くとんでしまいます。このようなときには、露出の調整をします。
画面の明るさを変えて効果的な画創りができます。

応用編
撮る

露出ロックを使う

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

1 **撮影モード切換スイッチをⓅにする**

2 **露出ボタンを押す**

- 画面の明るさが固定（ロック）されます。
- 「EXPロック ±0」の表示が出ます。
- 露出ロック中にズームを操作すると、画面の明るさが変わることがあります。

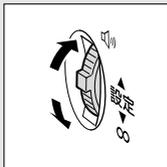
次のページへ

露出を補正する

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

1

露出ロック中

設定ボタンを上／下に押す

EXPロック +5

EXPロック -5

- 設定ボタンを上／下に押して、露出を補正します。
- 明るさによって調整できる範囲が変わり、露出ロック表示の長さも変わります。

手動でピントを合わせる

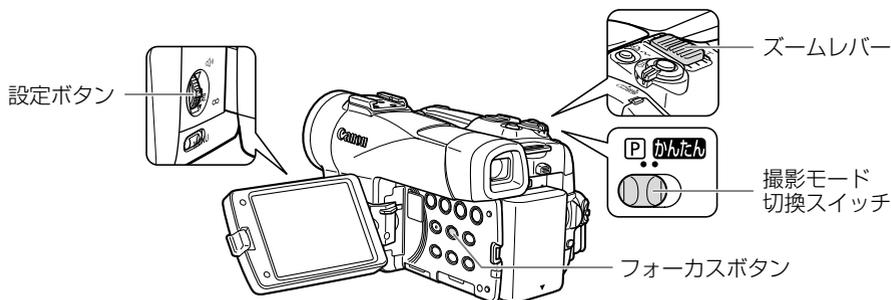
自動でピントが合いにくい場合は、手動でピントを合わせます。自動ではピントが合いにくい被写体は、次のとおりです。

・輝いたり、強い光が反射している

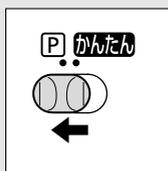
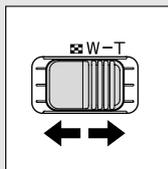
・明暗の差や縦の線がない

・動きが速い

・水滴や汚れの付いたガラス越し

・夜景

応用編 撮る

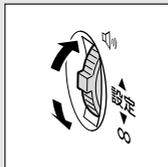
カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

1 撮影モード切換スイッチをⓅにする

2 ズームレバーで被写体の大きさを決める

● 手動でピントを合わせてから、ズームで大きさを変えると、ピントがずれることがあります。先にズームで大きさを決めてからピントを合わせます。

次のページへ

3 フォーカスボタンを押す

● 「MF」の表示が出ます。

4 設定ボタンを上／下に押す

● ピントを合わせます。
● フォーカスボタンをもう一度押すと、自動ピント合わせに戻ります。「MF」の表示が消えます。

手動ピント合わせにしているとき

❍ 撮影モード切換スイッチを「かんたん」にすると、自動ピント合わせになります。ほかの撮影モードにしたときは、手動のままです。
❍ 電源を切ったときは、ピントを合わせ直してください。

ピントを無限遠にして撮影する

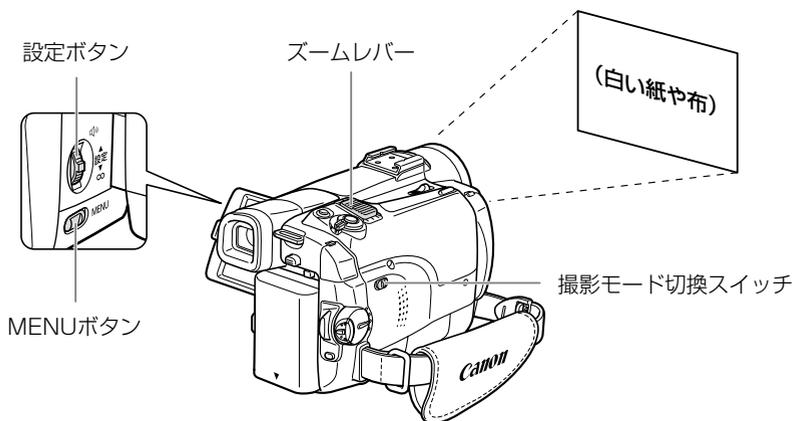
ピントを無限遠にすると、遠くの被写体だけにピントを合わせて、近くの被写体にピントが合うのを防ぐことができます。花火や月、山などを撮影するときに使います。

● 「手動でピントを合わせる」の2の操作の後に、フォーカスボタンを2秒以上押し続けます。
● ピントが無限遠になり、「MF∞」の表示が出ます。

「MF∞」の表示が出ているときに、ズームレバーまたは設定ボタンを操作すると、「∞」が消え、手動ピント合わせになります。

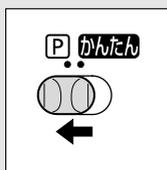
色合いを調整する（ホワイトバランス）

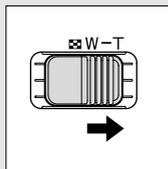
蛍光灯や太陽光など、光が変わることによる色の微妙な変化を調整します。
本機では、自動的に色合いを調整するオートホワイトバランスのほかに、ホワイトバランスセット（）、さらに屋内（）と屋外（）を選択できます。

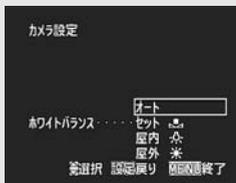
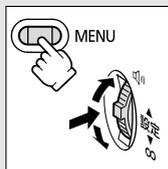
オート	自動的に自然な色合いに調整するとき。
ホワイトバランスセット	さまざまな光源のもとで、白を白く撮影するとき。
屋内	パーティー会場など照明条件が変化する場所や、スタジオ、ビデオライト、ナトリウムランプの照明で撮影するとき。
屋外	夜景や花火、朝日、夕焼けを撮影するとき。

設定のしかた

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

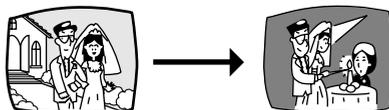
1 撮影一時停止中

撮影モード切換スイッチをPにする

次のページへ

2 ホワイトバランスセットの場合のみ ズームレバーをT側に引く

- 白い紙や布を画面いっぱいに写します。
- 操作3が終わるまで、白い紙を写し続けてください。

3 ホワイトバランスを選ぶ

①MENUボタンを押す
②「カメラ設定」➤「ホワイトバランス」➤ 設定内容を順に選ぶ
・設定ボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。
- 「カメラ設定」サブメニューに戻ります。
- 「セット」の場合：「セット」が点滅し、色合いの調整が完了すると点灯に変わります。

③MENUボタンを押す
・設定した項目の表示が出ます。

- ❍ 通常の屋外では、「オート」での撮影をおすすめします。
- ❍ 撮影モード切換スイッチを「かんたん」にした場合、ホワイトバランスは「オート」に戻ります。
- ❍ 一度設定したホワイトバランス「セット」は、電源を切っても憶えていますが、テープ/カード切換スイッチを切り換えると、「オート」に戻ります。
- ❍ **ホワイトバランス「セット」を行う場合**
  - ・ ごくまれに、光源によっては点灯に変わらない（ゆっくりとした点滅）ことがありますが、この場合でも自動調整よりも適切なホワイトバランスになりますので、そのまま撮影できます。
  - ・ 照明の十分な場所で行ってください。また、光源が変わったときは、セットし直してください。
  - ・「カメラ設定」サブメニューで「デジタルズーム」を「切」にしてください。
- ❍ 次のような場合は、自動では色合いを調整できないことがあります。画面で色が不自然に見えるときは、「セット」で調整をしてください。

・ 照明条件が急に変わるとき

・ クローズアップ撮影をするとき

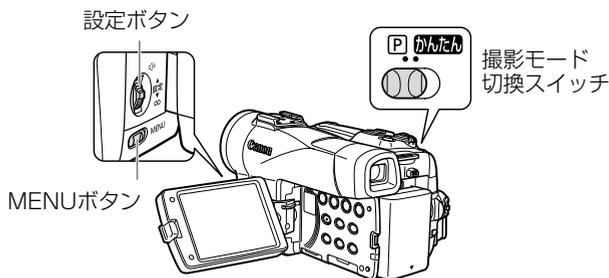
・ 単一色の被写体（空、海、森など）を撮影するとき

・ 水銀灯や一部の蛍光灯で撮影するとき

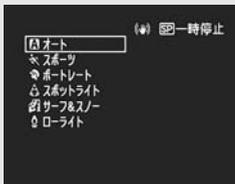
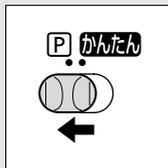
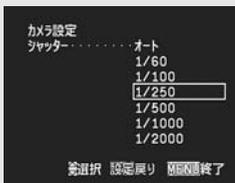
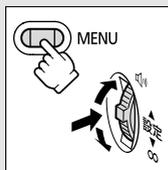
速い動きを撮る（シャッタースピード）

シャッタースピードを手動で設定し、スポーツや乗り物などの動きの速い被写体をぶれの少ない画面で撮影できます。6段階のシャッタースピード（1/60秒、1/100秒、1/250秒、1/500秒、1/1000秒、1/2000秒）があります。

高速シャッターで撮影するときの目安は、次のとおりです。

1/100秒	屋内でスポーツをしている人を撮影するとき。
1/1000、1/500、1/250秒	自動車や列車などから外を撮影するときや、ジェットコースターなどの動きの速い乗り物を撮影するとき。
1/2000秒	晴天下で、テニスやゴルフなどスポーツをしている人を撮影するとき。

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

1 撮影モードを「オート」にする

撮影一時停止中

- 撮影モード切換スイッチをⓅにし、Ⓐオートモードを選びます（📖47）。

2 シャッタースピードを選ぶ

① MENUボタンを押す
②「カメラ設定」➤「シャッター」➤ 設定内容を順に選ぶ
・設定ボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。
- 「カメラ設定」サブメニューに戻ります。

③ MENUボタンを押す
・選んだシャッタースピードの表示が出ます。

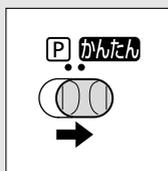
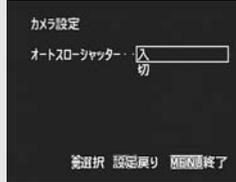
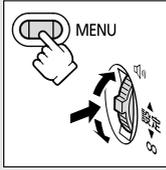
次のページへ

❍カードカメラモードのとき、シャッタースピードは1/250秒までしか使用できません。カメラモードで1/500秒以上の高速シャッターに設定していても、カードカメラモードに切り換えたときに、自動的に1/250秒になります。
❍1/1000秒以上の高速シャッターでは、画面内に太陽を入れないでください。
❍高速シャッターのときは、画像がパラパラとちらついて、なめらかに見えないことがあります。
❍蛍光灯の下での撮影について（カメラモード）
□ かんたんモード、オートモード、ナイトモードでは、蛍光灯のちらつきを検出して自動的にシャッタースピードが切り換わります。画面の明るさがちらつくときは、オートモードを選び、1/100秒の高速シャッターを選んでください。
❍プログラムAEモードを切り換えたり、撮影モード切換スイッチを「かんたん」にすると、シャッタースピードは「オート」に戻ります。

オートスローシャッターを使う

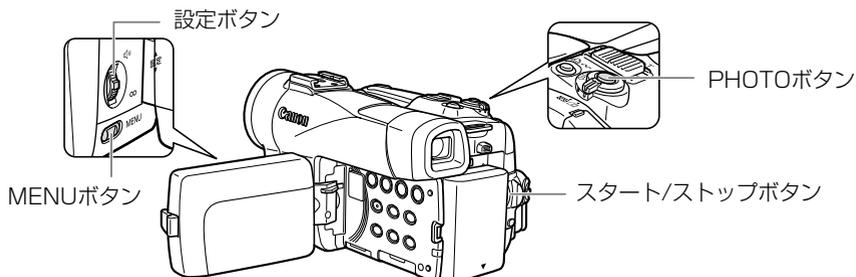
暗めの室内など明るさが不足する場所で、スローシャッターを使って明るく撮影できます。カメラモードでは1/30秒まで、カードカメラモードでは1/15秒までのスローシャッターになります。
動きのある被写体を撮影するとき、尾を引いたような残像が出る場合は、オートスローシャッターの設定を切ることができます。
カードカメラモードの場合は、フラッシュの設定を「 発光禁止」にします。

カメラモード　再生(VTR)モード　|　カードカメラモード　カード再生モード

1　撮影モードを□ かんたんモードにする、またはオートモードにして「シャッター」を「オート」にする

2 オートスローシャッターの設定を選ぶ

①MENUボタンを押す
②「カメラ設定」➤「オートスローシャッター」➤ 設定内容を順に選ぶ
・設定ボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。
③MENUボタンを押す

❍オートスローシャッターは、カメラモードとカードカメラモードで別々に設定を憶えています。
❍露出ボタンを押して露出をロックしているときは、オートスローシャッターは選べません。
❍カードカメラモードで画面に（手ぶれ警告）が表示されたときは、三脚などでビデオカメラを固定してください。

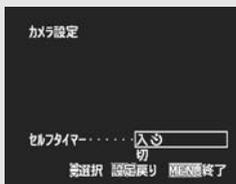
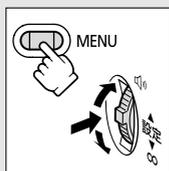
セルフタイマーを使う

セルフタイマーは、動画と静止画のどちらでも使用できます。

動画を撮影するとき

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

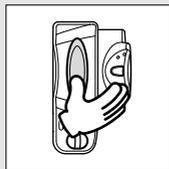
1

撮影一時停止中

「セルフタイマー」の設定を「入 ⏲」にする

①MENUボタンを押す
②「カメラ設定」→「セルフタイマー」→「入 ⏲」を順に選ぶ
- 設定ボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。

③MENUボタンを押す
- 「 ⏲ 」の表示が出ます。

2

スタート/ストップボタンを押す

- 撮影開始までの時間が10秒から1秒までカウントダウンされます。
- 本体のスタート/ストップボタンでは10秒後に撮影を開始します（リモコンの場合は2秒後)。
- 静止画を撮影するときは、PHOTOボタンを押します（🕮 98)。

❍ **セルフタイマーを解除する**
スタート/ストップボタンを押す前は、メニューで「切」を選んでください。
スタート/ストップボタンを押した後は、もう一度スタート/ストップボタンを押してください。

❍ セルフタイマーは、電源を切ると解除されます。

録画モードを選ぶ

SP（標準）モードまたはLP（長時間）モードが選択できます。LPモードはSPモードの録画時間の1.5倍になります。

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

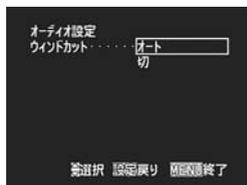
①MENUボタンを押す
②「VTR設定」➤「録画モード」➤ 設定内容を順に選ぶ
・設定ボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。
③MENUボタンを押す
・「SP」または「LP」の表示が出ます。

- ❍ **LPモードで記録したテープは、アフレコできません。**
- ❍ **LPモードでの録画／再生は、テープの特性や使用環境に影響されやすく、再生時、画面にモザイク状のノイズが発生したり、音声が途切れたりする場合があります。
大切な撮影にはSPモードをお使いください。**

- ❍ 本機でLPモードで録画したテープをほかのデジタルビデオ機器で再生したり、ほかのデジタルビデオ機器でLPモードで録画したテープを本機で再生すると、画像が乱れたり、音声が途切れたりすることがあります。
- ❍ テープの途中でSPとLPを切り換えて録画すると、切り換え部分で再生画像が乱れます。また、タイムコードが正しく更新されないことがあります。

風音を低減して撮る（ウィンドカット）

風の影響を受ける屋外で撮影する際、風の「ボコボコ」という音の影響を自動的に低減できます。
風の影響を受けない場所や低い音まで収録する場合は、設定を解除することもできます。

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

①MENUボタンを押す

②「オーディオ設定」➤「ウィンドカット」➤ 設定内容を順に選ぶ

・設定ボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。

③MENUボタンを押す

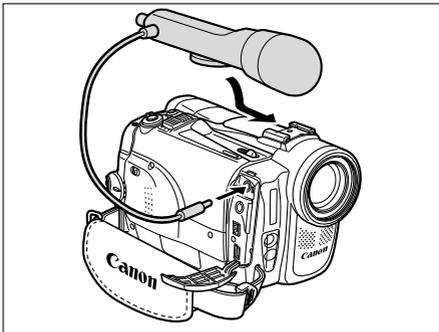
・「切」を選ぶと「WカットOFF」の表示が出ます。

❍ 撮影時だけでなく、再生（VTR）モードでアフレコをするときにも、ウィンドカット機能は切り換えられます。（「オーディオ設定」サブメニューで「アフレコ入力」を「マイク入力」に設定しているとき）

❍ 内蔵マイク以外では、ウィンドカット機能は使用できません。

外部マイクを使う

本機に、アクセサリーシュー対応の市販のマイクを取り付けられます。
詳しくはマイクの使用説明書をご覧ください。

取り付けかた

❶ マイクをアクセサリーシューに取り付ける

❷ MIC端子に接続する

❍ 静かな場所で撮影するときは

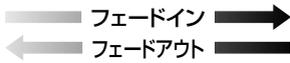
内蔵マイクが本体の振動をひろってしまうことがあります。このような場合には、外部マイクをお使いになることをおすすめします。

❍ 市販のマイクを使うときには

・電源内蔵タイプのマイク（コンデンサーマイク）をご使用ください。端子がφ3.5mmのステレオマイクであれば、ほとんどのマイクを接続することが可能ですが、マイクにより音量レベルは内蔵マイクと異なります。
・長いマイクを使うと、マイクが画面に映ることがあります。

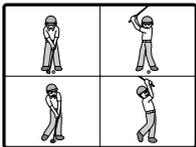
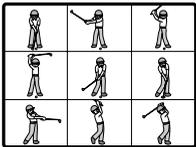
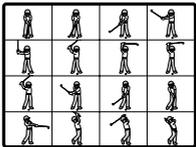
場面の切り換えと特殊効果（デジタルエフェクト）

3種類のデジタルエフェクト機能があります。撮影時だけでなく、再生時にも使用できます。

フェーダー： テレビや映画のように画面と画面の切り換えができます（📖 66）。

フェードイン：白い画面から徐々に映像と音声を出す。
フェードアウト：映像と音声を徐々に消す。

オートフェード	ワイプ
コーナーワイプ	ジャンプ
フリップ	パズル
ジグザグ	ビーム
タイド	

エフェクト：色を変えたり、特殊効果を加えることができます（📖 68）。

マルチ画面：画面を4／9／16分割して、静止画を表示します。また、静止画にして取り込むスピードを選択できます（📖 70）。

電源スイッチや撮影モードによって、使用できる機能が異なります。

	カメラモード		再生（VTR）モード	カードカメラモード	カード再生モード
	動画	静止画			
フェーダー	○	×	○	×	×
エフェクト	○	×	○	「シロクロ」のみ	×
マルチ画面	○	×	○	×	×

○：使用できます。×：使用できません。

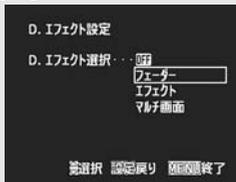
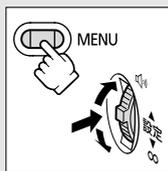
次のページへ

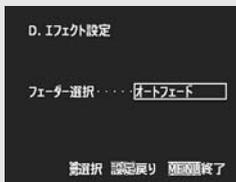
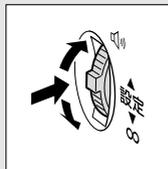
フェーダーの操作のしかた

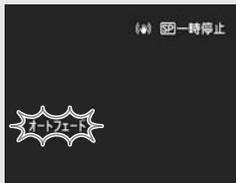
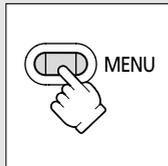
フェードイン：撮影一時停止中または再生一時停止中に使う
フェードアウト：撮影中または再生中に使う

撮影時にフェーダーを使用するときは、撮影モード切換スイッチをⓅにします。

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

1 フェーダーを選ぶ

①MENUボタンを押す
②「D.エフェクト設定」→「D.エフェクト選択」→「フェーダー」を順に選ぶ
- 設定ボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。

2 フェーダーの種類を選ぶ

①設定ボタンを上／下に押して、「フェーダー選択」を選び、まっすぐ押します。
②設定ボタンを上／下に押して、設定するフェーダーの種類を選び、まっすぐ押します。

3 MENUボタンを押す

- 選んだフェーダー表示が点滅します。

4 ① D.エフェクトボタンを押す

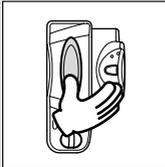
- 表示が点灯に変わります。
- D.エフェクトボタンをもう一度押すと、フェーダーは解除されます。

②

カメラモードの場合

フェードイン 撮影一時停止中

フェードアウト 撮影中

スタート/ストップボタンを押す

- フェードインの場合：撮影が始まり、映像が徐々に現れます。
- フェードアウトの場合：映像が徐々に消えて、撮影一時停止になります。

再生（VTR）モードの場合

フェードイン 再生一時停止中

再生ボタンを押す

フェードアウト 再生中

一時停止ボタンを押す

- フェードインの場合：再生が始まり、映像が徐々に現れます。
- フェードアウトの場合：映像が徐々に消えて、再生一時停止になります。

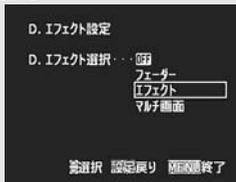
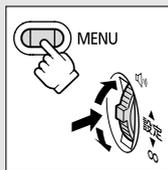
次のページへ

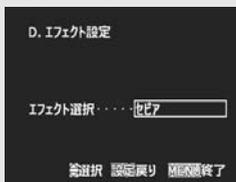
エフェクトの操作のしかた

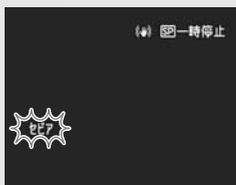
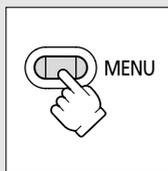
音声はそのまま記録されます。
撮影時にエフェクトを使用するときは、撮影モード切換スイッチをPにしてください。

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

1 エフェクトを選ぶ

D.エフェクト設定
D.エフェクト選択‥‥OFF
フェーダー
エフェクト
マルチ画面
選択　設定戻り　MENU終了

①MENUボタンを押す
②「D.エフェクト設定」→「D.エフェクト選択」→「エフェクト」を順に選ぶ
- 設定ボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。

2 エフェクトの種類を選ぶ

①設定ボタンを上／下に押して、「エフェクト選択」を選び、まっすぐ押します。
②設定ボタンを上／下に押して、設定するエフェクトの種類を選び、まっすぐ押します。

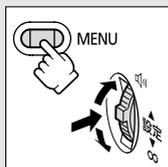
3 MENUボタンを押す

- 選んだエフェクト表示が点滅します。

4 D.エフェクトボタンを押す

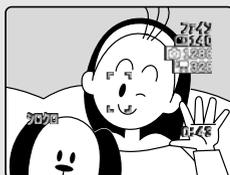
- 表示が点灯に変わり、画面がその効果になります。再生（VTR）モードの場合、テープを再生してから、D.エフェクトボタンを押します。
- D.エフェクトボタンをもう一度押すと、画面のエフェクト効果は解除されます。

カードカメラモードでは、「シロクロ」のみ使用できます。

カメラモード　再生(VTR)モード　**カードカメラモード**　カード再生モード

1 シロクロを選ぶ

①MENUボタンを押す
②「D.エフェクト設定」→「D.エフェクト選択」→「シロクロ」を順に選ぶ

- 設定ボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。
- 「シロクロ」が点滅します。

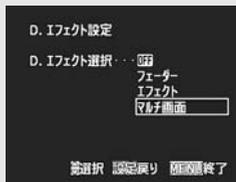
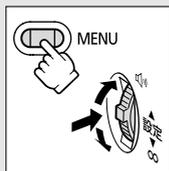
2 D.エフェクトボタンを押す

- 表示が点灯に変わり、画面が白黒になります。

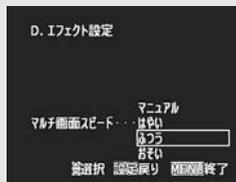
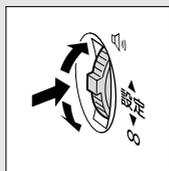
次のページへ

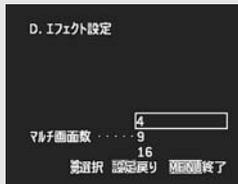
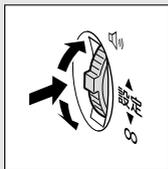
マルチ画面の操作のしかた

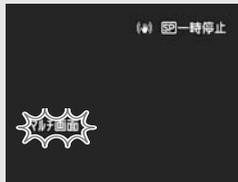
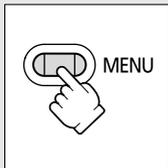
マルチ画面は、遊園地やスポーツシーンなどで動いている被写体を一度に最大16画面連続して表示できます。テニスやゴルフのスイングなどをチェックするときに便利です。音声はそのまま記録されます。
分割する画面数（4／9／16）や静止画にして取り込むスピード（マニュアル／はやい／ふつう／おそい）を選べます。
撮影時にマルチ画面を使用するときは、撮影モード切換スイッチを P にします。
再生時にマルチ画面を使用するときは、再生一時停止にします。「画面スピード」が「マニュアル」のときは、スロー再生中にも使用できます。

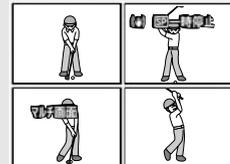
カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

1 「マルチ画面」を選ぶ

①MENUボタンを押す
②「D.エフェクト設定」→「D.エフェクト選択」→「マルチ画面」を順に選ぶ
● 設定ボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。

2 取り込みスピードを選ぶ

①設定ボタンを上／下に押して、「マルチ画面スピード」を選び、まっすぐ押します。
②設定ボタンを上／下に押して、設定するスピードを選び、まっすぐ押します。
● 画面を取り込むスピードの目安は、次のとおりです。
・マニュアル：手動で映像を取り込む
・はやい：4フレームごと
・ふつう：6フレームごと（ローライトモード時は、8フレームごと）
・おそい：8フレームごと（ローライトモード時は、12フレームごと）

3 画面数を選ぶ

①設定ボタンを上／下に押して、「マルチ画面数」を選び、まっすぐ押します。
②設定ボタンを上／下に押して、設定画面数を選び、まっすぐ押します。

4 MENUボタンを押す

- 「マルチ画面」が点滅します。

5 D.エフェクトボタンを押す

- 表示が点灯に変わります。
- 画面スピードが「マニュアル」以外の場合：選んだスピードで選んだ画面数の画像を取り込みます。取り込み完了後、D.エフェクトボタンを押すと、マルチ画面は解除されます。
- 画面スピードが「マニュアル」の場合：D.エフェクトボタンを押すごとに画像を取り込みます。最後の画面が取り込まれると水色の枠が消えます。
  D.エフェクトボタンを１秒以上押し続けると、最後の映像から順に解除されていきます。

❍ デジタルエフェクトを使用しないときは、「OFF」に設定します。
❍ 一度設定したデジタルエフェクトは、電源を切ったり、撮影モードを変更しても憶えています。
❍ 次の場合、デジタルエフェクトは使用できません。
・ 撮影モードを「□ かんたん」にしているとき。
・ DVケーブルを接続し、テープを再生してダビングするとき（DV出力）。
❍ カードミックスを実行しているときは、フェーダーは使用できません。

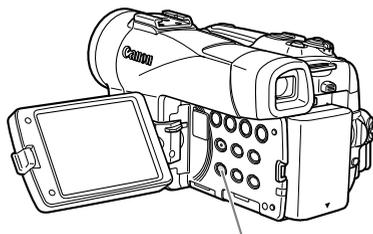
次のページへ

マルチ画面について

❍ 次の場合、マルチ画面は使用できません。
　・ ナイトモードを設定しているとき。
　・「ワイドTV」に設定しているとき。
　・ カードミックスを実行しているとき。

❍ マルチ画面スピードが「マニュアル」以外の場合、再生（VTR）モードでマルチ画面を取り込んでいるときに、テープの走行で使う操作ボタン（再生/一時停止ボタンなど）を押したり、日付サーチ（リモコン操作）をすると、マルチ画面は解除されます。

ワイド画面で撮影する（ワイドTV）

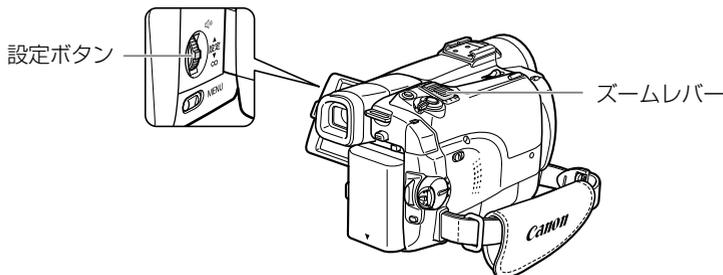
ワイドテレビ（画面の横、縦の比率が16：9）用機能を使うと、CCDをより広く活用して、通常よりも広い範囲を、より高画質で撮影できます。

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

1 ワイドTVボタンを押す

- 画面に WIDE が出ます。
- 液晶画面では、ワイド画面になります。ファインダーでは縦に伸びた映像になります。

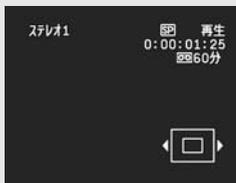
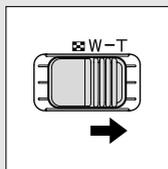
❍「手ぶれ補正」を「切」に設定すると、さらに広い範囲を撮影できます。
❍「ワイドTV」にして撮影したテープをテレビで再生するときは、テレビをワイドテレビモードに切り換えてください(詳しくは、テレビの使用説明書もあわせてご覧ください)。通常(画面の横、縦の比率が4：3)のテレビで再生すると、縦に伸びた映像になります。ビデオID-1方式対応のテレビに接続すると、自動的にワイド画面に切り換わります（🕮 41）。
❍「ワイドTV」に設定しているとき、マルチ画面は使用できません。
❍「ワイドTV」に設定しているとき、カードに静止画を記録できません。

再生中に画面を拡大する（再生ズーム）

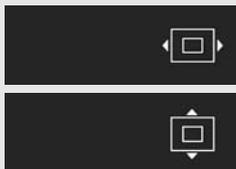
再生中に、画面を5倍まで拡大できます。また、拡大する位置を上下、左右に移動できます。

カメラモード　再生(VTR)モード　|　カードカメラモード　カード再生モード

1

再生中

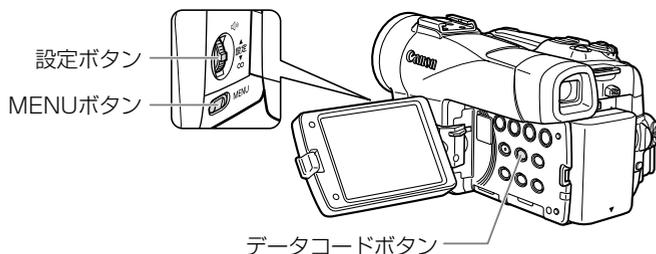
ズームレバーをT側に引く

- 画面中央が2倍に拡大され、拡大している位置を示す枠が出ます。
- さらに拡大するときは、ズームレバーをT側に引きます。縮小するときは、ズームレバーをW側に押します。拡大する倍率に合わせて、枠の大きさが変わります。

2

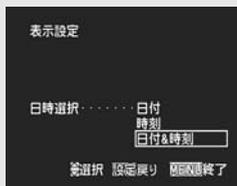
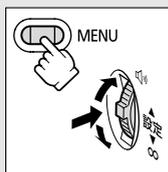
設定ボタンを上／下に押す

- 画面が移動します。
- 設定ボタンをまっすぐ押すと、画面の移動する方向（上下または左右）を切り換えられます。
- 拡大している枠が消えるまで、ズームレバーをW側に押すと、画面は元に戻ります。

カード再生モードでカード動画再生中は、画面を拡大できません。

再生時に日時、カメラデータを表示する（データコード）

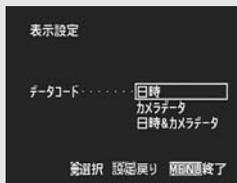
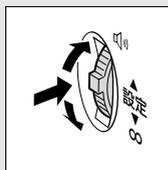
本機では、撮影時の日付／時刻とカメラデータ（シャッタースピードと絞り値（F値））が自動的に記録されます。
撮影時の日付／時刻、カメラデータを「データコード」といいます。
テープを再生するときには、データコードの内容を選んで表示できます。

日時の表示内容を選ぶ（日付／時刻／日付＆時刻）

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

1 表示内容を選ぶ

①MENUボタンを押す
②「表示設定」➤「日時選択」➤ 設定内容を順に選ぶ
・設定ボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。
- 「表示設定」サブメニューに戻ります。
- カード再生モードのとき、3の操作へ進んでください。

データコードの表示内容を選ぶ

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

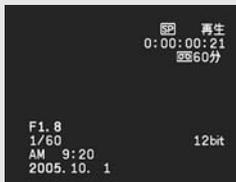
2 表示内容を選ぶ

①「表示設定」➤「データコード」➤ 設定内容を順に選ぶ
・設定ボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。
- 「表示設定」サブメニューに戻ります。

②MENUボタンを押す

次のページへ

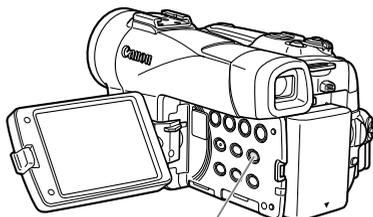
データコードを表示する

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

3 データコードを表示する

- テープを再生し、データコードボタンを押します。
- カード再生モードでは、データコードボタンを押すと、日付／時刻のみ表示されます。

データコードは、一度電源を切ると、表示されなくなります。

テープに撮影した最後の場面を探す（エンドサーチ）

テープを再生した後に、最後に撮影した場面から続けて撮影したいときに使います。

エンドサーチボタン

カメラモード　**再生(VTR)モード**　カードカメラモード　カード再生モード

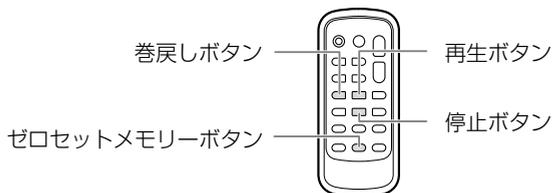
1 テープ停止中

エンドサーチボタンを押す

- 「エンドサーチ」の表示が出ます。
- テープが早送り／巻戻しされ、最後に撮影した場面が数秒間再生された後に停止します。
- エンドサーチ中にもう一度ボタンを押すと、中止します。

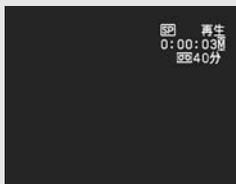
❍ 一度テープを取り出すと、エンドサーチは使用できません。
❍ テープの途中に未記録部分があると、エンドサーチが正しく働かないことがあります。
❍ アフレコを行ったときの最後の場面について、エンドサーチは働きません。

見たい場面にすばやく戻る（ゼロセットメモリー）

あとでもう一度見たいと思う場面があったときに、ゼロセットメモリーを設定しておくと、早送りまたは巻戻しをしたときに、設定した場面で自動的に停止します。リモコンで操作します。

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

1

再生中

ゼロセットメモリーボタンを押す

- あとで見たい場面が出てきたら、ゼロセットメモリーボタンを押します。
- カウンター表示が「0：00：00」になり、「M」の表示が出ます。
- ゼロセットメモリーボタンをもう一度押すと、設定が解除されます。

2

再生が終わったら、停止ボタンを押す

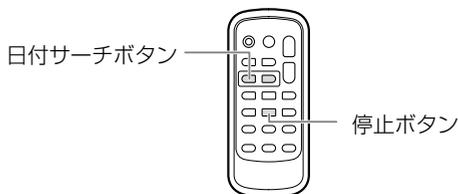
3

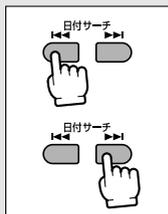
巻戻しボタンを押す

- カウンター表示に「－」がついているときは、早送りボタンを押します。
- カウンター表示が「0：00：00」付近で自動的に停止します。カウンター表示がタイムコードに戻り、「M」が消えます。

タイムコードが連続して記録されていないと、ゼロセットメモリーを設定した場面で正しく停止しないことがあります。

撮影した日の変わり目を探す（日付サーチ）

撮影時の日付／時刻を自動的に記録するデータコード（ 📖 75）を使って、撮影時の日付の変わり目を探せます。世界時計でエリアを設定したときには、エリアの変わり目もサーチします。リモコンで操作します。

カメラモード　**再生(VTR)モード**　カードカメラモード　カード再生モード

1 日付サーチ⏮／⏭ボタンを押す

- 押した数だけ前／後ろの日付の変わり目（最多10）の頭出しになります。
- サーチを止めるときは、停止■ボタンを押します。

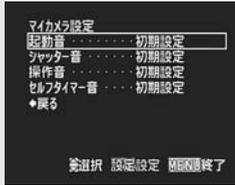
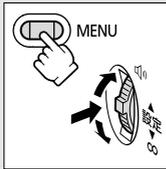
❍ 日付サーチを行うときは、1日/1エリア当たり1分以上の記録部分が必要です。
❍ データコードが正しく表示されていないときは、日付サーチは正しく動作しません。

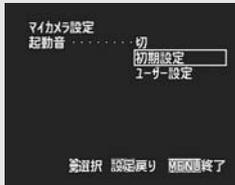
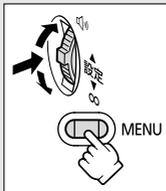
マイカメラ機能を使う

本機では、起動画面と起動音、シャッター音、操作音、セルフタイマー音の設定（マイカメラ）を変更できます。また、起動画面を作成できます（📖 128)。

マイカメラの設定を変える

カメラモード　再生(VTR)モード　|　カードカメラモード　カード再生モード

1 項目を選ぶ

①MENUボタンを押す
②「マイカメラ設定」➤ 設定内容を順に選ぶ
- ・ 設定ボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。
- ● 起動画面を選択するときは、カード再生モードにします。

2 設定内容を選ぶ

①設定ボタンを上／下に押して設定内容を選ぶ
- ● 「切、初期設定、ユーザー設定」の選択画面になります。
  カード再生モードで「起動画面選択」を選ぶと、「切、CANONロゴ、ユーザー設定」の選択画面になります。
- ● 選んだ音や起動画面が確認できます。メニューで「おしらせ音」が「切」のときは、音は確認できません。

②MENUボタンを押す

設定内容の中にある「ユーザー設定」では、付属のソフトウェア（ZoomBrowser EXまたはImageBrowser）を使ったり、CANON iMAGE GATEWAYからダウンロードすることで、新しい起動画面や音を登録して変更できます。詳しくは、Digital Video Software使用説明書をご覧ください。

ほかのビデオデッキへ録画する

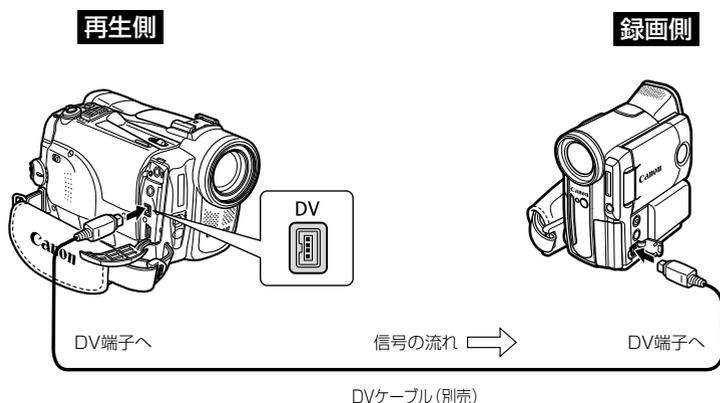
本機を再生機として、ビデオデッキを録画機として使うことで、本機で撮影したテープをダビング編集できます。また録画側のビデオがDV端子付きのデジタルビデオの場合は、デジタル信号のまま、画質、音質劣化のほとんどないダビング編集ができます。

接続のしかた

① 映像/音声端子付きビデオへ録画する

接続のしかたは、 🕮 41をご覧ください。

② DV端子付きビデオへ録画する

接続するほかの映像機器の使用説明書もあわせてご覧ください。

操作のしかた

カメラモード　**再生(VTR)モード**　｜　カードカメラモード　カード再生モード

1	**本機**　**再生（VTR）モードにする**	● 再生するカセットを入れます。 ● 映像/音声端子を使うときは、設定を確認します（🕮 41）。
2	**録画機**　**録画用カセットを入れ、録画一時停止状態にする**	

次のページへ

3 **本機** **巻戻しボタン／早送りボタンを押して、再生を始める少し手前の位置を探す**

4 **本機** **再生ボタンを押す**

● 再生が始まります。

5 **録画機** **録画を開始する場面で、録画を始める**

6 **録画機** **録画を終える**

7 **本機** **停止ボタンを押す**

● 再生が終わります。

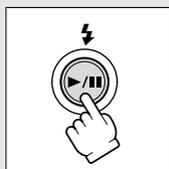
❍ DV端子のないビデオ機器へダビングした映像は、多少画質が劣化します。

DV端子付きビデオへ録画する場合

❍ DVケーブルを正しく接続していても、映像が出ないことがあります。このようなときはDVケーブルを接続し直すか、電源を入れ直してください。

❍ DV（IEEE1394）端子を持つすべてのビデオ機器との接続を保証するものではありません。正しく動作しない場合は、映像／音声端子を使用してください。

❍ コンパクトパワーアダプターを使って、家庭用コンセントから電源を取ることをおすすめします。

ほかのビデオやテレビの映像を録画する（アナログ入力）

本機を録画機として使用して、ほかのビデオの映像やテレビ番組をダビングしたり、編集することができます。

接続のしかた

映像/音声端子付きビデオから録画する

接続するほかの映像機器の使用説明書もあわせてご覧ください。

操作のしかた

カメラモード　**再生(VTR)モード**　カードカメラモード　カード再生モード

1 **本機**　**再生（VTR）モードにする**

- 録画用カセットを入れます。

2 **再生機**　**再生するカセットを入れる**

3 **本機**　**録画一時停止ボタンを押す**

- 録画一時停止中／録画中は、画面で映像を確認できます。

次のページへ

4 再生機 再生を始める

5 本機 録画を開始する場面で、一時停止ボタンを押す

- 録画が開始されます。

6 本機 停止ボタンを押す

- 録画が終わります。
- 一時停止したいときは、一時停止ボタンを押します。録画を再開したいときは、もう一度押します。

7 再生機 再生を終える

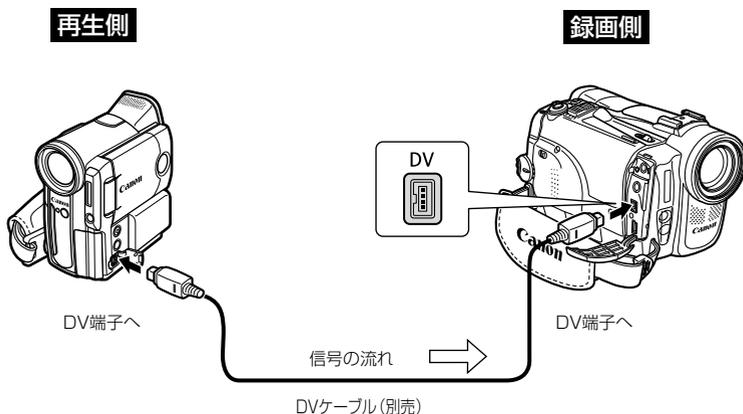
❍ アナログ入力をするとき、ヘッドホンは使用できません。
❍ 接続した機器からのアナログ信号によっては、正しくデジタル変換されない場合があります。
例：コピー不可の著作権保護信号入のアナログ信号、ゴーストなどを含む乱れたアナログ信号等

コンパクトパワーアダプターを使って、家庭用コンセントから電源を取ることをおすすめします。

DV端子付きビデオから録画する

本機と、DV端子を持つほかのビデオ機器をDVケーブルで接続し、ダビング編集できます。

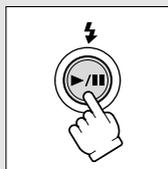
接続のしかた

接続するほかの映像機器の使用説明書もあわせてご覧ください。

操作のしかた

カメラモード　**再生(VTR)モード**　カードカメラモード　カード再生モード

1	**本機**　**再生（VTR）モードにする**	● 録画用カセットを入れます。 ● 「AV→DV」の設定が「切」になっていることを確認します（□87）。
2	**再生機**　**再生するカセットを入れる**	
3	**本機**　**録画一時停止ボタンを押す** 	● 録画一時停止中／録画中は、画面で映像を確認できます。

次のページへ

編集する

4 再生機 **再生を始める**

5 本機 **録画を開始する場面で、一時停止ボタンを押す**

● 録画が開始されます。

6 本機 **停止ボタンを押す**

● 録画が終わります。
● 一時停止したいときは、一時停止ボタンを押します。録画を再開したいときは、もう一度押します。

7 再生機 **再生を終える**

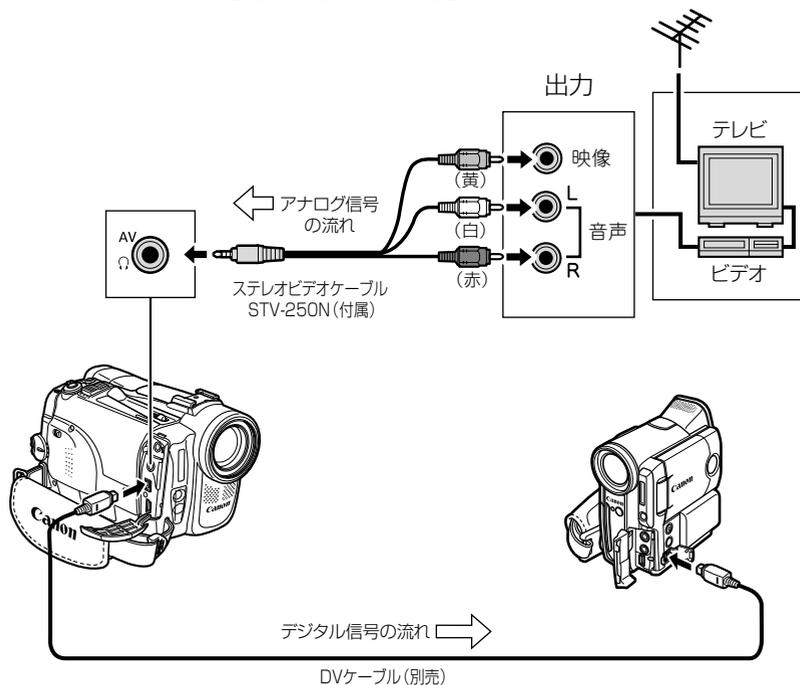
❍ 再生機がテープの無記録部分を再生すると、異常な映像が記録されることがあります。
❍ DVケーブルを正しく接続していても、映像が出ないことがあります。このようなときはDVケーブルを接続し直すか、電源を入れ直してください。
❍ 同じ端子でも、信号の方式が異なる場合があります（ 186）。DV端子から入力して本機で記録できる信号は、 DV 方式のSD方式で、SPまたはLPモードで記録された場合のみです。
❍ コンパクトパワーアダプターを使って、家庭用コンセントから電源を取ることをおすすめします。

アナログ入力した映像と音声をデジタルビデオ機器に出力する(アナログ−デジタル変換)

本機にビデオデッキや8ミリビデオカメラを接続すると、アナログ信号の映像と音声を瞬時にデジタル信号に変換して、DV端子から出力できます。このとき、DV端子は出力専用端子になります。

接続のしかた

映像/音声端子付きビデオから入力する

接続は、各機器の電源を切って行います。DVカセットは、本機から取り出しておきます。接続するほかの映像機器の使用説明書もあわせてご覧ください。

設定のしかた

カメラモード　**再生(VTR)モード**　|　カードカメラモード　カード再生モード

①MENUボタンを押す

②「VTR設定」➤「AV→DV」➤ 設定内容を順に選ぶ
- 設定ボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。

③MENUボタンを押す
- 「入」を選ぶと、「AV→DV」の表示が出ます。

次のページへ

編集する

❍ アナログ−デジタル変換をするとき、ヘッドホンは使用できません。
❍ 接続した製品からのアナログ信号によっては、正しくデジタル変換されない場合があります。
例：コピー不可の著作権保護信号入りのアナログ信号、ゴーストなどを含む乱れたアナログ信号等
❍ 通常は「AV→DV」を「切」に設定しておいてください。「入」に設定していると、本機のDV端子からデジタル信号を入力できません。
❍ DV（IEEE1394）端子付きのパソコンに接続する場合、使用するソフトウェア、パソコンの設定などによっては、デジタル変換された映像と音声をパソコンで表示したり、取り込めないことがあります。

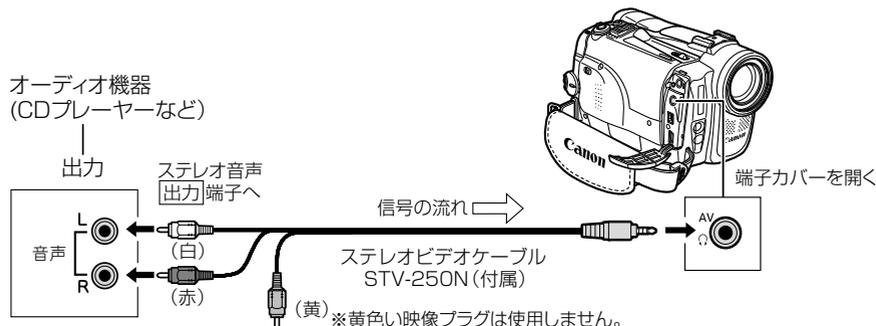
コンパクトパワーアダプターを使って、家庭用コンセントから電源をとることをおすすめします。

撮影したテープに音声を追加する（アフレコ）

本機は、撮影したテープにあとから音声を追加することができます。CDプレーヤーなどのオーディオ機器などから録音したり（音声入力）、本機の内蔵マイク、または外部マイクを使って音声を録音します（マイク入力）。リモコンで操作します。

接続のしかた

① 映像／音声端子に接続してアフレコする場合（音声入力）

接続する機器の使用説明書もあわせてご覧ください。

② マイクを使ってアフレコする（マイク入力）

接続のしかたは、🕮 63をご覧ください。

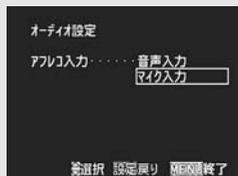
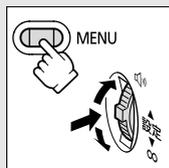
操作のしかた

カメラモード　**再生(VTR)モード**　｜　カードカメラモード　カード再生モード

1 本機に撮影済みカセットを入れる

- 本機で、SPモード、オーディオ12bitで記録したテープを使用します。

2 再生（VTR）モードにする

3 アフレコする方法を選ぶ

①MENUボタンを押す
②「オーディオ設定」➤「アフレコ入力」➤ 設定内容を順に選ぶ
・ 設定ボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。
③MENUボタンを押す

次のページへ

4 再生ボタンを押して、音声を追加する場面の開始位置を探す

- 音声を追加する場面を探すときに、いろいろな再生機能を使うと便利です（📖38）。

5 一時停止ボタンを押す

6 リモコンのアフレコボタンを押す

SP
0:00:07:13
60分
アフレコ
マイク入力

- 「アフレコ」の表示が出ます。

7 一時停止ボタンを押す

- アフレコが始まります。
- 「マイク入力」を選んだときは、マイクに向かって話してください。
  「音声入力」を選んだときは、オーディオ機器を再生してください。

8 アフレコを終了する位置で、停止ボタンを押す

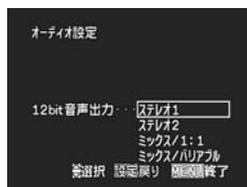
- ❍ 本機で、SPモード、オーディオ12bitで記録したテープを使用してください。
  テープの途中に、無記録部分やLPモード、16bitで記録された部分があると、アフレコが中断されます。
- ❍ 内蔵マイクを使用するときは、MIC端子には何も接続しないでください。
- ❍ DV端子を使ってアフレコはできません。
- ❍ ほかのビデオカメラで録画されたテープでアフレコした場合、音質が劣化することがあります。
- ❍ テープの同じ場所で3回以上くり返してアフレコを行うと、音質が劣化することがあります。

- ❍「音声入力」の場合、映像は、液晶画面で確認できます。アフレコする音声は、内蔵スピーカーで確認できます。
- ❍「マイク入力」の場合、映像/音声端子を使って本機をテレビに接続すると、映像はテレビ画面で、音声はテレビに接続したヘッドホンで確認できます。
- ❍ あらかじめアフレコを終了したい位置でゼロセットメモリーボタンを押してからアフレコすると、その位置で自動的に停止します。

アフレコした音声を再生する(12bit記録テープ)

撮影時の音声とアフレコした音声を切り換えられます。また、2つの音声を同時に再生することもできます。

ステレオ1	撮影時の音声のみ再生する
ステレオ2	アフレコされた音声のみ再生する
ミックス／1：1	ステレオ1とステレオ2を同じバランスで再生する
ミックス／バリアブル	ステレオ1とステレオ2の音声のバランスを変えて再生する

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

①MENUボタンを押す
②「オーディオ設定」➤「12bit音声出力」➤ 設定内容を順に選ぶ
・設定ボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。
③MENUボタンを押す
・選んだ設定内容の表示が出ます。

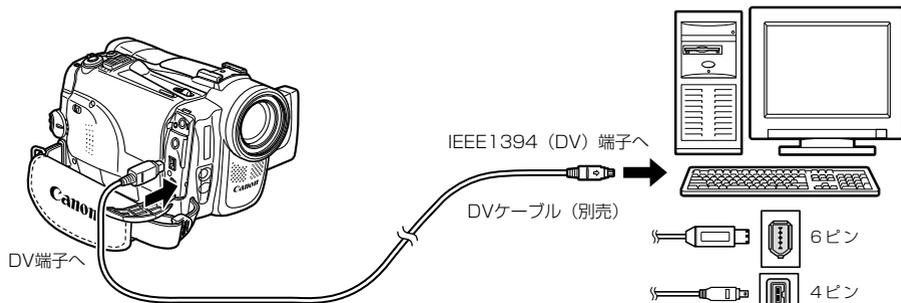
「ミックス／バリアブル」を選んだ場合

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

①MENUボタンを押す
②「オーディオ設定」➤「ミックスバランス」を順に選ぶ
・設定ボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。
・ステレオ1とステレオ2のバランスは、設定ボタンを上／下に押して調整します。
③MENUボタンを押す

一度調整した音声のバランスは電源を切っても憶えていますが、電源を切ると12bit音声出力は「ステレオ1」に戻ります。

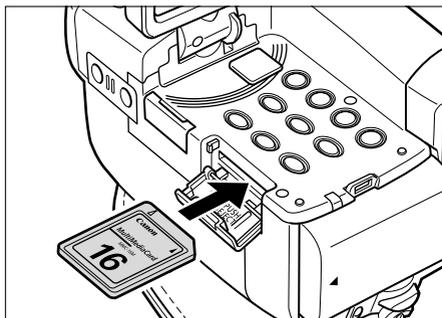
テープの映像をパソコンに取り込む（IEEE1394）

本機と、IEEE1394（DV）端子を標準で搭載しているパソコン／IEEE1394端子付きキャプチャーボードを搭載したパソコンをDVケーブルで接続すると、本機で記録した映像をパソコンに取り込めます。テープの映像をパソコンに取り込むためには、パソコン／キャプチャーボードに付属の編集ソフトウェアをご使用ください。ソフトウェアの使用説明書もあわせてご覧ください。また、ドライバーは、Windows 98 Second Edition以降のWindows OS、またはMac OS 9以降のMacOSに標準で搭載されており、本機をパソコンに接続すると、自動的にインストールされます。

- ❍ 使用するソフトウェア、パソコンの仕様／設定などによっては、正しく動作しないことがあります。
- ❍ 本機とパソコンを接続したときにパソコンで操作できない場合は、DVケーブルを抜き差ししてください。それでも操作できない場合は、次の操作をしてください。
  ① 本機とパソコンからDVケーブルを抜いてから、本機とパソコンの電源を切る。
  ② 本機とパソコンの電源を入れて、本機とパソコンにDVケーブルを接続し直す。
- ❍ 本機とパソコンをDVケーブル接続するときは、USB端子になにも接続しないでください。また、パソコンに他のIEEE1394機器を接続しないでください。正しく動作しないことがあります。

- ❍ コンパクトパワーアダプターを使って、家庭用コンセントから電源をとることをおすすめします。
- ❍ パソコンの使用説明書もあわせてご覧ください。

カードを入れる／出す

本機は、マルチメディアカードとSDメモリーカード（ SD ）専用です。

カードの入れかた

❶ 電源スイッチを「切」にする

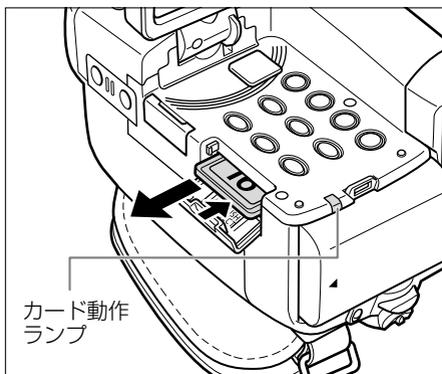
❷ カバーを開ける

❸ カードをまっすぐ、奥までしっかり入れる

❹ カバーを閉じる

カードが正しく入っていない状態で、カバーを無理に閉じないでください。

カードの出しかた

カードを抜くときは、無理に出さないで、必ず❸の操作を行ってください。

❶ 電源スイッチを「切」にする

カード動作ランプが消えていることを確認してください。

❷ カバーを開ける

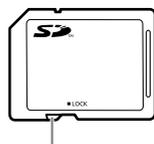
❸ カードの端を押す

カードが出てきます。

❹ カードを抜く

❺ カバーを閉じる

- 付属のカード以外のカードを使用する際には、本機でフォーマットしてください（🕮 127）。
- カードの出し入れは、ビデオカメラの電源を切ってから行ってください。電源を切らずにカードを出し入れすると、故障の原因となることがあります。

- SD（Secure Digital＝著作権保護システム）メモリーカードには、誤消去防止ツマミが付いています。
- すべてのカードの動作を保証するものではありません。

誤消去防止ツマミ

記録時の画質や画像サイズを選ぶ

カードに記録する静止画の画質、静止画／動画の画像サイズを選びます。

静止画像画質		スーパーファイン、ファイン、ノーマル
画像サイズ	静止画	1280×960ピクセル、640×480ピクセル
	動画	320×240ピクセル、160×120ピクセル

本機では静止画はJPEG（ジェーペグ）圧縮（Joint Photographic Experts Group）、動画はMotion JPEG（モーション ジェーペグ）圧縮（Motion Joint Photographic Experts Group）で記録します。
画質や画像サイズの設定、撮影条件や被写体により、1枚のカードに記録できる静止画の枚数や動画の記録時間は異なります。記録できる枚数や時間の目安は、次のとおりです。(「128MB、512MBカード」は、SDメモリーカードの場合です。)

静止画記録できる枚数

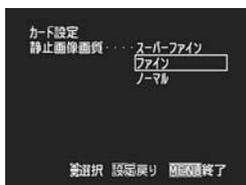
画像サイズ	画質	記録枚数			1枚あたりのデータ量
		付属のカード	128MBカード	512MBカード	
1280×960	スーパーファイン	約15枚	約140枚	約555枚	約850KB
	ファイン	約25枚	約215枚	約860枚	約550KB
	ノーマル	約45枚	約400枚	約1585枚	約300KB
640×480	スーパーファイン	約85枚	約695枚	約2740枚	約175KB
	ファイン	約115枚	約955枚	約3770枚	約120KB
	ノーマル	約185枚	約1530枚	約6035枚	約65KB

動画が記録できる時間

画像サイズ	記録時間			1秒あたりのデータ量
	付属のカード＊	128MBカード	512MBカード	
320×240	約10秒(約1分)	約8分	約32分	約250KB／秒
160×120	約30秒(約2分)	約17分	約67分	約120KB／秒

＊ 付属のカードの場合、記載時間は1回の記録時間です。(　)内は、カード1枚あたりの合計時間です。

静止画の画質を選ぶ

カメラモード　再生(VTR)モード　｜　カードカメラモード　カード再生モード

①MENUボタンを押す
②「カード設定」➤「静止画像画質」➤ 設定内容を順に選ぶ
・設定ボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。
③MENUボタンを押す
・選んだ設定内容の表示が出ます。

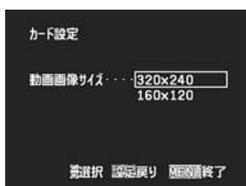
画像サイズを選ぶ

静止画の場合

カメラモード　再生(VTR)モード　**カードカメラモード**　カード再生モード

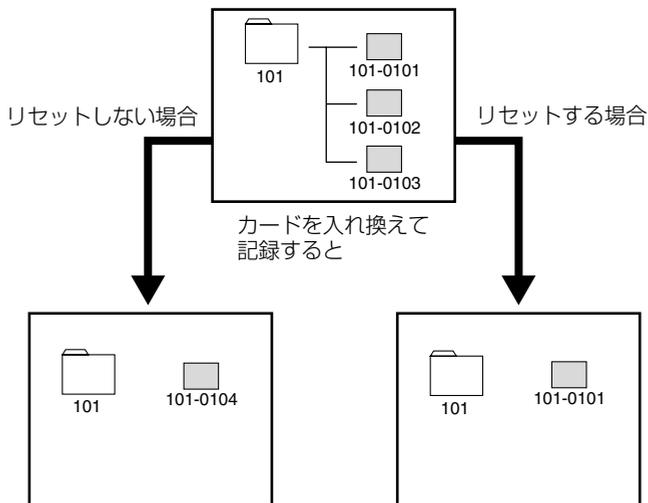
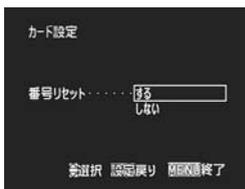
①MENUボタンを押す
②「カード設定」➤「静止画像サイズ」➤ 設定内容を順に選ぶ
・設定ボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。
③MENUボタンを押す
・選んだ設定内容の表示が出ます。

動画の場合

カメラモード　**再生(VTR)モード**　**カードカメラモード**　カード再生モード

①MENUボタンを押す
②「カード設定」➤「動画画像サイズ」➤ 設定内容を順に選ぶ
・設定ボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。
③MENUボタンを押す
・選んだ設定内容の表示が出ます（カードカメラモード時）。

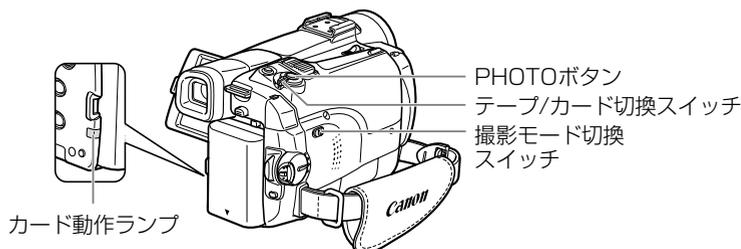
画像番号をリセットする

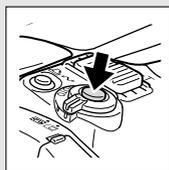
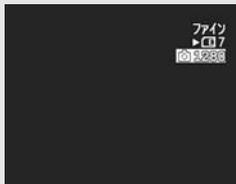
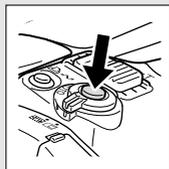
カードに記録した画像は、自動的に0101～9900までの番号が付けられ、ひとつのフォルダーに100枚ずつ保存されます。それぞれのフォルダーには101～998までの番号が付けられ、カードに記録します。
本機では、カードを換えたとき番号を連続して付けたり、番号をリセットしたりできます。

番号をリセットする	別のカードに入れ換えると、番号が101-0101から始まります。すでに画像が記録されているカードを入れたときは、その続きの番号になります。
番号をリセットしない	別のカードに入れ換えても、最後に記録した画像の続き番号が、次の画像に付けられます（カード内の番号のほうが大きい場合は、その続き番号が付けられます）。 番号をリセット「しない」に設定して記録すると、記録した画像の番号が重複しないため、パソコンでまとめて管理するときなどに便利です。 通常はリセット「しない」に設定しておくことをおすすめします。

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

①MENUボタンを押す
②「カード設定」➤「番号リセット」➤ 設定内容を順に選ぶ
　・設定ボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。
③MENUボタンを押す

カードを使う

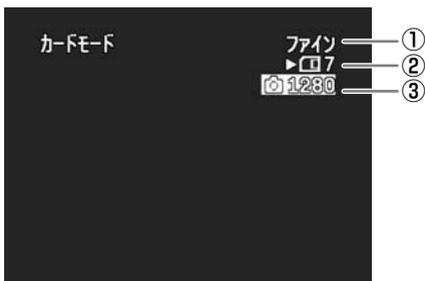
カードに静止画を記録する

ビデオカメラで撮影している映像のほかに、テープに記録されている映像、映像/音声端子（アナログ入力）、DV端子から入力している映像を静止画にしてカードに記録できます。また、動画をテープに撮影中、同時に、カードにも静止画を記録できます。

カメラモード | 再生(VTR)モード | **カードカメラモード** | カード再生モード

	操作	説明
1	**電源スイッチを「カメラ」にし、テープ/カード切換スイッチを「 」にする**	● 画面の中心に、白い枠（AF枠）が出ます。そのまま撮影すると、画面の中心にピントが合います（「AF枠を選ぶ」 110）。
2	**PHOTOボタンを浅く押し続ける** 	● ピント調整が終わるととAF枠が緑色の点灯に変わります。お知らせ音が2回鳴ります。 ● 露出がロックされます。 ● PHOTOボタンを浅く押したまま、設定ボタンを上／下に押すと、ピントを調整できます。 ● リモコンのフォトボタンを押したときは、すぐに静止画記録が始まります。
3	**PHOTOボタンを深く押す** 	● マークとAF枠が消えます。 ● カシャというシャッター音と同時に、シャッターを切るように画面が一度途切れます。 ● カード動作ランプが点滅し、静止画の書き込み表示が出ます。 ● ボタンを押したときの静止画がカードに記録されます。

❍ SDメモリーカードには、誤消去防止ツマミがついています。SDメモリーカードに静止画を記録するときには、記録できる状態になっていることを確認してください。

❍ 画面右上にカードの動作表示（▶ ）が出ていたり、カード動作ランプが点滅している間は、次のことを必ず守ってください。カードのデータを破損する恐れがあります。
- カードカバーを開けたり、カードを出したりしない。
- 電源を切らない。電源スイッチやテープ/カード切換スイッチを切り換えない。
- バッテリーパックなどの電源を取りはずさない。

- ❍ 本機をパソコンに接続するとき、カードに記録された画像枚数（Windows：1800枚以上、Macintosh：1000枚以上）により、パソコンに画像を取り込めないことがあります。その場合は、PCカードリーダーをお使いください。
- ❍ 本機をPictBridge対応プリンターに接続するときは、カードに1800枚以上の画像があると接続できません。快適に操作するために、100枚以下にしてください。
- ❍ 2の操作で、より正確にピントを合わせるため、一時的にピントが合わなく見えることがあります。
- ❍ 被写体が明るすぎて露出オーバー（露出過多）になり、「EXPオーバー」の表示が点滅した場合は、別売のフィルターセットFS-34UのNDフィルターを取り付けてください。
- ❍ **「フォーカス優先」を「入」に設定しているとき**
  ●とAF枠が緑色の点灯に変わる前にPHOTOボタンを深く押すと、ピントを合わせるのに約2秒*かかることがあります。ピントが合うまで、カードには記録されません。
  *ローライトモード、ナイトモード時には、4秒までかかることがあります。
  自動ではピントが合いにくい被写体のときは、AF枠は黄色く点灯し、そのままピントをロックします。PHOTOボタンを浅く押したまま設定ボタンを上／下に押してピントを合わせることをおすすめします。
- ❍「フォーカス優先」を「切」に設定しているときは、画面にAF枠は出ません。
  2の操作では、●が緑色に点灯し、ピントと露出がそのままロックされます。
- ❍ 本機をバッテリーパックで使用しているとき、撮影待機中には、省電のため、操作をしなくなってから約5分で電源が切れます（電源が切れる約20秒前に、画面中央に「⚠AUTO POWER OFF」が出ます）。撮影を続けるときは、電源スイッチを一度「切」にしてから、電源を入れ直してください。

静止画記録中の画面表示について

① 画質表示

静止画の画質を表示します。

②「▶」書き込み表示

静止画をカードに書き込んでいるときに表示します。

カード静止画の記録可能枚数表示

記録可能枚数6枚以上：6 緑色表示
記録可能枚数1～5枚：5 黄色表示*
記録可能枚数0枚：0 赤色表示*
＊カード再生時はすべて緑色になります。
・記録可能枚数表示は、記録時の状況により、一定ではありません。記録しても、枚数表示が減らなかったり、1回の記録で2枚減ることがあります。

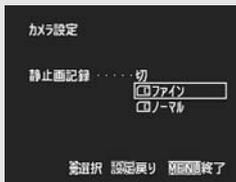
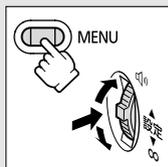
③ 画像サイズ表示

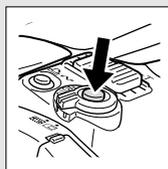
静止画の画像サイズを表示します。

テープ撮影中に同時に記録する

テープに動画を撮影中に、テープに記録している映像を同時にカードに静止画で記録できます。画質を選択できます。

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

1 「静止画記録」の設定を選ぶ

①MENUボタンを押す
②「カメラ設定」➤「静止画記録」➤「ファイン」または「ノーマル」を選ぶ
・設定ボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。
③MENUボタンを押す

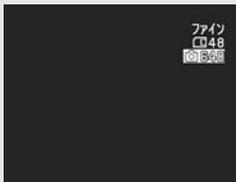
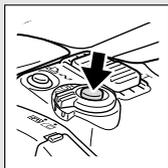
2 動画撮影中 PHOTOボタンを深く押す

● 画面は動画のまま、静止画がカードに記録されます。

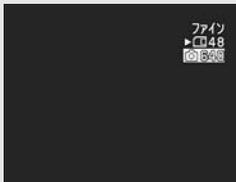
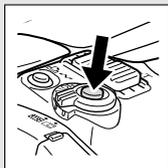
❍ 動画と同時に記録するときの静止画の画像サイズは、640×480です。画質は選択できます。
❍ カードカメラモードで640×480ピクセルで記録するときより、画質は劣ります。
❍ フェード、エフェクト、マルチ画面の実行中はカードに記録できません。
❍「ワイドTV」に設定していると、カードには記録できません。
❍「静止画記録」を「切」に設定していて、PHOTOボタンを押すと「OFF」が出ます。

テープの映像を静止画として記録する

カメラモード　**再生(VTR)モード**　カードカメラモード　カード再生モード

1 テープ再生中

PHOTOボタンを浅く押し続ける

- 画面に記録可能枚数などのカードの情報が表示され、再生一時停止になります。
- リモコンのフォトボタンを押したときは、すぐに静止画記録が始まります。

2 **PHOTOボタンを深く押す**

- カード動作ランプが点滅します。
- 再生一時停止中にPHOTOボタンを深く押しても、静止画を記録できます。

アナログ入力やDV入力する映像を静止画として記録する

映像/音声端子に接続したほかのビデオやテレビ番組やDV端子に接続したデジタルビデオ機器からの映像を静止画にして、カードに記録できます（接続のしかた（□ 83、85））。

カメラモード　**再生(VTR)モード**　カードカメラモード　カード再生モード

1 **電源スイッチを「再生（VTR)」にし、テープ/カード切換スイッチを「□」にする**

- カセットが入っているときは、停止ボタンを押して停止状態にしてください。

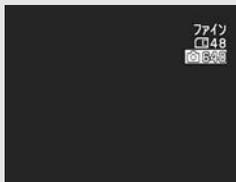
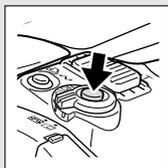
2 **「AV→DV」の設定を確認する（□ 87）**

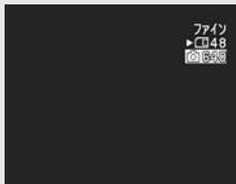
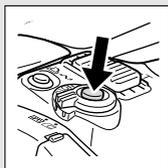
- アナログ入力（映像/音声端子を使う）の場合：「入」にします（画面に「AV→DV」が出ます）。
  DV入力（DV端子を使う）の場合：「切」にします（画面に「AV→DV」が出ません）。

カードを使う

次のページへ

3 接続したビデオ機器の電源を入れ、再生する

4 PHOTOボタンを浅く押し続ける

- 画面が静止画になり、画面に記録可能枚数などのカードの情報が表示されます。
- リモコンのフォトボタンを押したときは、すぐに静止画記録が始まります。

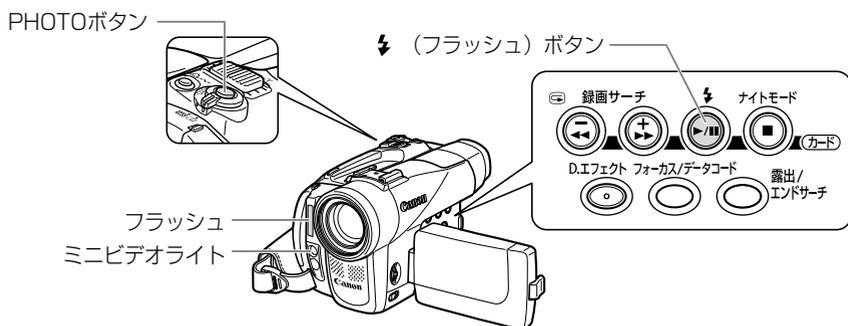
5 PHOTOボタンを深く押す

- カード動作ランプが点滅します。

テープの映像やアナログ入力、DV入力した映像から記録する場合

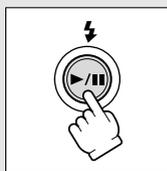
❍ カードに記録される静止画の画像サイズは、640×480です。画質は選択できます。
❍ テープの映像や映像／音声端子、DV端子から入力した映像の1場面を静止画としてカードに記録したときの日付/時刻が、日時としてカードに記録されます。
❍「ワイドTV」で撮影した映像をカードに記録すると、縦に伸びた画像になります。
❍ DV入力する場合、本機のUSB端子には何も接続しないでください。

フラッシュを使う

フラッシュを使うと、夜景や室内など、周囲が暗い場所でも静止画をきれいに撮影できます。さらに、夜や暗い室内などでフラッシュを使って人物を撮影したときに、目が赤く映る「赤目現象」を出にくくします（赤目緩和機能）。

⚡A（オート）	被写体の明るさによって、自動的に発光します。
👁（赤目緩和オート）	「オート」に加えて、撮影前、赤目緩和用にミニビデオライトが点灯します。
⚡（強制発光）	被写体の明るさに関係なく、発光します。
⊘（発光禁止）	発光しません。フラッシュ撮影が禁止されている場所で撮影するときなどに使います。

フラッシュの設定を変える

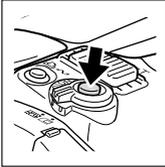
カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

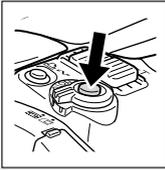
1 ⚡（フラッシュ）ボタンを押す

- ボタンを押すたびに、表示が変わります。
- 選んだ設定の表示が出ます。「⚡A（オート)」のみ、約 4 秒後に消えます。

次のページへ

フラッシュを使う

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

1 PHOTOボタンを浅く押し続ける

- 「ϟ」が緑色で表示されます。
- カメラモードでは、「静止画記録」を「切」以外に設定していて、撮影一時停止中に使用できます。

2 PHOTOボタンを深く押す

- フラッシュが発光します。

❍ フラッシュ撮影可能距離は、約1～2mです。撮影条件により、距離は変わります。
❍ 連写では、フラッシュの光量が減りますので、被写体に近づいて撮影することをおすすめします。
❍ 被写体の明るさによって、フラッシュの発光量を調整します（フラッシュ調光）。静止画撮影時のフラッシュ発光（本発光）の前に、調光用の発光を行います。
❍「◎（赤目緩和オート）」では、写される人が赤目緩和用のミニビデオライトの点灯を見ていないと効果がありません。赤目緩和効果の度合は、写される人との距離によって異なり、また、個人差があります。
❍ 次の場合、フラッシュは発光しません。
　・「ϟA（オート）」と「◎（赤目緩和オート）」で、露出ボタンを押して露出をロックしているとき。
　・動画をテープに記録しているとき。
　・カメラモードで「静止画記録」を「切」にしているとき。
　・カメラモードの場合、「ϟA（オート）」と「◎（赤目緩和オート）」で、1/2000秒の高速シャッターに設定しているとき。
　・マルチ画面を設定しているとき。
　・ドライブモードでAEBを選んでいるとき。
　・フラッシュの充電中に異常があるとき（📖 185）。フラッシュの表示が赤く点滅します。
❍「ϟ（強制発光）」の場合、カメラモードで1/2000秒の高速シャッターを設定しているときは、1/1000秒になり、フラッシュは発光します。

❍ ワイドアタッチメント、または別売のワイドコンバーターやテレコンバーターをお使いのとき、フラッシュを発光させることをおすすめしません。ワイドコンバーターやテレコンバーターなどの影が映ります。

❍ 次の場合は、フラッシュの設定を変更できません。
- ・露出ボタンを押して露出をロックしているとき。
- ・スティッチアシストモードで2枚目以降を撮影しているとき。

❍ スティッチアシストモードでは「◎（赤目緩和オート）」は選べません。

❍ AF補助光について
フラッシュを使って静止画を撮影するとき、ピントを合いやすくするために、被写体の明るさによって、AF補助光としてミニビデオライトが点灯します。AF補助光は、PHOTOボタンを浅く押すと、被写体の明るさによって、ピントを合いやすくするために、AF補助光としてミニビデオライトが点灯することがあります。点灯後、しばらくすると消えます。
- ・AF補助光が点灯しても、自動ではピントが合わないことがあります。
- ・AF補助光は明るく点灯します。レストランや劇場などの公共の場所では、周囲への配慮を心がけてください。

カードに記録した静止画を確認する（静止画確認時間）

カードに静止画を記録した直後に、選んだ時間（2、4、6、8、10秒）、静止画を確認できます。

設定のしかた

カメラモード　再生(VTR)モード　**カードカメラモード**　カード再生モード

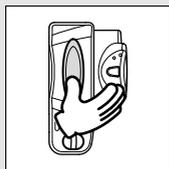
①MENUボタンを押す
②「カメラ設定」➤「静止画確認時間」➤ 設定内容を順に選ぶ
・設定ボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して決定します。
③MENUボタンを押す

❍ 静止画記録時に、PHOTOボタンを深く押し続けている間も、記録した静止画を確認できます。
❍ 静止画記録時に静止画を確認している間、または静止画記録直後に設定ボタンをまっすぐ押すと、「画像設定」メニューが出ます。画像プロテクト（📖 119）、画像消去（📖 121）ができます。
❍ ドライブモードで連写、高速連写、AEBを選んでいると、静止画確認時間は設定できません。

カードに動画を記録する

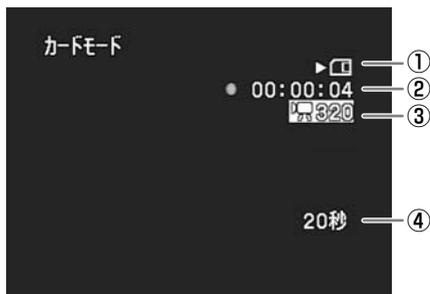
カードに、Motion JPEG圧縮で動画を記録します。パソコンに取り込んで再生できます。ビデオカメラで撮影している映像のほかに、テープに記録されている映像、映像/音声端子（アナログ入力）、DV端子から入力している映像をカードに記録できます。
カードに動画を記録すると、音声はモノラルになります。

カメラモード　再生(VTR)モード　**カードカメラモード**　カード再生モード

1 スタート/ストップボタンを押す

● スタート/ストップボタンをもう一度押すと、撮影は停止します。

❍ SDメモリーカードには、誤消去防止ツマミがついています。SDメモリーカードに動画を記録するときは、記録できる状態になっていることを確認してください。
❍ 画面右上にカードの動作表示（▶ ）が出ていたり、カード動作ランプが点滅している間は、次のことを必ず守ってください。カードのデータを破損する恐れがあります。
  ・ カードカバーを開けたり、カードを出したりしない。
  ・ 電源を切らない。電源スイッチやテープ/カード切換スイッチを切り換えない。
  ・ バッテリーパックなどの電源を取りはずさない。
❍ カードへの記録中は、カセットを出し入れしないでください。

❍ SDメモリーカードに動画を記録するときは、キヤノン製または転送速度2MB/秒以上のSDメモリーカードを、本機でフォーマット直後にご使用になることをおすすめします。画像の書き込み速度が遅かったり、本機以外でフォーマットしたり、画像の記録／消去を何度もくり返しているカードの場合は、カードへの記録が中断されることがあります。
❍ カードに動画を記録するときも、AF枠は選べます。
❍ Windows XPをお使いの場合、ビデオカメラをUSBケーブルを使ってパソコンに接続するときは、カード動画の連続撮影時間を320×240では約12分、160×120では約35分までにしてください。
❍ カード動画の記録時間は画像サイズ、被写体によって異なります。

動画記録中の画面表示について

① 書き込み表示

動画をカードに書き込んでいるときは、「▶」が表示され、「□」が動きます。

② カード動画の記録時間表示

動画の記録時間を表示します。

③ 画像サイズ表示

動画の画像サイズを表示します。

④ カード動画の記録可能時間表示

動画の記録可能な時間を「時：分」で表示します。

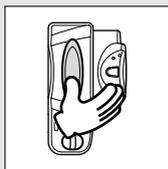
記録可能な時間が1分以下になると10秒単位で減ります。10秒以下では、1秒単位で減ります。

・記録可能時間表示は、記録時の状況により一定ではありません。記録時間が、実際の時間より長くなったり、短くなったりすることがあります。

テープの映像をメモリーカードに記録する

カメラモード　**再生(VTR)モード**　|　カードカメラモード　カード再生モード

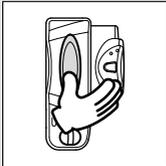
1 再生中／再生一時停止中

スタート/ストップボタンを押す

- スタート/ストップボタンをもう一度押すと記録は停止します。

アナログ入力やDV入力する映像をカード記録する

映像/音声端子に接続したほかのビデオやテレビ番組やDV端子に接続したデジタルビデオ機器からの映像を、カードに記録できます（接続のしかた 📖83、85）。

カメラモード　**再生(VTR)モード**　カードカメラモード　カード再生モード

1	**電源スイッチを「再生（VTR)」にし、テープ/カード切換スイッチを「📼」にする**	● カセットが入っているときは、停止ボタンを押して停止状態にしてください。
2	**「AV→DV」の設定を確認する（📖 87）**	● アナログ入力（映像/音声端子を使う）の場合：「入」にします（画面に「AV→DV」が出ます）。 DV入力（DV端子を使う）の場合： 「切」にします（画面に「AV→DV」が出ません）。
3	**接続したビデオ機器の電源を入れ、再生する**	
4	再生中／再生一時停止中 **スタート/ストップボタンを押す** 	● スタート/ストップボタンをもう一度押すと、記録は停止します。

テープの映像やアナログ入力、DV入力した映像から記録する場合

❍ テープの映像をカードに記録し始めたときの日付／時刻が、日時としてカードに記録されます。

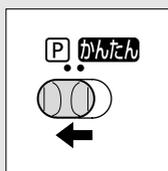
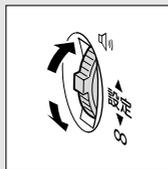
❍「ワイドTV」で撮影した動画をカードに記録すると、縦に伸びた画像になります。

AF枠を選ぶ

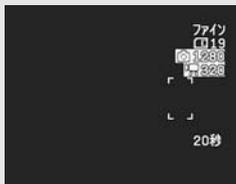
AF枠とは、ピントを合わせる枠のことをいいます。
被写体により正確にピントを合わせたいとき、画面に出る3つのAF枠から、ピントを合わせたいAF枠を選びます。狙った被写体に、正確にピントを合わせたり、構図を楽しむのに便利です。
撮影モードが「□ かんたん」のとき、「フォーカス優先」は「入」になりますが、AF枠は画面の中心で固定されます。

AF枠の選びかた

カメラモード　再生(VTR)モード　**カードカメラモード**　カード再生モード

1 **撮影モード切換スイッチをⓅにする**

2 **設定ボタンを上／下に押す**

- 画面に3つの枠が出て、1つだけ緑色になります。

3 **設定ボタンを上／下に押す**

- ピントを合わせる枠を選びます。

❍ AF枠は、ピントを合わせる位置の目安です。撮影する被写体の大きさや距離によっては、枠の外部にピントが合う場合があります。
❍ ズームなどの操作をすると、選んでいる枠以外のAF枠は消えます。
❍ AF枠は、カードカメラモードで、「フォーカス優先」を「入」に設定している場合のみ選べます。

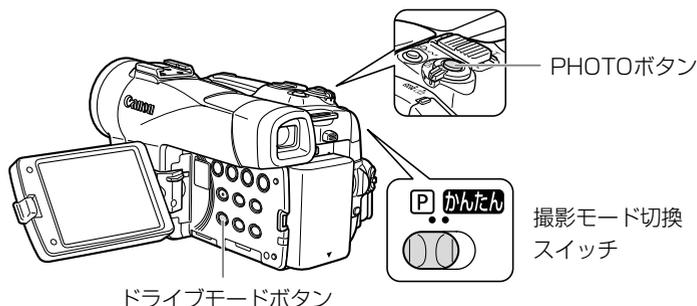
❍ 電源を切ったり、カードカメラモード以外にしたり、撮影モード切換スイッチを「かんたん」にしたりすると、中央の枠に戻ります。
❍ 次の場合、AF枠は選択できません。
  ・ デジタルズームを使用しているとき。
  ・ 露出をロックしているとき。
  ・ スティッチアシスト画面のとき。

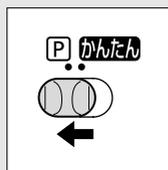
フォーカス優先の設定を変える

PHOTOボタンを押したときにすぐに静止画記録をしたいときは、「フォーカス優先」を「切」に設定します。

カメラモード
① MENUボタンを押す
②「カメラ設定」➤「フォーカス優先」➤ 設定内容を順に選ぶ
  ・設定ボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。
③ MENUボタンを押す

ドライブモードを選ぶ（連写／高速連写／AEB）

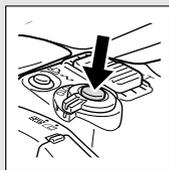
連写	PHOTOボタンを押し続けている間、連続撮影できます（記録枚数については、次ページをご参照ください）。
高速連写	
AEB	自動的に露出を約1／2段変えて、3枚の静止画を連続撮影します。標準、暗め、明るめの順で撮影し、最適な露出の静止画を簡単に選べます。 AEBは、Auto Exposure Bracketing（オート エクスポージャー ブラケッティング）の略です。
単写	PHOTOボタンを押すと、1枚の静止画を撮影します。

設定のしかた

1 撮影モード切換スイッチをⓅにする

2 ドライブモードボタンを押す

- ボタンを押すたびに、表示が変わります。
- 選んだ設定の表示が出ます。

連写／高速連写で撮影する

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

1 PHOTOボタンを深く押し続ける

● PHOTOボタンを押し続けている間、静止画が連続でカードに記録されます。

1回の連写で記録できる最大枚数

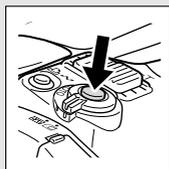
静止画像サイズ	1秒あたりの記録枚数		連続記録可能枚数
	連写	高速連写	
1280×960	約3枚	約5枚	約10枚
640×480	約3枚	約5枚	約60枚

＊記録できる枚数や1秒あたりの記録枚数は、目安です。撮影条件や被写体によって変わります。また、上記の枚数が記録できる空き容量が必要です。

❍ が出ているときは、1秒あたりの連写枚数が少なくなります。
❍ フラッシュ発光時、連写／高速連写は約2枚/秒になります。

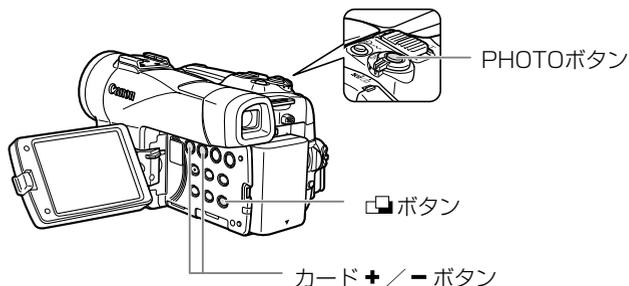
自動的に露出を変えて撮影する（AEB）

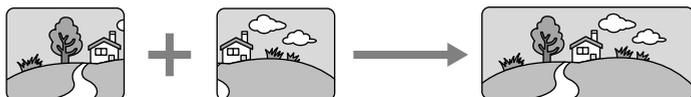
カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

1 PHOTOボタンを深く押す

● 露出を変えた3枚の静止画が、自動的にカードに記録されます。

AEBでは、3枚連続して記録されますので、カードに十分な空き容量があることを確認してください。

パノラマ写真を撮る（スティッチアシスト）

撮影した静止画を、付属のDIGITAL VIDEO SOLUTION DISKに入っているソフトウェア（PhotoStitch）を使ってパソコンでつなぎ合わせて（スティッチ）、パノラマ写真を作成できます。

撮影する

パソコンで静止画をつなぎ合わせるときは、隣の静止画にある同じ被写体を探し出して重ね合わせます。重ね合わせやすいように特徴のある被写体（目印になる被写体）を入れて撮影してください。

カメラモード　再生(VTR)モード　**カードカメラモード**　カード再生モード

1 ボタンを押す

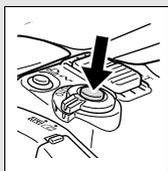
- スティッチアシスト画面が出ます。

2 カード＋／－ボタンを押す

- 撮影方向を選びます。

3 プログラムAE、ズームを被写体に合わせて設定する

- 必要なときは手動ピント合わせ、露出補正も操作します。
- 2枚目以降の撮影では、プログラムAE、ズーム、露出補正の設定は操作できません。

4 PHOTOボタンを押す

- 最初の静止画を撮影します。
- 画面に撮影している方向と撮影枚数の表示が出ます。

5 撮影した静止画と一部が重なるように、次の静止画を撮影する

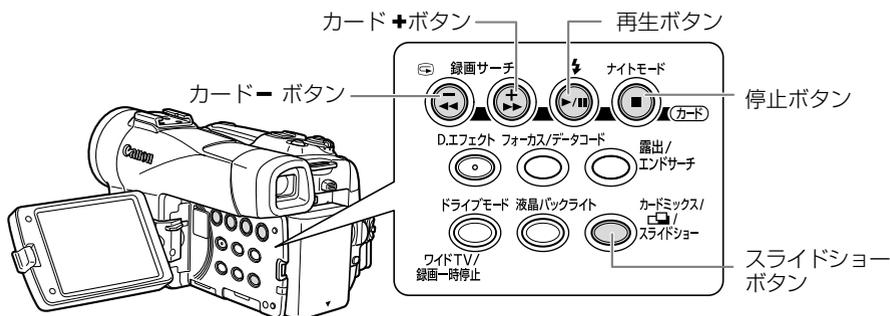
- 重なる部分は多少ずれても、パソコンでつなぎ合わせるときに修整されます。
- カード − ボタンを押すと撮影した静止画に戻りますので、撮影し直せます（左方向に撮影しているときは、カード ✚ ボタンを押してください）。
- 最大26枚まで撮影できます。

6 撮影が終わったら、□ボタンを押す

- スティッチアシスト画面が消えます。
- パノラマ写真の作成のしかたについては、付属のDigital Video Software使用説明書をご覧ください。

- ❍ 静止画の重なる部分は、画面の幅の30%〜50%にします。また、上下のズレは、画面の上下の10%以内であれば、自動修整できます。
- ❍ 重なる部分には動いている被写体が入らないようにしてください。
- ❍ 被写体が遠くにある静止画と近くにある静止画を合成すると、合成画像がゆがんだり、被写体が二重になることがあります。

カードを再生する

本機では、画像を1枚ずつ見たり、連続して順番に見たり（スライドショー）、6枚を一度に見たり（インデックス画面）できます。さらに、見たい画像をすばやく探し出せるカードジャンプ機能があります。

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　**カード再生モード**

1 電源スイッチを「再生（VTR)」にし、テープ/カード切換スイッチを「 」にする

2 カード+ ／− ボタンを押す

- 動画の場合：▶/❚❚ボタンを押すと、動画が再生され、再生が終わると最初の場面で静止画になって停止します。
  再生中に▶/❚❚ボタンを押すと、その場面で再生一時停止になります。再生を再開するときは、もう一度▶/❚❚ボタンを押します。
  再生中に■（停止）ボタンを押すと、その動画の最初の場面に戻ります。

❍ パソコンで作成／加工した静止画をカードに書き込んだり、本機で記録した画像をパソコンで直接加工したり、ファイル名を変更した場合、本機で再生できなくなる場合があります。
❍ 本機以外のビデオカメラなどで記録した画像は､正しく再生されないことがあります。
❍ 画面右上にカードの動作表示（▶ ）が出ていたり、カード動作ランプが点滅している間は、次のことを必ず守ってください。カードのデータを破損する恐れがあります。
　・ カードカバーを開けたり、カードを出したりしない。
　・ 電源を切らない。電源スイッチやテープ/カード切換スイッチを切り換えない。
　・ バッテリーパックなどの電源を取りはずさない。

動画を再生中にカード✚ ／━ ボタン（リモコンの早送り／巻戻しボタン）を押すと、押している間だけ8倍の早送り／巻戻しになります。

画像を順番に再生する（スライドショー）

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　**カード再生モード**

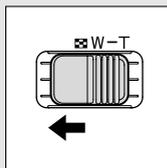
1 **スライドショーボタンを押す**

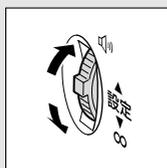
- 出ている画像から順番に再生します。
- ボタンをもう一度押すと、スライドショーを終了します。

インデックス画面で画像を選ぶ

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　**カード再生モード**

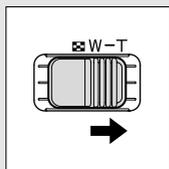
1 静止画再生中／動画停止中

ズームレバーをW側に押す

- 6つの画像が出るインデックス画面になります。

2 **設定ボタンを上／下に押す**

- 「☞」を再生したい画像に合わせます。
- カード＋／－ボタンでインデックス画面を切り換えられます。

次のページへ

3 ズームレバーをT側に引く

W−T

- インデックス画面が終了し、選んだ1枚の画像が画面に出ます。

画像をすばやく探し出す（カードジャンプ機能）

1枚ずつ再生せずに、離れた画像まで一気にジャンプできます。
カード再生モード時の画面の右上に出る数字は、記録した画像の合計枚数（全枚数）と再生している画像が何枚目になるか（表示番号）を表しています（ (表示番号）/（全枚数))。

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　**カード再生モード**

1 カード＋／− ボタンを押し続ける

録画サーチ

101-0112
12/40
1280x960

- ボタンを押している間、表示番号のみが連続的に変わります。
- ボタンを離すと、表示番号の画像が画面に出ます。

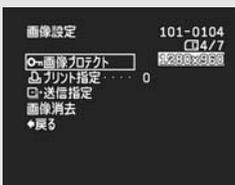
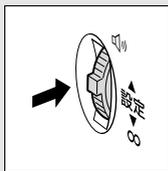
画像を消去しないように保護する（画像プロテクト）

大切な画像を誤って消去しないようにするために、画像に誤消去防止（プロテクト）の設定ができます。

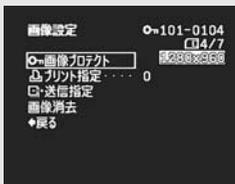
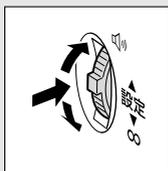
プロテクト設定をしても、カードをフォーマットするとすべての画像は消去されます。

動画は、最初の場面が静止画で表示されているときにプロテクトを設定できます。動画の再生中／再生一時停止中には、設定できません。

① 画像を見ながらプロテクトする

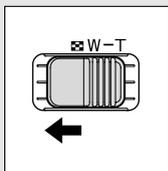
カメラモード　再生(VTR)モード　**カードカメラモード**　**カード再生モード**

1 設定ボタンをまっすぐ押す

- 「画像設定」メニューが出ます。
- カードカメラモードの場合、静止画を確認している間、または静止画記録直後に設定ボタンを押すと、メニューが出ます。

2 画像をプロテクトする

- 設定ボタンで「O┳ 画像プロテクト」を選び、設定ボタンをまっすぐ押すと「O┳ 」が出ます。もう一度押すと、解除できます。
- 「⬅戻る」を選ぶと、メニューが消えます。

② インデックス画面で画像をプロテクトする

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　**カード再生モード**

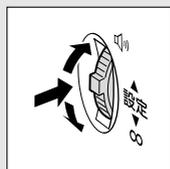
1 ズームレバーをW側に押す

- インデックス画面になります。
- プロテクトする画像を選びます（「インデックス画面で画像を選ぶ」操作2（📖 117））。

次のページへ

カードを使う

2 「➡ O┳ 画像プロテクト」を選ぶ

①MENUボタンを押す
②「カード実行」➤「➡ O┳ 画像プロテクト」を順に選ぶ
・設定ボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。

3 画像をプロテクトする

- 設定ボタンをまっすぐ押すと「O┳ 」が出て、消去できなくなります。もう一度押すと、解除できます。
- 設定ボタンを上／下に押すと、他の画像を選べます。
- MENUボタンを押すと、通常のインデックス画面に戻ります。

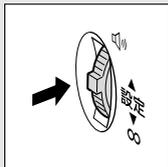
画像を消去する（画像消去）

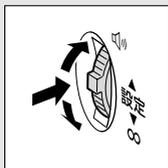
不要になった画像を1枚消去したり、すべての画像を一度に消去したりできます。

一度消去した画像はもとに戻せません。消去する前に画像を確認してください。

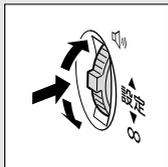
- プロテクト設定している画像は消去できません。
- 動画は、最初の場面が静止画で表示されているときに消去できます。動画を再生中／再生一時停止中は、消去できません。

① 画像を見ながら1枚消去する

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

1 設定ボタンをまっすぐ押す

- 「画像設定」メニューが出ます。
- カードカメラモードの場合、静止画を確認している間、または静止画記録直後に設定ボタンを押すと、メニューが出ます。

2 「画像消去」を選ぶ

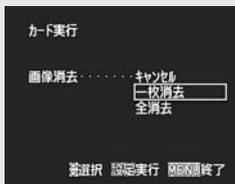
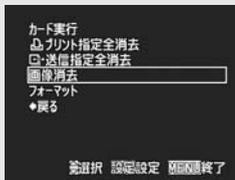
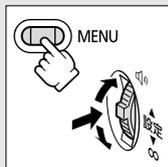
- 設定ボタンで「画像消去」を選び、設定ボタンをまっすぐ押します。

3 「はい」を選び、消去する

- 設定ボタンをまっすぐ押すと、画像が消去されます。
- 消去した画像の1つ後の画像が出ます。
- 「⬅戻る」を選ぶと、メニューが消えます。

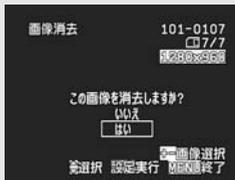
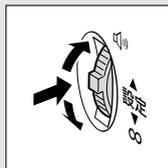
次のページへ

② 画像を1枚消去、または全消去する

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　**カード再生モード**

1 「画像消去」を選ぶ

①MENUボタンを押す
②「カード実行」➤「画像消去」➤ 設定内容を順に選ぶ
・設定ボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。

- 「一枚消去」の場合は、インデックス画面やカードジャンプ機能などを使って消去する画像を選びます。インデックス画面を使った場合は、画像を選んだ後にインデックス画面を終了し、1枚表示にします。
- 誤って「画像消去」の項目を選んでしまったときなど、画像消去しないときは「キャンセル」を選んで、設定ボタンをまっすぐ押してください。

2 「はい」を選び、消去する

- 「一枚消去」の場合：設定ボタンをまっすぐ押すと、選んだ画像が消去されます。続けて別の画像を消去するときは、カード＋／－ボタンで消去したい画像を選びます。次に「はい」を選び、設定ボタンをまっすぐ押すと、選んだ画像が消去されます。
  消去が終了すると、「はい、いいえ」の選択画面に戻ります。MENUボタンを押すと、メニューが消えます。
- 「全消去」の場合：設定ボタンをまっすぐ押すと、O╖（プロテクトした）画像を除いたすべての画像が消去されます。
  消去が終了すると、「カード実行」サブメニューに戻ります。
- 「いいえ」を選ぶと、「キャンセル、一枚消去、全消去」の選択画面に戻ります。

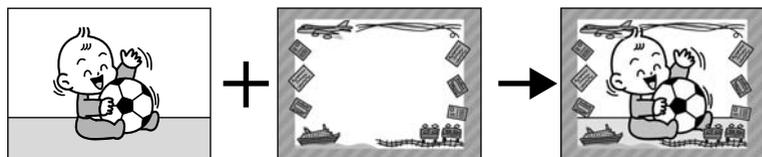
画像を合成する（カードミックス）

カードに記録してある静止画とカメラで撮影している映像を合成し、テープに記録できます。付属のDIGITAL VIDEO SOLUTION DISKに入っているタイトルやフレーム、アニメーションなどのサンプル画像（📖 126）を使って、ビデオを楽しく演出できます。
カードに記録した動画と、カメラで撮影している映像は合成できません。

カードクロマキー

イラストやフレームの静止画とカメラの映像を合成します。
静止画の青い部分にカメラで撮影している映像が写ります（例では画面の中心が青になります）。
ミックスレベルの調整：静止画の青い部分の調整

カードルミキー

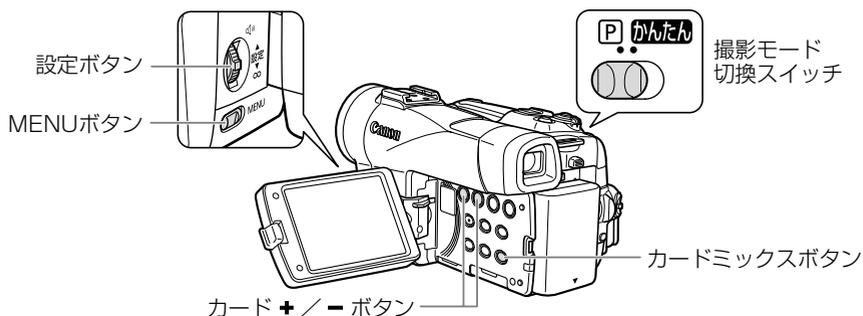
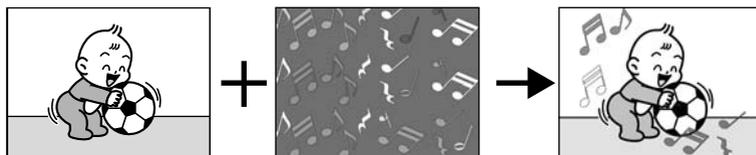
イラストやタイトルなどの静止画とカメラの映像を合成します。
静止画の中の明るい部分にカメラで撮影している映像が写ります（例では白い紙が明るい部分、イラストや枠の部分の文字が暗い部分になります）。
ミックスレベルの調整：静止画の明るい部分の調整

カメラクロマキー

静止画とカメラの映像を合成します。
カーテンなど青い背景の前で撮影します。被写体など青以外の部分が静止画の上に写ります。
ミックスレベルの調整：カメラで撮影している画面の青い部分の調整

次のページへ

カードアニメーション

アニメーションとカメラの映像を合成します。
アニメーションの動きは、コーナー（画面の左上と右下に表れる）／ストレート（画面の上下に表れる）／ランダム（画面の中を動き回る）から選べます。
ミックスレベルの調整：青い部分の調整

（例）コーナーの場合

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

1 DIGITAL VIDEO SOLUTION DISKから、カードにサンプル画像を追加する

- パソコンからカードにサンプル画像を追加するためには、Digital Video Software使用説明書の「カードにサンプル画像を追加する」をご覧ください。

2 撮影モード切換スイッチをⓅにする

3 「➡カードミックス」を選ぶ

①MENUボタンを押す
②設定ボタンを上／下に押して「D.エフェクト設定」、「➡カードミックス」を順に選び、まっすぐ押す

4 カードの静止画/アニメーションを選ぶ

● カード＋／－ボタンを押します。

5 ミックスタイプを選ぶ

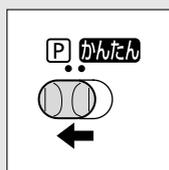
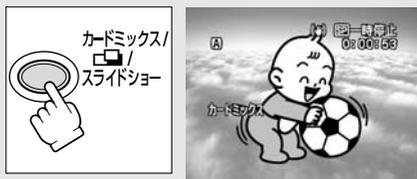
● 静止画／アニメーションとカメラで撮影している映像が、合成された画面になります。
● 設定ボタンをまっすぐ押すと、「カードミックス」サブメニューに戻ります。

カードアニメーションを選んだ場合
アニメーションタイプを選ぶ

● 設定ボタンを上／下に押して、アニメーションの動きを選び、まっすぐ押します。
● アニメーションとカメラで撮影している映像が、合成された画面になります。

6 ミックスレベルを調整する

● 画面を見ながら、設定ボタンを上／下に押して調整します。
● MENUボタンを押すと、「カードミックス」表示が点滅します。

次のページへ

7 カードミックスボタンを押す

- 「カードミックス」表示が点灯に変わり、合成された画面になります。

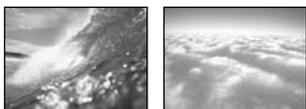
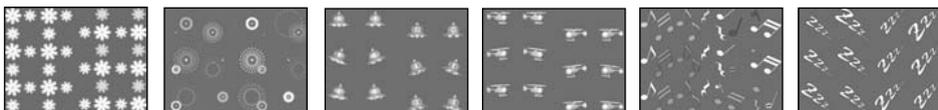
メニューで「静止画記録」を「切」に設定しているときのみ、使用できます。

サンプル画像

付属のDIGITAL VIDEO SOLUTION DISKには、次のようなサンプル画像（例）が入っています。

カードクロマキー用

カードルミキー用

カメラクロマキー用

カードアニメーション用

付属のDIGITAL VIDEO SOLUTION DISKに入っている画像データは、お買い上げになったビデオカメラでの画像合成を個人で楽しむ目的以外には使用しないでください。

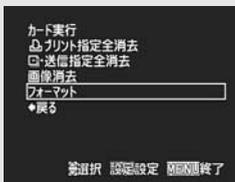
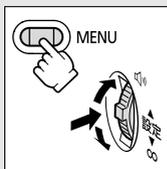
PhotoEssentials - イメージライブラリ
PhotoEssentialsは、使用権/著作権、肖像権の問題のない高品質なイメージ画像を収録したCD-ROMで、広告宣伝、カタログ、レポート、マルチメディアドキュメント、Webサイト、本、パッケージなどの幅広い用途にお使いいただけます。PhotoEssentialsについてより詳しい情報をお知りになりたい方は、下記にご連絡ください。
株式会社データクラフト（http://www.datacraft.co.jp）

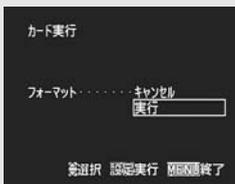
カードを初期化する（フォーマット）

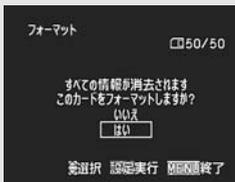
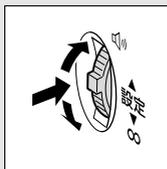
フォーマットは、新しいカードを使うときや、「カードエラーです」というお知らせ表示が出たときに行います。また、カードに記録した画像などの情報すべてを消去するときにも行います。

❍ フォーマットを行うと、プロテクト設定した画像まで、すべての情報が消えてしまいます。
❍ フォーマットして一度消去した画像などはもとに戻せません。フォーマットする前に確認してください。
❍ 付属のカード以外のカードを使用する際には、本機でフォーマットしてください。

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　**カード再生モード**

1 「フォーマット」を選ぶ

①MENUボタンを押す
②「カード実行」➤「フォーマット」を順に選ぶ
・設定ボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。

2 「実行」を選ぶ

- 設定ボタンを上／下に押して「実行」を選びます。
- フォーマットを中止するときは「キャンセル」を選んで、設定ボタンをまっすぐ押してください。

3 「はい」を選び、フォーマットする

- 設定ボタンを上／下に押して「はい」を選び、まっすぐ押すと、カードはフォーマットされ、すべての情報が消去されます。
- 「いいえ」を選ぶと、「キャンセル、実行」の選択画面に戻ります。

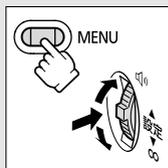
起動画面を作成する

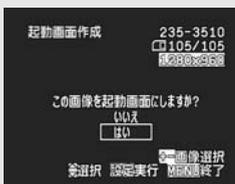
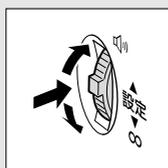
起動画面は、カードに記録した静止画を使って作成できます。

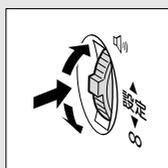
カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　**カード再生モード**

1 起動画面にする静止画を選ぶ

● カード＋／－ボタンを押します。

2 「起動画面作成」を選ぶ

①MENUボタンを押す
②「マイカメラ設定」➤「起動画面作成」を順に選ぶ
・設定ボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。

3 「はい」を選ぶ

● 設定ボタンを上／下に押して「はい」を選び、まっすぐ押します。
● 「いいえ」を選ぶと、2の操作画面に戻ります。

4 「はい」を選び、実行する

● 設定ボタンを上／下に押して「はい」を選び、まっすぐ押すと、そのとき再生している静止画が「ユーザー設定」に記録されます。その場合、記録されていた起動画面は消去されます。
● 「いいえ」を選ぶと、3の操作画面に戻ります。

起動画面に設定した静止画のオリジナルの画像データは、パソコンなどに保存しておいてください。

静止画を印刷する（ダイレクトプリント）

別売のダイレクトプリント対応のプリンターを接続すると、パソコンを使用することなくカードに記録した静止画を簡単な操作で、きれいに印刷できます。また、プリント指定による連続印刷ができます（ 141）。
本機で使用できるプリンターは、次のとおりです。

キヤノン製プリンター	PictBridge対応SELPHY CPシリーズ*／SELPHY DSシリーズ／PIXUSシリーズ	PictBridge
	Bubble Jet ダイレクト対応PIXUSシリーズ	BUBBLE JET DIRECT
	CPプリンターCP-10、CP-100	DIRECT PRINT
キヤノン製以外のPictBridge対応プリンター		PictBridge

* お使いのCP-300がPictBridgeに対応していない（PictBridgeロゴがついていない）場合、下記のホームページの手順に従ってファームウェア変更を行うと、PictBridge対応になり、本機と接続して使用できるようになります。
  カードフォトプリンター CP-300ファームウェア変更
  http://www.canon.co.jp/Imaging/cp300/cp300_firmware-j.html
  ホームページをご覧になれない場合は、弊社サービスセンターにご相談ください（ 巻末）。

ダイレクトプリント対応のプリンターと接続する

次のページへ

1 本機

電源スイッチを「切」にし、静止画を記録したカードを入れる

2 プリンター

電源を入れる

3 本機

カード再生モードにする

4 **接続ケーブルで、本機とプリンターを接続する**

設定

- プリンターが正しく接続されていると、本機の画面に が点滅した後、設定、設定または設定が表示されます（動画や本機で再生できない静止画のときには、表示されません）。
- （イージーダイレクト）ボタンが点灯し、現在の印刷設定が約6秒間画面に表示されます。

❍ 本機とプリンターを接続したときに、 が点滅し続ける（約1分以上）場合、または設定／設定／設定が表示されない場合、ビデオカメラとプリンターの接続が正しくありません。このような場合は、次の操作を行ってください。
ビデオカメラとプリンターを接続しているケーブルを取りはずし、ビデオカメラとプリンターの電源を一度切ってから、電源を入れ直す。

❍ 本機をプリンターと接続したまま、「カード再生モード」以外にしないでください。

❍ 接続ケーブルについては、プリンターの使用説明書をご覧ください。
キヤノンCPプリンターCP-10／CP-100には、接続ケーブルが2本付属しています。本機と接続するときは端子に「 」がついているケーブル（DIF-100）を使用します。

❍ 本機にはコンパクトパワーアダプターを接続して、家庭用コンセントで使うことをおすすめします。

❍ プリンターの使用説明書もあわせてご覧ください。

❍ 「印刷する」の画面のイラストは、接続しているプリンターによって異なります。

(イージーダイレクト)ボタンを使って印刷する

静止画を選んでそのまま1枚印刷するときは、ボタンを押すだけで印刷できます。

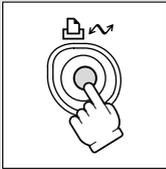
カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　**カード再生モード**

1

静止画再生中(1枚)

印刷する静止画を選ぶ

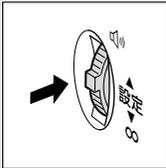
2

ボタンを押す

- 印刷が始まり、正常に終了すると再生画面に戻ります。
- 印刷中はボタンが点滅し、終了すると点灯します。
- 続けてほかの静止画を印刷するときは、カード＋／－ボタンで静止画を選んでください。

印刷設定を選んで印刷する

印刷枚数やペーパーサイズなどの印刷設定を選んで印刷できます。印刷設定の内容は、接続するプリンターによって異なります。

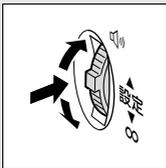
1

設定ボタンをまっすぐ押す

- 印刷設定画面が出ます。
- プリンターによっては、「処理中...」の表示が出た後に、印刷設定画面が出ます。

2

印刷設定を選ぶ(133)

3

「プリント」を選び、設定ボタンを押す

- 印刷が始まり、正常に終了すると再生画面に戻ります。
- 続けてほかの静止画を印刷するときは、カード＋／－ボタンで静止画を選んでください。

次のページへ

❍ 次のような場合、静止画がダイレクトプリント対応のプリンターで正しく印刷されないことがあります。
・ パソコンで作成／加工した静止画をカードに書き込んだとき
・ 本機で記録したカードの静止画をパソコンで直接加工したとき
・ カードの静止画のファイル名を変更したとき
・ 本機以外のビデオカメラなどで画像を記録したカードを本機に入れたとき

❍ 印刷が正しく行われなくなりますので、印刷中に次の操作はしないでください。
・ テープ/カード切換スイッチを切り換える
・ ビデオカメラ、プリンターの電源を切る
・ ビデオカメラとプリンターから接続ケーブルを抜く
・ カードカバーを開けたり、カードをビデオカメラから抜く

❍ 本機とプリンターを接続しているときに、「処理中...」が長時間表示される場合、接続ケーブルを一度抜き、接続し直してください。

❍ **印刷を中止するとき**
印刷中に設定ボタンをまっすぐ押します。確認画面が出ますので、設定ボタンで「OK」を選び、設定ボタンをまっすぐ押します。
・ キヤノン製プリンター　（CP-10/CP-100を除く）の場合：印刷が中断され、印刷中のペーパーが排紙されます。
・ キヤノン製プリンター　CP-10/CP-100の場合：印刷を開始した静止画は中止できません。次の印刷が中止になり、再生画面に戻ります。

❍ **印刷中に異常が発生したとき**
「インクがありません」、「ペーパーが詰まりました」、「ペーパーがありません」などのお知らせ表示（📖 171）が本機の画面に出ます。
・ キヤノン製プリンター　（CP-10/CP-100を除く）の場合：お知らせ表示の内容を解決します。印刷が自動で再開されないときは、［続行］を選んで設定ボタンをまっすぐ押してください。［続行］を選択できないときは、［中止］を選んで設定ボタンをまっすぐ押して、印刷をやり直してください。プリンターの使用説明書もあわせてご覧ください。
・ キヤノン製プリンター　CP-10/CP-100の場合：設定ボタンで「中止」または「再開」を選び、設定ボタンをまっすぐ押します。「再開」が表示されない場合は、「中止」を選び、印刷をやり直します。プリンターの使用説明書もあわせてご覧ください。

以上の操作をしても印刷が再開できないときは、次の操作をしてください。
① 接続ケーブルを抜く
② ビデオカメラの電源スイッチを一度「切」にしてから「再生（VTR)」にする
③ 接続ケーブルを接続する

❍ **印刷が終了したら**
① 接続ケーブルをビデオカメラとプリンターから抜く
② ビデオカメラの電源を切る

印刷設定を選ぶ

印刷枚数の設定方法は、すべてのプリンター共通です。
その他の項目の設定方法は、接続しているプリンターによって異なります。接続後、ビデオカメラの画面左上に表示されるマークをご確認のうえ、必要なページをご参照ください。

設定（📖 133）　設定（📖 136）　設定（📖 137）

印刷枚数を選ぶ

印刷枚数は、99枚まで設定できます。

1 印刷設定画面

（印刷枚数）を選ぶ

- 設定ボタンを上／下に押して（印刷枚数）を選び、設定ボタンをまっすぐ押します。

2 **枚数を選ぶ**

- 設定ボタンを上／下に押して、印刷枚数を選び、設定ボタンをまっすぐ押します。

設定 印刷設定の選びかた

ペーパー設定	ペーパーサイズ	プリンターによって異なります
	ペーパータイプ	フォト、高級フォト、標準設定
	レイアウト	フチなし、フチあり、標準設定、8面配置
（日付印刷）		入、切、標準設定
（画像補正-イメージオプティマイズ）		入、切、VIVID、NR、VIVID+NR、標準設定

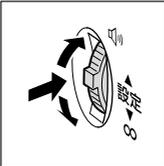
印刷する

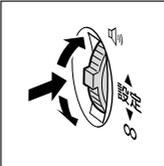
- 設定内容は接続するプリンターによって異なります。詳細については、プリンターの使用説明書をご覧ください。
- 「標準設定」は、お使いのプリンターであらかじめ設定されている内容です。プリンターの使用説明書をご覧ください。
- 「8面配置」は、CPプリンターでカードサイズのペーパーを使用しているときに選択できます。
- 「フチあり」の場合、撮影した静止画とほぼ同じ領域で印刷されます。「フチなし」と「8面配置」の場合、撮影した静止画より若干拡大され、静止画の上下、左右を多少カットして印刷されることがあります。
- CPプリンターCP-200／CP-300は、日付印刷には対応していません。
- CPプリンターの場合は、取り付けたペーパーカセットと同じペーパーサイズを選んでください。
- VIVID、NR、VIVID＋NRは、キヤノン製プリンター PIXUS／SELPHY DSシリーズをお使いの場合に設定できます。

ペーパー設定を選ぶ（ペーパーサイズ、ペーパータイプ、レイアウト）

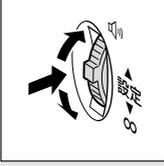
1

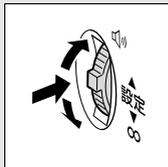
印刷設定画面

「ペーパー設定」を選ぶ

- 設定ボタンを上／下に押して「ペーパー設定」を選び、設定ボタンをまっすぐ押します。

2

ペーパーサイズを選ぶ

- 設定ボタンを上／下に押して使用するペーパーサイズを選び、設定ボタンをまっすぐ押します。

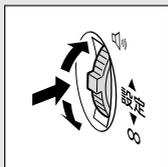
3

ペーパータイプを選ぶ

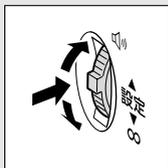
- 設定ボタンを上／下に押して使用するペーパータイプを選び、設定ボタンをまっすぐ押します。

4 レイアウトの設定を選ぶ

- 設定ボタンを上／下に押してレイアウトの設定を選び、設定ボタンをまっすぐ押します。
- 印刷設定画面に戻ります。

日付を印刷する

1 印刷設定画面

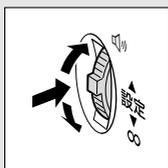
⊙（日付印刷）を選ぶ

- 設定ボタンを上／下に押して「⊙」を選び、設定ボタンをまっすぐ押すと、日付印刷が設定できます。

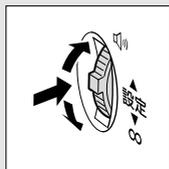
2 日付印刷の設定を選ぶ

- 設定ボタンを上／下に押して日付印刷の設定を選び、設定ボタンをまっすぐ押します。

画像を自動補正する（画像補正）

画像補正機能（イメージオプティマイズ）付きプリンターで、画像補正をして印刷したいときに設定します。

1 印刷設定画面

（画像補正）を選ぶ

- 設定ボタンを上／下に押して「」を選び、設定ボタンをまっすぐ押すと、画像補正が設定できます。

次のページへ

2 画像補正の設定を選ぶ

● 設定ボタンを上／下に押して画像補正の設定を選び、設定ボタンをまっすぐ押します。

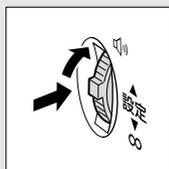
印刷設定の選びかた

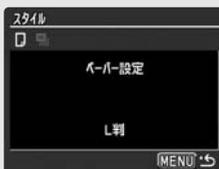
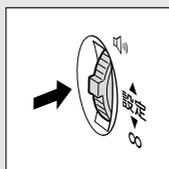
スタイル（ペーパー設定、フチあり／なし）を選ぶ

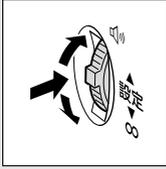
「スタイル」で設定できる内容は、次のとおりです。

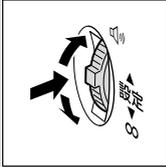
ペーパー設定		ペーパーサイズをL判、2L判、はがき、A4、カードから選ぶ。
フチ	フチなし	ペーパーいっぱいに印刷する。
	フチあり	フチをつけて印刷する。

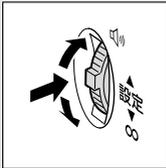
❍ ペーパーについての詳細は、プリンタの使用説明書をご覧ください。
❍ 静止画の画像サイズにより、次のペーパーサイズをおすすめします。
1280×960：　はがきサイズ、カードサイズ、L判サイズ
640×480：　カードサイズ
❍「フチあり」の場合、撮影した静止画とほぼ同じ領域で印刷されます。「フチなし」の場合、撮影した静止画より若干拡大され、静止画の上下、左右を多少カットして印刷されることがあります。

1 印刷設定画面 「スタイル」を選ぶ

● 設定ボタンを上に押して「スタイル」を選び、設定ボタンをまっすぐ押します。

2 「▢」を選ぶ

● 「▢（ペーパー設定）」が選ばれていることを確認して、設定ボタンをまっすぐ押します。

3 ペーパーサイズを選ぶ

- 設定ボタンを上／下に押して使用するペーパーサイズを選び、設定ボタンをまっすぐ押します。
- MENUボタンを押すと、印刷設定画面に戻ります。

4 「 」を選ぶ

- 設定ボタンを上／下に押して、「 （フチ)」を選び、設定ボタンをまっすぐ押します。

5 「フチあり」または「フチなし」を選ぶ

- 設定ボタンを上／下に押して「 (フチあり)」または「 （フチなし)」を選び、設定ボタンをまっすぐ押します。
- MENUボタンを押すと、印刷設定画面に戻ります。

設定 印刷設定の選びかた

スタイル（画面設定、フチあり／なし）を選ぶ

「スタイル」で設定できる内容は、次のとおりです。

画面設定	1画面	ペーパー1枚に静止画を1枚印刷する。
	分割画面	ペーパー1枚に同じ静止画を8枚印刷する。
フチ	フチなし	ペーパーいっぱいに印刷する。
	フチあり	フチをつけて印刷する。

次のページへ

❍「フチあり」の場合、撮影した静止画とほぼ同じ領域で印刷されます。「フチなし」／「分割画面」の場合、撮影した静止画より若干拡大され、静止画の上下、左右を多少カットして印刷されることがあります。
❍「分割画面」はカードサイズのペーパーに印刷するときのみ、設定できます。

1

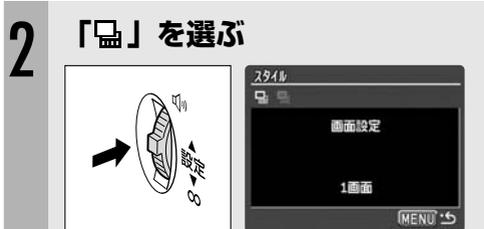
印刷設定画面

「スタイル」を選ぶ

● 設定ボタンを上／下に押して、「スタイル」を選び、設定ボタンをまっすぐ押します。

画面設定を選ぶ

2

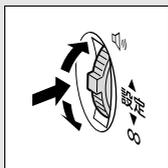
「⊟」を選ぶ

● 「⊟（画面設定）」が選ばれていることを確認して、設定ボタンをまっすぐ押します。

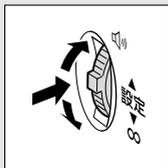
3

画面設定を選ぶ

● 設定ボタンを上／下に押して「□（1画面）」または「▦（分割画面）」を選び、設定ボタンをまっすぐ押します。
● MENUボタンを押すと、印刷設定画面に戻ります。

フチあり／フチなしを選ぶ

2 「▩」を選ぶ

- 設定ボタンを上／下に押して「▩（フチ)」を選び、設定ボタンをまっすぐ押します。

3 「フチあり」または「フチなし」を選ぶ

- 設定ボタンを上／下に押して「▩（フチあり)」または「▩（フチなし)」を選び、設定ボタンをまっすぐ押します。
- MENUボタンを押すと、印刷設定画面に戻ります。

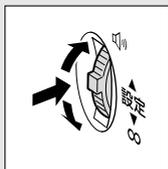
印刷する

印刷する領域を選ぶ（トリミング）

スタイルやペーパー設定などの印刷設定を行った後に、トリミングを設定します。

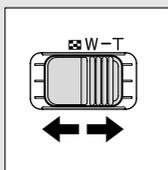
1

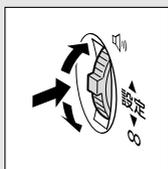
印刷設定画面

「トリミング」を選ぶ

- 設定ボタンを上／下に押して、「トリミング」を選び、設定ボタンをまっすぐ押します。
- トリミング設定画面になります。

2

印刷する範囲を選ぶ

① ズームレバーをW/T側に動かす

- 画面に表示される枠内が、印刷されます。
- ズームレバーをW側に動かすと、枠は大きくなります。T側に動かすと、枠は小さくなります。
- 枠を最大にして、さらにズームレバーをW側に動かすと、枠は消えて、トリミングは解除されます。MENUボタンを押すと、印刷設定画面に戻ります。

② 設定ボタンを押す

- 設定ボタンを上／下に押すと、枠が移動します。設定ボタンをまっすぐ押すと、枠の移動する方向（上下または左右）を切り換えられます。
- MENUボタンを押すと、印刷設定画面に戻ります。

❍ **枠の色について（キヤノンCPシリーズプリンターのみ）**

枠は、3色あります。トリミングするときの目安にしてください。

白：トリミングの設定が行われていません。（初期設定）

緑：推奨する印刷領域です。画像サイズやペーパーサイズ、フチの設定によっては出ないことがあります。

赤：印刷は可能ですが、画像が推奨範囲よりも拡大されるため、画質が劣化します。

❍ トリミングは、1枚の静止画のみに設定できます。

❍ トリミングの設定は、次の操作をすると解除されます。

・ビデオカメラの電源を切る

・接続ケーブルをはずす

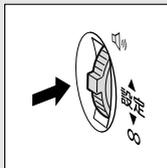
・トリミングの枠を、最大より大きくする

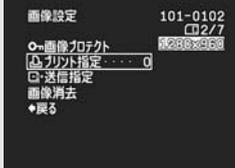
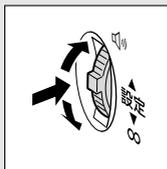
凸プリント指定した静止画を印刷する

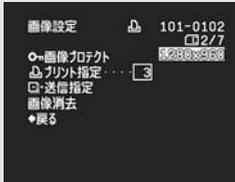
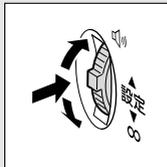
カードに記録した静止画の中から、印刷したい静止画とその枚数を指定できます。本機は印刷フォーマットのDPOF（ディーポフ）（Digital Print Order Format）に対応しています。本機で使用できるプリンター（📖 129）で自動印刷できます。凸プリント指定は、最大200枚の静止画まで設定できます。

①-1　静止画を見ながら凸プリント指定をする

本機にUSBケーブルとDVケーブルを接続せずに、操作をしてください。

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　**カード再生モード**

1　設定ボタンをまっすぐ押す

- 画像設定メニューが出ます。

2　「凸プリント指定」を選ぶ

- 設定ボタンを上／下に押して、「凸プリント指定」を選び、設定ボタンをまっすぐ押します。

3　凸プリント指定をする

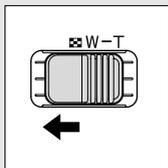
- 設定ボタンを上／下に押して枚数（1枚以上）を選ぶと、「凸」が出ます。
- 設定ボタンをまっすぐ押すと、凸プリント指定されます。
- 「⬅戻る」を選ぶと、メニューが消えて、「凸」は消えますが、凸プリント指定はそのまま記憶されます。

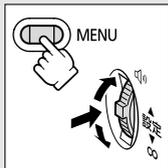
印刷する

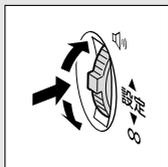
次のページへ

①-2 インデックス画面で🖨プリント指定をする

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　**カード再生モード**

1 ズームレバーをW側に押す

- インデックス画面になります。
- 印刷する静止画を選びます（「インデックス画面で静止画を選ぶ」操作2（📖117））。

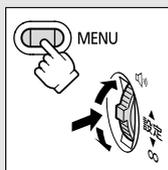
2 「➡🖨 プリント指定」を選ぶ

①MENUボタンを押す
②「カード実行」➤「➡🖨プリント指定」を順に選ぶ
・ 設定ボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。

3 🖨 プリント指定をする

- 設定ボタンをまっすぐ押すと「🖨」が付きます。設定ボタンを上／下に押して、枚数を選びます。
- 設定ボタンをまっすぐ押すと、🖨プリント指定されて次の静止画を選べます。
- MENUボタンを押すと、通常のインデックス画面に戻ります。

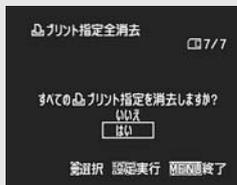
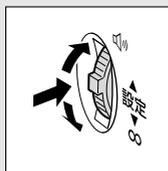
🖨 プリント指定を消去するとき

🖨プリント指定をしている静止画を選びます。①-1または2の操作で枚数「0」を選び、設定ボタンをまっすぐ押すと「🖨」が消えます。

①-3　すべての🖶プリント指定を消去する

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　**カード再生モード**

1 「🖶 プリント指定全消去」を選ぶ

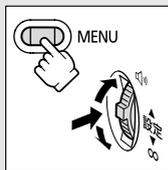
①MENUボタンを押す
②「カード実行」➤「🖶 プリント指定全消去」を順に選ぶ
- ・設定ボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。

2 「はい」を選び、🖶 プリント指定を消去する

- 設定ボタンをまっすぐ押すと、すべての🖶 プリント指定が消去されます。

②　印刷する

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　**カード再生モード**

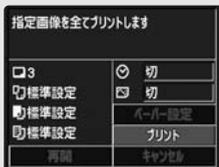
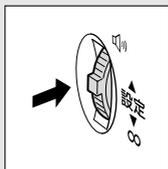
1 本機とプリンターを接続する（📖 129）

2 「➡🖶 プリント」を選ぶ

①MENUボタンを押す
②設定ボタンを上／下に押して「➡🖶 プリント」を選び、設定ボタンをまっすぐ押す
- ・🖶 印刷設定画面が出ます。

- 🖶 プリント指定をしていないときは、「🖶 プリント指定が必要です」が出ます。
- 🖶 プリント指定による全印刷枚数が表示されます。

印刷する

次のページへ

3 「プリント」が選ばれていることを確認して、設定ボタンをまっすぐ押す

● 印刷が始まり、正常に終了すると再生画面に戻ります。

❍ 接続するプリンターによっては、手順3の前に、スタイルやペーパー設定などの印刷設定ができます（📖 134）。

❍ **印刷を中止するとき／印刷中に異常が発生したとき（📖 132）**

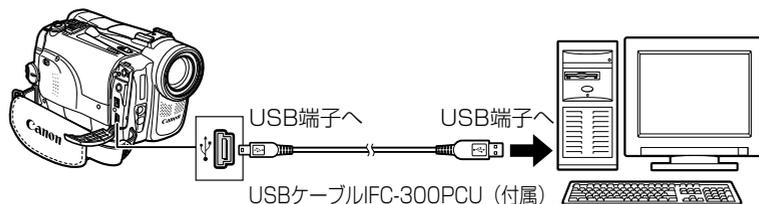
❍ **印刷を再開するとき**

・「カード再生メニュー」を開き、「➡🖨プリント」を選びます。印刷設定画面から「再開」を選び、設定ボタンをまっすぐ押すと、残りの静止画が印刷できます。

・ 次の場合は、印刷は再開できません。
再開する前に、🖨プリント指定を変更した場合
再開する前に、🖨プリント指定をした静止画を削除した場合

カードの画像をパソコンに転送する（USB接続）

付属のUSBケーブルとDigital Video Softwareを使うとカードに記録した画像をパソコンに取り込んだり、印刷したりできます。詳しくはDigital Video Software使用説明書をご覧ください。
Windowsをお使いの場合：（イージーダイレクト）ボタンを押すだけで、簡単に画像をパソコンに転送できます。

接続のしかた

❍ カードの画像を読み出したり、カードへ書き込みしている（ビデオカメラのカード動作ランプが点滅している）ときは、次のことを必ず守ってください。カードのデータを破壊することがあります。
・カードカバーを開けたり、カードを出したりしない。
・USBケーブルを絶対に抜かない。
・ビデオカメラやパソコンの電源を切らない。
・テープ/カード切換スイッチを切り換えない。

❍ 使用するソフトウェア、パソコンの仕様／設定などによっては、正しく動作しないことがあります。

❍ カード内およびカードからハードディスクに読み込んで保存した画像は、大切なオリジナルのデータファイルです。画像のファイルをパソコンで操作するときは、まず始めに、必ずファイルをコピーし、コピーした画像を使用してください。

❍ パソコンとDVケーブルで接続しているときは、USB接続する前にDVケーブルを抜いてください。パソコンが正しく動作しないことがあります。

❍ コンパクトパワーアダプターを使って、家庭用コンセントから電源をとることをおすすめします。

❍ パソコンの使用説明書もあわせてご覧ください。

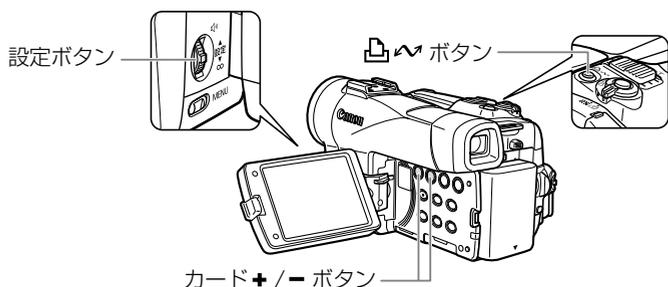
❍ テープに記録した映像は、USB接続でパソコンに取り込めません。

❍ Windows XPとMac OS Xをお使いの場合
本機はPTP（Picture Transfer Protcol（ピクチャー トランスファー プロトコル））に対応していますので、ビデオカメラとパソコンをUSBケーブルで接続するだけで、付属のDIGITAL VIDEO SOLUTION DISKのソフトウェアをインストールしなくても、静止画（JPEGのみ）をパソコンに取り込めます。

画像転送する

画像をパソコンに転送する（Windowsのみ対応）（ダイレクト転送）

（イージーダイレクト）ボタンを押すだけで、カードに記録した画像を簡単にパソコンに転送できます。

全画像…	カードに記録したすべての画像を転送する
未転送画像…	まだ転送していない画像を転送する
送信指定画像…	送信設定した画像を転送する
画像を選んで転送…	画像を選んで転送する
パソコンの背景…	パソコンのデスクトップの背景にする画像を転送する

準備する

初めてビデオカメラをパソコンに接続するときには、ソフトウェアのインストールと自動起動の設定が必要です。

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　**カード再生モード**

1 パソコンにDigital Video Softwareをインストールする

- 詳しくはDigital Video Software使用説明書の「Digital Video Softwareをインストールする」をご覧ください。

2 カード再生モードにする

3 付属のUSBケーブルを、パソコンとビデオカメラのUSB端子に接続する

- 詳しくはDigital Video Software使用説明書の「ビデオカメラをパソコンに接続する」をご覧ください。

4 自動起動を設定する

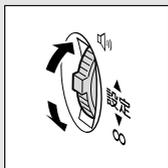
- 詳しくはDigital Video Software使用説明書の「CameraWindowを起動する」をご覧ください。
- ビデオカメラの画面に、ダイレクト転送メニューが出て、（イージーダイレクト）ボタンが点灯します。

2度目からは、ビデオカメラをパソコンに接続するだけで、準備は完了です。

全画像、未転送画像、送信指定画像を転送する

送信指定画像を転送するときはあらかじめ、送信指定しておきます（📖 150)。

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　**カード再生モード**

1 **「全画像」、「未転送画像」または「送信指定画像」を選ぶ**

- 設定ボタンを上／下に押して選択枠を合わせます。

2 **（イージーダイレクト）ボタンを押す**

- カードに記録した画像がパソコンに転送され、ZoomBrowserEXのメインウィンドウに表示されます。
- 転送が終わると、ダイレクト転送メニュー画面に戻ります。
- 転送を中止するときは、設定ボタン（キャンセル）をまっすぐ押すか、MENUボタンを押します。

画像を選んで転送する

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　**カード再生モード**

1 **「画像を選んで転送」を選ぶ**

- 設定ボタンを上／下に押して選択枠を合わせます。

次のページへ

2 ボタンを押す

3 カード+／－ボタンを押す

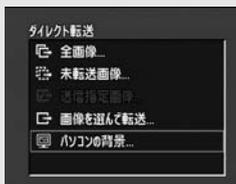
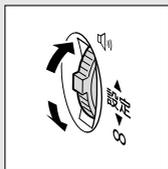
- 転送する画像を選びます。

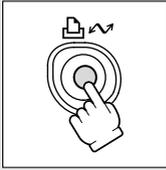
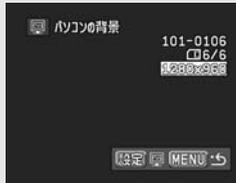
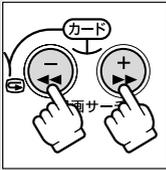
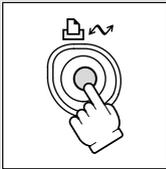
4 ボタンを押す

- 画面に出ている画像がパソコンに転送され、ZoomBrowserEXのメインウィンドウに表示されます。
- 転送中は ボタンが点滅します。
- 次に転送する画像をカード＋／－ボタンで選べます。
- MENUボタンを押すと、ダイレクト転送メニュー画面に戻ります。

パソコンのデスクトップの背景にする静止画を転送する

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　**カード再生モード**

1 「パソコンの背景」を選ぶ

- 設定ボタンを上／下に押して選択枠を合わせます。

2 ボタンを押す

3 カード+／−ボタンを押す

● 転送する画像を選びます。

4 ボタンを押す

● 画面に出ている画像がパソコンに転送され、パソコンのデスクトップに表示されます。
● 転送中は ボタンが点滅します。
● MENUボタンを押すと、ダイレクト転送メニュー画面に戻ります。

❍ ボタンの代わりに、設定ボタンをまっすぐ押しても、画像を転送できます。
「全画像」、「未転送画像」、「送信指定画像」を選んで、設定ボタンを押すと、確認画面が出ます。設定ボタンで「OK」を選び、設定ボタンをまっすぐ押します。

❍ 転送できる画像は、JPEG圧縮で記録した静止画とMotion JPEG圧縮で記録した動画です。

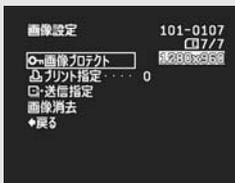
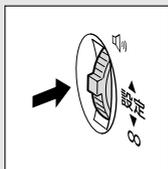
❍ ボタンを使ってダイレクト転送メニューで選んだ項目は、電源スイッチや撮影モード切換スイッチを切り換えても憶えています。
「画像を選んで転送」または「パソコンの背景」を選んでいた場合は、接続すると画像を選ぶ画面になります（MENUボタンを押すと、ダイレクト転送メニューを表示できます）。

❍ SDメモリーカードの誤消去防止ツマミが「LOCK」になっていると、画像を転送しても、転送済み画像になりません。

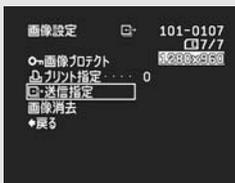
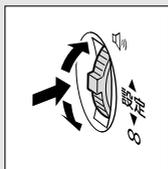
転送する画像を送信指定する

カードに記録した画像の中から、パソコンに転送する画像を指定できます。本機はDPOF（ディーポフ）（Digital Print Order Format）の機能の1つである送信指定に対応しています。
送信指定は、最大200枚の画像まで設定できます。
本機にUSBケーブルとDVケーブルを接続せずに、操作をしてください。

①-1　画像を見ながら送信指定する

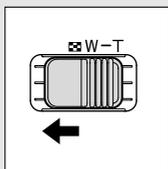
カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　**カード再生モード**

1 設定ボタンをまっすぐ押す

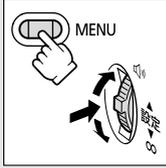
- 画像設定メニューが出ます。

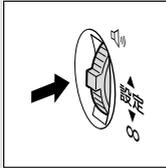
2 送信指定する

- 設定ボタンを上／下に押して、「送信指定」を選び、設定ボタンをまっすぐ押すと、送信指定されます。
- 「←戻る」を選ぶと、メニューが消えて、「 」は消えますが、送信指定はそのまま記憶されます。

①-2　インデックス画面で送信指定する

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　**カード再生モード**

1 ズームレバーをW側に押す

- インデックス画面になります。
- 送信指定する画像を選びます（「インデックス画面で画像を選ぶ」操作2（📖117））。

2 「➡ 送信指定」を選ぶ

①MENUボタンを押す
②「カード実行」➤「➡ 送信指定」を順に選ぶ
・ 設定ボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。

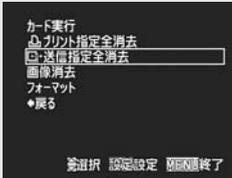
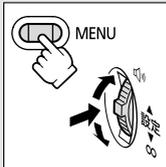
3 送信指定する

● 設定ボタンをまっすぐ押すと送信指定されます。
・ 設定ボタンを上／下に押すと、他の画像を選べます。
● MENUボタンを押すと、通常のインデックス画面に戻ります。

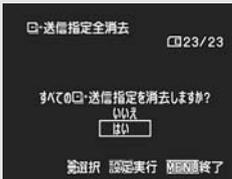
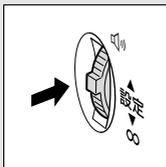
送信指定を消去するとき

送信指定をしている画像を選びます。①-1または2の操作で設定をボタンをまっすぐ押すと「」が消えます。

①-3 すべての送信指定を消去する

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　**カード再生モード**

1 「 送信指定全消去」を選ぶ

①MENUボタンを押す
②「カード実行」➤「 送信指定全消去」を順に選ぶ
・ 設定ボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。

2 「はい」を選び、 送信指定を消去する

● 設定ボタンをまっすぐ押すと、すべての 送信指定が消去されます。

画像転送する

メニュー一覧

メニュー一覧の設定内容について、ご購入時には太文字の内容に設定されています。

カメラメニュー（電源スイッチ：カメラ、テープ/カード切換スイッチ：📼）

サブメニュー項目	設定内容	意味	📖
D.エフェクト設定			
➡カードミックス	ミックスタイプ	カードミックスの種類を選ぶ。 **カード クロマキー**、カード ルミキー、カメラクロマキー、カード アニメーション	125
	アニメーションタイプ	カードアニメーションの種類を選ぶ。 **コーナー**、ストレート、ランダム	125
	ミックスレベル	ミックスレベルを調整する。	125
D.エフェクト選択	**OFF**	デジタルエフェクトを選ぶ。	64
	フェーダー		
	エフェクト		
	マルチ画面		
フェーダー選択		フェーダーの種類を選ぶ。 **オートフェード**、ワイプ、コーナーワイプ、ジャンプ、フリップ、パズル、ジグザグ、ビーム、タイド	66
エフェクト選択		エフェクトの種類を選ぶ。 **アート**、シロクロ、セピア、モザイク、ボール、キューブ、ウェーブ、カラーマスク、ミラー	68
マルチ画面スピード	マニュアル	静止画にして取り込むスピードを選ぶ。	70
	はやい		
	ふつう		
	おそい		
マルチ画面数	**4**	分割する画面数を選ぶ。	70
	9		
	16		
カメラ設定			
シャッター	**オート**	シャッタースピードを自動で調整する。	57
	オート以外	シャッタースピードを手動で設定する。	
オートスローシャッター	**入**	1/30秒までのスローシャッターを使う。	58
	切	スローシャッターを使わない。	
デジタルズーム	**切**	デジタルズームの設定を選ぶ。	35
	80×		
	400×		

サブメニュー項目	設定内容	意味	📖
カメラ設定			
手ぶれ補正(✋)	**入**	手ぶれを補正する。 ・ズームの望遠側で撮るときなど、手ぶれの少ない安定した画面で撮影できます。 ・手ぶれが大きすぎると、補正しきれないことがあります。 ・暗いところで、ナイトモードで撮影すると、手ぶれ補正が効きにくくなります。 ・□かんたんモードのときは、手ぶれ補正は解除できません。	–
	切	手ぶれ補正を解除する。 ・三脚などを使用して撮影するときやビデオカメラを左右に動かして撮影するときは、手ぶれ補正を切ることもできます（📖 45)。	
ホワイトバランス	**オート**	色合いを自動で調整する。	55
	オート以外	色合いの調整を撮影する状況に合わせて設定する。	
AF補助光	**オート**	AF補助光（ミニビデオライト）を周囲の明るさに合わせて自動的に点灯させる。	105
	切	AF補助光を使わない。	
セルフタイマー	入 ⏲	セルフタイマーを使う。	60
	切	セルフタイマーを使わない。	
ナイトモード	ナイト	暗いところで明るく撮影できる。ナイト+では、ミニビデオライトは常時点灯し、スーパーナイトでは周囲の明るさによって自動的に点灯する。	48
	ナイト+		
	スーパーナイト		
美肌	入	美肌モードを使う。	50
	切	美肌モードを使わない。	
静止画記録	**切**	PHOTOボタンを押したときに静止画をカードに記録しない。	99
	ファイン	PHOTOボタンを押したときに静止画を高画質でカードに記録する。	
	ノーマル	PHOTOボタンを押したときに静止画を標準画質でカードに記録する。	
VTR設定			
録画モード	**SP**	SP（標準）モードで録画する。	61
	LP	LP（標準の1.5倍の録画時間）モードで録画する。	
AV/ヘッドホン🎧	**AV**	映像/音声端子を使って、映像と音声を出力する。	41
	ヘッドホン🎧	ヘッドホンを使う。	40
オーディオ設定			
ウィンドカット	**オート**	内蔵マイクを使用時に風の音などがあると検出して、風の影響を自動的に低減する。	62
	切	ウィンドカット機能を使わない。	

サブメニュー項目	設定内容	意味	📖
オーディオ設定			
オーディオモード	16bit	ステレオ音声が高音質で記録できる。（アフレコできない）	–
	12bit	アフレコできるように音声を記録する。	
🎧音量		ヘッドホンの音量を調整する。	40
表示設定/💬			
液晶明るさ調整		液晶画面の明るさを調整する。設定ボタンを上／下に押す。 ・液晶画面上の画像が暗すぎたり、明るすぎたりしたときに調整します。 ・画面の明るさの調整では、テープやカードに記録される映像の明るさは変わりません。また、ファインダーの明るさは変わりません。	–
液晶対面ミラー	**入**	対面撮影するときに、液晶画面に映る映像が左右逆になり、鏡を見ているような映像になる。（ファインダーには、通常の表示が出ます）。	–
	切	ビデオカメラが撮っているそのままの画面になり、画面上の文字などを読むことができる。	
オンスクリーン	**入**	画面の情報を本機に接続したテレビ画面に表示する。 ・モニターテレビで情報を確認するときに使います。 ・リモコンのオンスクリーンボタンを押しても操作できます。	–
	切	画面の情報を本機に接続したテレビ画面に表示しない。	
日時表示	入	撮影中に日時を表示する。	28
	切	撮影中に日時を表示しない。	
言語💬		画面に表示する言語を選ぶ。 DEUTSCH（ドイツ語）、ENGLISH（英語）、ESPAÑOL（スペイン語）、FRANÇAIS（フランス語）、ITALIANO（イタリア語）、РУССКИЙ（ロシア語）、简体中文（簡体中国語）、**日本語** ・画面下の設定とMENUは変更しません。	–
日時スタイル		日時の表示（印刷時を含む）のしかたを選ぶ。 例）**2005. 1. 1 AM12:00**、 1.JAN. 2005 12:00 AM、 JAN. 1,2005 12:00 AM	–

サブメニュー項目	設定内容	意味	
表示設定/			
デモモード	**入**	デモンストレーション（機能紹介）を行う。 ・カセットとカードを入れずに「入」に設定してメニューを閉じたとき、またはカセットとカードが入っていない状態で電源スイッチを「カメラ」にして5分が過ぎると、自動的に機能紹介が始まります。 ・デモモードを終了するには、いずれかの操作ボタンを押す／電源を切る／カセットまたはカードを入れます。	–
	切	デモンストレーションを行わない。	
システム設定			
リモコンセンサー	**入**	リモコンを使う。	–
	切	リモコンの信号を受け付けない。	
おしらせ音	**入**	電源を入れたとき、スタート/ストップボタンを押したとき、セルフタイマーで撮影するとき、結露などの警告を知らせるとき、などに音が鳴る。	–
	切	おしらせ音をすべて鳴らないようにする。	
エリア／サマータイム		世界時計のエリアを設定する。	26
日時設定		日時を設定する。	27
マイカメラ設定			
起動音	切、**初期設定**、ユーザー設定	起動音を選ぶ。	80
シャッター音		シャッター音を選ぶ。	
操作音		操作音を選ぶ。	
セルフタイマー音		セルフタイマー音を選ぶ。	

VTRメニュー（電源スイッチ：再生（VTR）、テープ/カード切換スイッチ：）

サブメニュー項目	設定内容	意味	
D.エフェクト設定			
D.エフェクト選択	**OFF**	デジタルエフェクトを選ぶ。	64
	フェーダー		
	エフェクト		
	マルチ画面		
フェーダー選択		フェーダーの種類を選ぶ。 **オートフェード**、ワイプ、コーナーワイプ、ジャンプ、フリップ、パズル、ジグザグ、ビーム、タイド	66
エフェクト選択		エフェクトの種類を選ぶ。 **アート**、シロクロ、セピア、モザイク、ボール、キューブ、ウェーブ、カラーマスク、ミラー	68
マルチ画面スピード	マニュアル	静止画にして取り込むスピードを選ぶ。	70
	はやい		
	ふつう		
	おそい		
マルチ画面数	**4**	分割する画面数を選ぶ。	70
	9		
	16		
VTR設定			
録画モード	**SP**	SP(標準）モードで録画する。	61
	LP	LP(標準の1.5倍の録画時間）モードで録画する。	
AV/ヘッドホン🎧	**AV**	映像/音声端子を使って、映像と音声を入出力する。	41
	ヘッドホン🎧	ヘッドホンを使う。	40
AV→DV	入	アナログ入力した映像と音声を、デジタル変換してDV端子から出力する。	87
	切	アナログ入力した映像と音声を、デジタル変換しない。	
オーディオ設定			
バイリンガル	**メイン＋サブ**	ステレオ音声または主＋副音声を再生する。	–
	メイン	左音声または主音声を再生する。	
	サブ	右音声または副音声を再生する。	
アフレコ入力	**音声入力**	オーディオ機器を使ってアフレコする。	89
	マイク入力	内蔵／外部マイクを使ってアフレコする。	
ウィンドカット	**オート**	内蔵マイクを使用時に風の音などがあると検出して、風の影響を自動的に低減する。	62
	切	ウィンドカット機能を使わない。	
オーディオモード	16bit	ステレオ音声が高音質で記録できる（アフレコできない）。	–
	12bit	アフレコできるように音声を録音する。	

VTRメニュー（電源スイッチ：再生（VTR）、テープ/カード切換スイッチ：[テープ]）

サブメニュー項目	設定内容	意味	📖
オーディオ設定			
12bit音声出力	**ステレオ1**	撮影時の音声とアフレコした音声の再生のしかたを選ぶ。	92
	ステレオ2		
	ミックス/1：1		
	ミックス/バリアブル		
ミックスバランス		「12bit音声出力」で「ミックス/バリアブル」を選んだとき、ステレオ1とステレオ2のバランスを調整する。	92
カード設定			
静止画像画質	スーパーファイン	カードに最高画質で記録する。	95
	ファイン	カードに高画質で記録する。	
	ノーマル	カードに標準画質で記録する。	
動画画像サイズ	**320×240**	カードに記録する動画の画像サイズを選ぶ。	96
	160×120		
番号リセット	する	画像番号をリセットする。	97
	しない	画像番号をリセットしない。	
表示設定/[表示]			
液晶明るさ調整		液晶画面の明るさを調整する。設定ボタンを上／下に押す。 ・液晶画面上の画像が暗すぎたり、明るすぎたりしたときに使います。 ・画面の明るさの調整では、テレビで再生する、またはテープに記録される映像の明るさは変わりません。また、ファインダーの明るさは変わりません。	–
オンスクリーン	入	画面の情報を本機に接続したテレビ画面に表示する。 ・モニターテレビで情報を確認するときに使います。 ・リモコンのオンスクリーンボタンを押しても操作できます。	–
	切	画面の情報を本機に接続したテレビ画面に表示しない。	

その他

メニュー一覧　VTRメニューーつづき

サブメニュー項目	設定内容	意味	
表示設定/			
再生時文字表示	**入**	再生時に液晶画面に文字表示が出る。	–
	切	液晶画面での再生時にデータコード以外の画面の文字を消す。 ・再生ズーム中とデジタルエフェクト実行中は、表示します。 ・操作中は表示が出て、操作が終わると2秒後に消えます。 液晶画面のデータコード以外の文字を消すと、一部の警告文をのぞき、接続しているテレビの画面上の文字も消えます。	
日付オート表示	入	テープの再生を始めたとき、または再生中に日付／エリアが変わったときに約6秒間日付を表示する。 ・「再生時文字表示」が「切」になっていても、日付は約6秒間表示します。	–
	切	(約6秒間の)日付表示をしない。	
データコード	**日時**	データコードボタンを押すと、日時のみ表示する。	75
	カメラデータ	カメラデータを表示する。	
	日時＆カメラデータ	日時とカメラデータを表示する。	
日時選択	日付	「データコード」で「日時」と「日時＆カメラデータ」を選択したとき、日付を表示する。	75
	時刻	「データコード」で「日時」と「日時＆カメラデータ」を選択したとき、時刻を表示する。	
	日付＆時刻	「データコード」で「日時」と「日時＆カメラデータ」を選択したとき、日付と時刻を表示する。	
言語		画面に表示する言語を選ぶ。 DEUTSCH（ドイツ語）、ENGLISH（英語）、ESPAÑOL（スペイン語）、FRANÇAIS（フランス語）、ITALIANO（イタリア語）、РУССКИЙ（ロシア語）、简体中文（簡体中国語）、**日本語** ・画面下の設定とMENUは変更しません。	–
日時スタイル		日時の表示（印刷時を含む）のしかたを選ぶ。 例）**2005. 1. 1 AM12:00**、 1.JAN. 2005 12:00 AM、 JAN. 1,2005 12:00 AM	–
システム設定			
リモコンセンサー	**入**	リモコンを使う。	–
	切	リモコンの信号を受け付けない。	

サブメニュー項目	設定内容	意味	
システム設定			
おしらせ音	**入**	電源を入れたとき、スタート/ストップボタンを押したとき、セルフタイマーで撮影するとき、カードカメラモードで静止画を撮影するときのシャッター音、結露などの警告を知らせるとき、などに音が鳴る。	–
	切	おしらせ音をすべて鳴らないようにする。	
エリア/サマータイム		世界時計のエリアを設定する。	26
日時設定		日時を設定する。	27
マイカメラ設定			
起動音	切、**初期設定**、ユーザー設定	起動音を選ぶ。	80
シャッター音		シャッター音を選ぶ。	
操作音		操作音を選ぶ。	
セルフタイマー音		セルフタイマー音を選ぶ。	

カードカメラメニュー（電源スイッチ：カメラ、テープ/カード切換スイッチ：）

サブメニュー項目	設定内容	意味	
D.エフェクト設定			
エフェクト	**OFF**	シロクロを使わない。	69
	シロクロ	シロクロを使う。	
カメラ設定			
シャッター	**オート**	シャッタースピードを自動で調整する。	57
	オート以外	シャッタースピードを手動で設定する。	
オートスローシャッター	**入**	1/15秒までのスローシャッターを使う。	58
	切	スローシャッターを使わない。	
デジタルズーム	**切**	デジタルズームの設定を選ぶ。	35
	80×		
ホワイトバランス	**オート**	色合いを自動で調整する。	55
	オート以外	色合いの調整を撮影する状況に合わせて設定する。	
AF補助光	**オート**	AF補助光（ミニビデオライト）を周囲の明るさに合わせて自動的に点灯させる。	105
	切	AF補助光を使わない。	
フォーカス優先	**入**	フォーカス優先にする。	111
	切	フォーカス優先にしない。	
セルフタイマー	入	セルフタイマーを使う。	60
	切	セルフタイマーを使わない。	
ND	**オート**	NDフィルターを自動で入れる。 ・NDフィルターは、レンズに入る光量を減らします。	−
	切	NDフィルターを入れない。	
ナイトモード	ナイト	暗いところで明るく撮影できる。ナイト＋では、ミニビデオライトは常時点灯し、スーパーナイトでは周囲の明るさによって自動的に点灯する。	48
	ナイト＋		
	スーパーナイト		
美肌	入	美肌モードを使う。	50
	切	美肌モードを使わない。	
静止画確認時間	切、**2秒**、4秒、6秒、8秒、10秒	カードに記録した静止画を、記録後に確認できる時間を選ぶ。	106
カード設定			
静止画像画質	スーパーファイン	カードに最高画質で記録する。	95
	ファイン	カードに高画質で記録する。	
	ノーマル	カードに標準画質で記録する。	
静止画像サイズ	**1280×960**	カードに記録する静止画の画像サイズを選ぶ。	96
	640×480		
動画画像サイズ	**320×240**	カードに記録する動画の画像サイズを選ぶ。	96
	160×120		
番号リセット	する	画像番号をリセットする。	97
	しない	画像番号をリセットしない。	

サブメニュー項目	設定内容	意味	📖
VTR設定			
AV/ヘッドホン🎧	**AV**	映像/音声端子を使って、映像と音声を出力する。	41
	ヘッドホン🎧	ヘッドホンを使う。	40
オーディオ設定			
ウィンドカット	**オート**	内蔵マイクを使用時に風の音などがあると検出して、風の影響を自動的に低減する。	62
	切	ウィンドカット機能を使わない。	
🎧音量		ヘッドホンの音量を調整する。	40
表示設定/💬			
液晶明るさ調整		液晶画面の明るさを調整する。設定ボタンを上／下に押す。 ・液晶画面上の画像が暗すぎたり、明るすぎたりしたときに調整します。 ・画面の明るさの調整では、カードに記録される画像の明るさは変わりません。また、ファインダーの明るさは変わりません。	–
液晶対面ミラー	**入**	対面撮影するときに、液晶画面に映る映像が左右逆になり、鏡を見ているような映像になる。 ・液晶画面には、カードの動作表示、セルフタイマー以外の表示は出ません(ファインダーには、通常の表示が出ます。)	–
	切	ビデオカメラが撮っているそのままの画面になり、画面上の文字などを読むことができる。	
オンスクリーン	**入**	画面の情報を本機に接続したテレビ画面に表示する。 ・モニターテレビで情報を確認するときに使います。 ・リモコンのオンスクリーンボタンを押しても操作できます。	–
	切	画面の情報を本機に接続したテレビ画面に表示しない。	
日時表示	入	撮影中に日時を表示する。	28
	切	撮影中に日時を表示しない。	
言語💬		画面に表示する言語を選ぶ。 DEUTSCH（ドイツ語）、ENGLISH（英語）、ESPAÑOL（スペイン語）、FRANÇAIS（フランス語）、ITALIANO（イタリア語）、PУCCKИЙ(ロシア語)、简体中文（簡体中国語）、**日本語** ・画面下の設定とMENUは変更しません。	–
日時スタイル		日時の表示（印刷時を含む）のしかたを選ぶ。 例）**2005. 1. 1 AM12:00**、 1.JAN. 2005 12:00 AM、 JAN. 1,2005 12:00 AM	–

その他

サブメニュー項目	設定内容	意味	📖
表示設定/			
デモモード	**入**	デモンストレーション（機能紹介）を行う。 ・カセットとカードを入れずに「入」に設定してメニューを閉じたとき、またはカセットとカードが入っていない状態で電源スイッチを「カメラ」にして5分が過ぎると、自動的に機能紹介が始まります。 ・デモモードを終了するには、いずれかの操作ボタンを押す／電源を切る／カセットまたはカードを入れます。	–
	切	デモンストレーションを行わない。	
システム設定			
リモコンセンサー	**入**	リモコンを使う。	–
	切	リモコンの信号を受け付けない。	
おしらせ音	**入**	電源を入れたとき、スタート/ストップボタンを押したとき、セルフタイマーで撮影するとき、カードカメラモードで静止画を撮影するときのシャッター音、結露などの警告を知らせるとき、などに音が鳴る。	–
	切	おしらせ音をすべて鳴らないようにする。	
エリア/サマータイム		世界時計のエリアを設定する。	26
日時設定		日時を設定する。	27
マイカメラ設定			
起動音	切、**初期設定**、ユーザー設定	起動音を選ぶ。	80
シャッター音		シャッター音を選ぶ。	
操作音		操作音を選ぶ。	
セルフタイマー音		セルフタイマー音を選ぶ。	

カード再生メニュー(電源スイッチ:再生(VTR)、テープ/カード切換スイッチ:□)

サブメニュー項目	設定内容	意味	📖
カード実行(画像を1枚表示しているとき)			
プリント指定全消去	**いいえ**	プリント指定の消去を行わない。	143
	はい	プリント指定をすべて消去する。	
送信指定全消去	**いいえ**	送信指定の消去を行わない。	151
	はい	送信指定をすべて消去する。	
画像消去	**キャンセル**	画像の消去を行わない。	121
	一枚消去	1枚の画像を消去する。	
	全消去	カードにあるすべての画像を消去する(プロテクト設定したものを除く)。	
フォーマット	**キャンセル**	カードをフォーマット(初期化)しない。	127
	実行	カードをフォーマット(初期化)する。	
カード実行(インデックス画面を表示しているとき)			
➡ 画像プロテクト		画像プロテクト設定画面へ	119
➡ プリント指定		プリント指定設定画面へ	141
➡ 送信指定		送信指定設定画面へ	150
VTR設定			
AV/ヘッドホン	**AV**	映像/音声端子を使って、映像と音声を出力する。	41
	ヘッドホン	ヘッドホンを使う。	40
表示設定/			
液晶明るさ調整		液晶画面の明るさを調整する。設定ボタンを上/下に押す。 ・液晶画面上の画像が暗すぎたり、明るすぎたりしたときに調整します。 ・画面の明るさの調整では、カードに記録されている画像の明るさは変わりません。また、ファインダーの明るさは変わりません。	–
オンスクリーン	入	画面の情報を本機に接続したテレビ画面に表示する。 ・モニターテレビで情報を確認するときに使います。 ・リモコンのオンスクリーンボタンを押しても操作できます。	–
	切	画面の情報を本機に接続したテレビ画面に表示しない。	

サブメニュー項目	設定内容	意味	📖
表示設定/			
再生時文字表示	**入**	再生時に液晶画面に文字表示が出る。	–
	切	液晶画面で再生時にデータコード以外の画面の文字を消す。 ・再生ズーム中は、表示します。 ・操作中は表示が出て、操作が終わると2秒後に消えます。ただし、インデックス画面のときは、表示は消えません。 液晶画面のデータコード以外の文字を消すと、一部の警告文をのぞき、接続しているテレビの画面上の文字も消えます。	
日時選択	日付	日付を表示する。	75
	時刻	時刻を表示する。	
	日付＆時刻	日付と時刻を表示する。	
言語		画面に表示する言語を選ぶ。 DEUTSCH（ドイツ語）、ENGLISH（英語）、ESPAÑOL（スペイン語）、FRANÇAIS（フランス語）、ITALIANO（イタリア語）、РУССКИЙ（ロシア語）、简体中文（簡体中国語）、**日本語** ・画面下の設定とMENUは変更しません。	–
日時スタイル		日時の表示（印刷時を含む）のしかたを選ぶ。 例）**2005. 1. 1 AM12:00**、 1.JAN. 2005 12:00 AM、 JAN. 1,2005 12:00 AM	–
システム設定			
リモコンセンサー	**入**	リモコンを使う。	–
	切	リモコンの信号を受け付けない。	
おしらせ音	**入**	電源を入れたとき、スタート/ストップボタンを押したとき、セルフタイマーで撮るとき、カードカメラモードで静止画を撮るときのシャッター音、結露などの警告を知らせるとき、などに音が鳴る。	–
	切	「入」で設定する音をすべて鳴らないようにする。	
エリア／サマータイム		世界時計のエリアを設定する。	26
日時設定		日時を設定する。	27

サブメニュー項目	設定内容	意味	
マイカメラ設定			
起動画面作成		「起動画面選択」の「ユーザー設定」に起動画面を登録する。	128
起動画面選択	切、**CANON　ロゴ**、ユーザー設定	起動画面を選ぶ。	80
起動音	切、**初期設定**、ユーザー設定	起動音を選ぶ。	
シャッター音		シャッター音を選ぶ。	
操作音		操作音を選ぶ。	
セルフタイマー音		セルフタイマー音を選ぶ。	
➡ プリント			
別売のダイレクトプリント対応プリンターを接続したときに出ます。			143

その他

ネットワークモードについて(DV Messenger Version2)

Windows XP専用のDV Network Software（DV Messenger）を使うと、インターネット経由でパソコンからビデオカメラを操作できます。ビデオカメラを使ってテレビ電話をしたり、リモート留守番機能を使って、外出先からビデオカメラで自宅の映像を確認できます。
下記のアドレスのホームページから、DV MessengerとDV Network Software使用説明書をダウンロードしてください。
http://cweb.canon.jp/dv/dvmessenger/index-j.html
詳しくは、DV Network Software使用説明書をご覧ください。

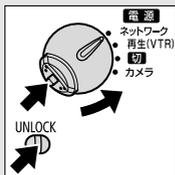
DV Messengerの準備

DV Messengerは、DV（IEEE1394）端子で使用できます。

1 パソコンを起動する

2 DV Messengerをインストールする

3 本機にコンパクトパワーアダプターを接続する

4 UNLOCKボタンを押しながら、電源スイッチを「ネットワーク」にする

5 DVケーブルで、本機とパソコンを接続する

ネットワークモード

- 本機の画面に「ネットワークモード」が表示されます。

6 DV Messengerを起動する

❍ 本機とパソコンをDVケーブル接続するときは、USB端子になにも接続しないでください。また、パソコンに他のIEEE1394機器を接続しないでください。正しく動作しないことがあります。

❍ ネットワークモードでは、ビデオカメラをパソコンから操作しますので、一部の機能を除き、ビデオカメラ本体では操作できません。
ビデオカメラ本体で操作できる機能は、以下のとおりです。
DV Messengerでカメラ操作用パネルを表示している場合：
・ ズーム
・ ピント合わせ（DV Messengerで手動ピント合わせを設定しているとき）
DV MessengerでVTR操作用パネルを表示している場合：
・ 内蔵スピーカーの音量調整
以下の機能は、動作しません。
・ 手ぶれ補正
・ デジタルズーム
・ フラッシュ

❍ リモコンでの操作はできません。

画面表示について

は点滅表示を示しています。

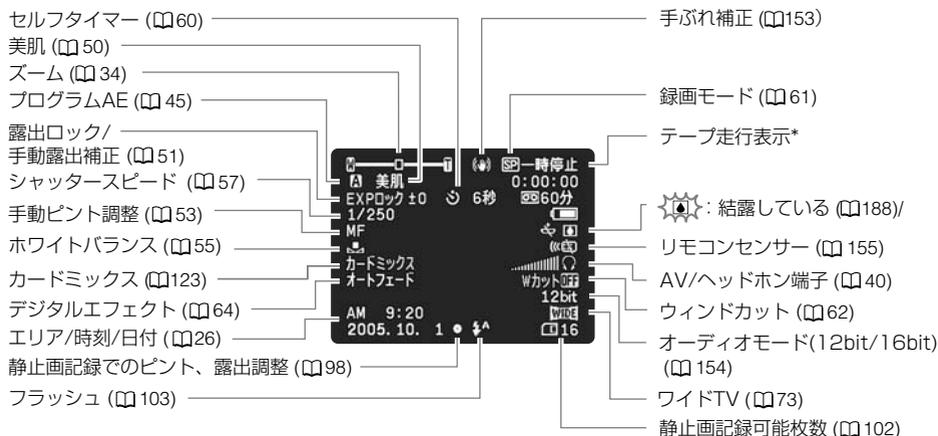
カメラモード

（32ページもご覧ください）

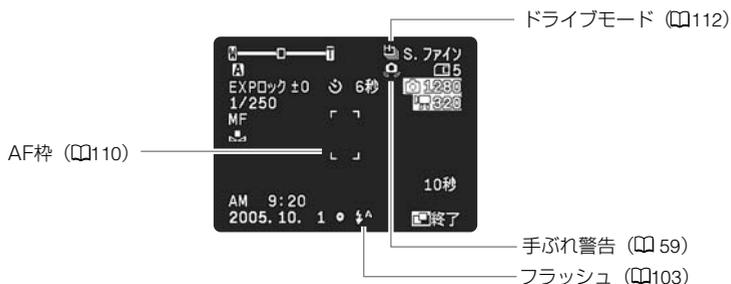
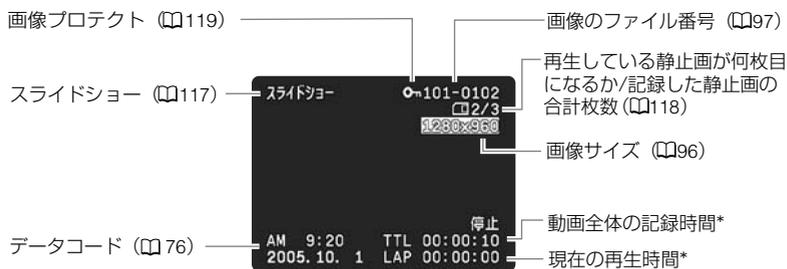
再生（VTR）モード

＊テープ走行表示

録画
一時停止
停止
取出し
再生
早送り▶▶
◀◀巻戻し

▶▶／◀◀ ：早送り再生／巻戻し再生 (📖38)
×2▶／◀×2 ：2倍速再生 (📖38)
×1▶／◀×1 ：1倍速再生 (📖38)
▮▸／◂▮ ：1/3倍速再生 (📖38)
Ⅱ▶／◀Ⅱ ：コマ送り再生 (📖38)
▶Ⅱ／Ⅱ◀ ：再生一時停止 (📖38)
▶▶▏／▕◀◀ ：日付サーチ (📖79)
リターン▶▶／◀◀リターン ：ゼロセットメモリー早送り／巻戻し (📖78)
●／●Ⅱ ：アフレコ音声記録／記録一時停止 (📖89)

カードカメラモード （102ページもご覧ください）

カード再生モード

その他

お知らせ表示(約4秒間表示されます)

エリア／日時を設定してください	世界時計のエリアまたは日時を設定していません。世界時計のエリアと日時を設定してください（📖 26)。
バッテリーパックを取り替えてください	バッテリーパックが消耗しています。十分に充電されたバッテリーと交換してください（📖 17)。
カセットの誤消去防止ツマミを確認してください	カセットが録画できない状態になっています。別のカセットと入れ換えるか、カセットの誤消去防止ツマミをRECに切り換えてください（📖 180)。
カセットを取り出してください	テープ保護のため、本機が動作を中止しました。カセットを取り出して最初から操作をやり直してください（📖 20)。
入力を確認してください	ＤＶケーブルがＤＶ端子に、またはUSBケーブルがUSB端子にきちんと接続されていない、または接続されたデジタルビデオ機器の電源が切れています。 ケーブルと端子、電源を確認してください（📖 81、85)。
結露しています	ビデオカメラ内部に水滴がついています（📖 188)。
テープ終了です	テープが最後まで巻かれています。カセットを巻戻か、取り出してください（📖 20、37)。
記録フォーマットが異なります 再生できません	HDV方式で記録されているテープです。再生できません。 （再生中表示されます）
記録フォーマットが異なります テープを確認してください	HDV方式で記録されているテープです。アフレコができません。
テープを確認してください [記録モード]	長時間録画モードで記録された部分です。アフレコできません（📖 89)。
テープを確認してください [オーディオモード]	16bitまたは12bit 4チャンネルで記録された部分です。アフレコできません（📖 89)。
テープを確認してください [録画していません]	記録されていない部分のため、アフレコできません（📖 89)。
クリーニングカセットを使ってください [ヘッドよごれ]	録画を開始した直後、ビデオヘッドが汚れているときに表示されます。必ずビデオヘッドのクリーニングをしてください（📖 182)。
カードがありません	カードがビデオカメラ本体に入っていません（📖 94)。
カードの誤消去防止ツマミを確認してください	SDメモリーカードが記録（書き込み）ができない状態になっています。SDメモリーカードの誤消去防止ツマミを記録できる状態に切り換えてください（📖 94)。
画像がありません	カードに再生する画像がありません。
カードエラーです	カードにエラーがあり、記録、再生できません。 一時的にカードエラーが起きる場合があります。「カードエラーです」の表示が4秒後に消えて▭が赤色で点滅するときは、電源を切り、カードを出し入れしてください。▭が緑色点灯すれば、そのまま記録、再生できます。
カードがいっぱいです	カードに空き容量がありません。別のカードと入れ換えるか、画像を消去してください。
ファイル名が作成できません	ファイル番号やフォルダー番号が最大になりました。
この画像は記録できません	アナログ入力した映像をカードに記録するときに、信号の状態によっては記録できないことがあります。

この画像は再生できません	再生できない画像タイプ、互換性のないJPEG画像、またはデータが破壊されている画像を再生しようとしました。
この画像は起動画面にできません	本機以外、または異なる画像タイプで記録した静止画、またはパソコンに取り込んで加工した静止画を起動画面に設定しようとしました。
送信指定エラー	送信指定の設定可能な画像の枚数（200枚）を超えました（ 150)。
転送できません	動画は「 パソコンの背景」では転送できません。
静止画像が多すぎます USBケーブルをぬいてください	USBケーブルを抜いて、カードの静止画が1800枚以下になるまで消去してから、USBケーブルを接続し直してください。OSの設定によっては、パソコンにエラー画面が出ることがあります。このような場合は、画面を閉じてから、USBケーブルを接続し直してください。

著作権保護信号

コピー制限されています 再生できません	(本機が再生側の場合) 著作権保護信号が記録されているテープです。再生できません。
コピー制限されています 記録できません	(本機が録画側の場合) 著作権保護信号が記録されているテープです。記録できません。または、アナログ入力時に、テレビやビデオから出力される信号が乱れています（ 83、85)。

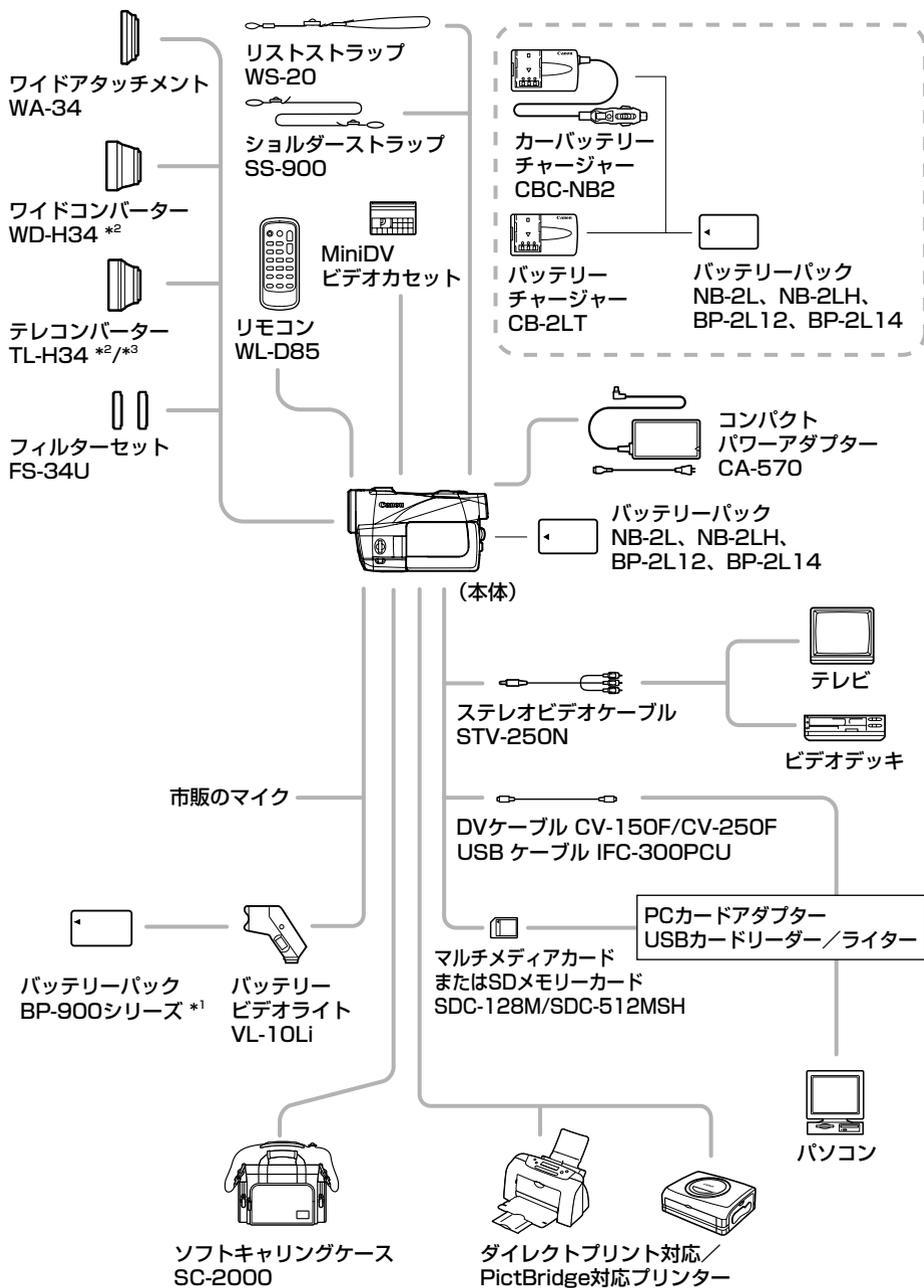
ダイレクトプリント対応プリンターの接続時に出るお知らせ表示

本機とダイレクトプリント対応プリンターを接続時に、本機の画面に次のお知らせ表示が出ることがあります。対処方法については、プリンターの使用説明書をあわせてご覧ください。
キヤノン製プリンターPIXUS／SELPHY DSシリーズ（操作パネル付き）の場合、操作パネルや接続したテレビに表示されるエラー番号やエラーメッセージも、プリンタの使用説明書でご確認ください。

ペーパーエラー	ペーパーに異常があります。 印刷できないサイズのペーパーがプリンターに取り付けられているか、または指定されたペーパーで印刷できないインクが取り付けられています。 また排紙トレイが閉じているときは、開けてください。
ペーパーがありません	プリンターにペーパーが正しく入っていない、またはペーパーがありません。 カセットに対応しているプリンターの場合、給紙切り替えボタンでペーパーがセットされている給紙先を指定してください。
ペーパーが詰まりました	印刷中にペーパーが詰まりました。 [中止]を選び印刷を中止ます。ペーパーを取り除いた後、ペーパーをセットし、プリンターのリセットボタンを押してください
ペーパーが変更されています	ペーパーを選んでから印刷を開始するまでの間に、ペーパーサイズが変わりました。

ペーパーの種類が違います	プリンターで使用できないペーパーを選んでいます。使用できるペーパーを選んでください。
指定外のペーパーです	本機で扱えないペーパーがプリンターに取り付けられました。
インクエラー	インクに異常があります。
インクがありません	インクが正しくセットされていない、またはインクがありません。
インクが残りわずかです	インクの交換時期が近づいています。[続行]を選ぶと、印刷を再開します。
インクカセットが異常です	インクカセットに異常があります。
ペーパーとインクが不一致です	指定された用紙で使用できるインクではありません。
廃インクタンクが満杯です	[続行]を選ぶと印刷を再開しますが、お早めにご購入になった販売店または修理受付窓口（プリンターに付属の一覧参照）に、廃インクタンク（廃インク吸収体）の交換を依頼してください。
ファイルエラー	本機以外、または異なる画像タイプで記録した静止画、またはパソコンに取り込んで加工した静止画を印刷しようとしました。
プリントできない画像です	本機以外、または異なる画像タイプで記録した静止画、またはパソコンに取り込んで加工した静止画を印刷しようとしました。
プリントできない画像が＊枚ありました	本機以外、または異なる画像タイプで記録した静止画、またはパソコンに取り込んで加工した静止画を＊枚DPOF設定で印刷しようとしました。
プリント指定が必要です	プリント指定していない静止画を、カード再生メニューの「➡ プリント」を使って印刷しようとしました。
プリント指定エラー	プリント指定の設定可能な静止画の枚数（200枚）を超えました（141）。
トリミングできない画像です	本機以外で撮影した静止画では、トリミングできないことがあります。
トリミングの再設定が必要です	トリミングの設定後に「スタイル」の設定を変更しました。
プリンタートラブル発生	[中止]を選んで印刷を中止し、接続ケーブルを抜いて、プリンターの電源を切ります。しばらくしてから、電源を入れ直し、接続ケーブルを接続してください。プリンターの状態を確認してください。 それでもエラーが表示されるときは、ご購入になった販売店または修理受付窓口（プリンターに付属の一覧参照）にご相談ください。
プリントエラー	「中止」を選んで印刷を中止し、プリンターの電源を切って、しばらくしてから電源を入れ直してください。ボタンを使って印刷しているときは、印刷設定を確認してください。プリンターの状態を確認してください。 それでもエラーが表示されるときは、ご購入になった販売店または修理受付窓口（プリンターに付属の一覧参照）にご相談ください。

ハードウェアエラー	[中止]を選んで印刷を中止し、プリンターの電源を切って、しばらくしてから電源を入れ直してください。 プリンターの状態を確認してください。 また、バッテリーを使用できる機種でバッテリーが消耗している場合には、いったんプリンターの電源を切り、バッテリーを交換後、電源を入れ直してください。それでもエラーが表示されるときは、ご購入になった販売店または修理受付窓口（プリンターに付属の一覧参照）にご相談ください。
プリンターバッテリー切れです	プリンターの電池がなくなりました。
通信エラー	通信中にエラーが発生しました。「中止」を選んで印刷を中止し、接続ケーブルを抜いて、プリンターの電源を切ります。しばらくしてから、電源を入れ直し、接続ケーブルを接続してください。ボタンを使って印刷しているときは、印刷設定を確認してください。 または、大量の画像が記録されたカードを使って印刷しようとしました。画像の枚数を減らしてください。
設定を確認してください	ボタンを使って印刷するときに、プリンターで対応していない設定になっています。
サイズを選びなおしてください	ビデオカメラとプリンターでペーパーサイズの設定が異なっています。
プリンターは使用中です	使用中です。プリンターの状態を確認してください。
プリンターは準備中です	準備中です。しばらくして表示が消えない場合は、プリンターの状態を確認してください。
紙間レバー位置が不正です	紙間レバー位置を正しい位置に直してください。
プリンターカバーが開いています	プリンターのカバーを閉じてください。
プリンターヘッド未装着	プリントヘッドが取り付けられていないか、プリントヘッドの不良です。プリンターの使用説明書をご覧ください。

キヤノンビデオシステム

*[1] バッテリーパックBP-900シリーズを充電するときは、コンパクトパワーアダプターCA-920（別売）または、デュアルバッテリーチャージャー/ホルダーCH-910（別売）をお使いください。

*[2] 本機にワイドコンバーター、テレコンバーターを取り付けたとき、ミニビデオライトやフラッシュを使用時に影が出ることがあります。

*[3] テレコンバーターを装着時は、ビデオカメラが被写体に近づける距離が変わります。
ズームのWの端：約2.5cm、Tの端：約2.5m

アクセサリーはキヤノン純正品のご使用をおすすめします。

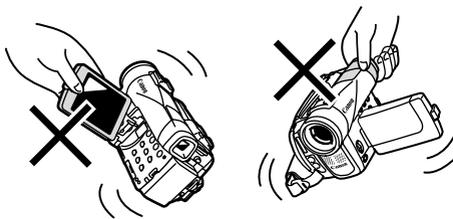
本製品は、キヤノン純正の専用アクセサリーと組み合わせて使用した場合に最適な性能を発揮するように設計されておりますので､キヤノン純正アクセサリーのご使用をおすすめいたします。なお、純正品以外のアクセサリーの不具合（例えばバッテリーパックの液漏れ、破裂など）に起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。また、この場合のキヤノン製品の修理につきましては、保証の対象外となり、有償とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

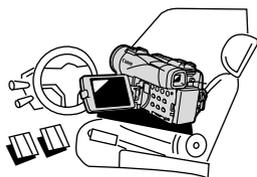
このマークは、キヤノンのビデオ関連商品の純正マークです。キヤノンのビデオ機器をお求めの際は、同じマークもしくはキヤノンビデオ関連商品をおすすめします。

記載内容は、2005年1月現在のものです。

取り扱い上のご注意

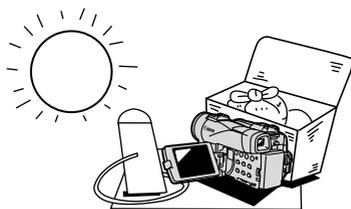
ビデオカメラについて

液晶画面やファインダーをつかんで、本機を持ち上げない

高温、多湿の場所に放置しない

炎天下の密閉された車内など、高温や多湿の場所に製品を放置しないでください。

強い磁気の発生する場所で使わない

テレビの上、プラズマテレビの近く、携帯電話の近くやテレビ塔の近くなど、強い電波や磁気を発生する場所での撮影/再生や操作は避けてください。映像や音声が乱れたり、ノイズが入ることがあります。

太陽や強いライトにレンズやファインダーを向けない

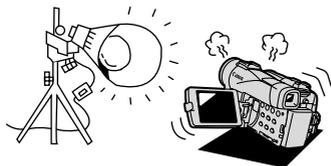
レンズやファインダーの接眼レンズは、絶対に太陽や強いライトに向けないでください。また輝度差の大きな被写体にカメラを向けたまま放置しないでください。

ホコリや砂の多い場所では使わない

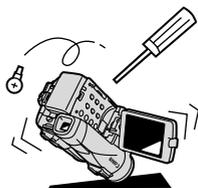
ホコリや砂のつきやすい場所での使用、保存は避けてください。砂が本機やビデオカセット内部に入ると故障の原因となることがあります。また、レンズにホコリや砂がつくのを防止するため、使用後は必ずレンズキャップを付けてください。

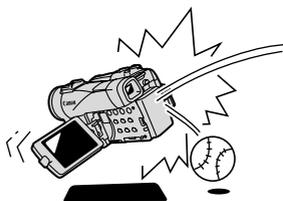
水や泥、塩分に注意する

本機は防水構造になっていません。水や泥、塩分などが本機やビデオカセット内部に入ると故障の原因となることがあります。

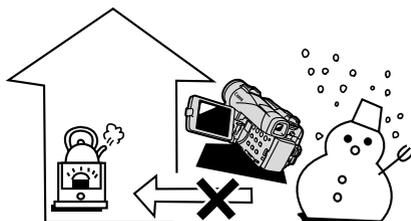
照明器具に注意する

照明器具を使うときは、器具から発生する熱に十分注意してください。

分解しない

分解して内部に触れないでください。正常に作動しないときは、キヤノンサービスセンターにご相談ください。

振動や衝撃を与えない

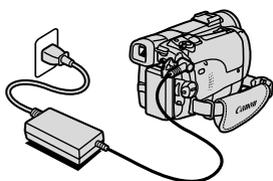
強い振動や衝撃は故障の原因になります。製品はていねいに取り扱ってください。

極端な温度差にさらさない

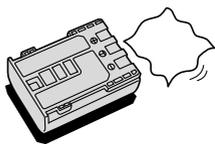
寒い場所で使った製品を急に暖かい室内に持ち込むと、製品内部に水滴（結露）が生じることがあります。温度差のある場所へ移動するときは、事前にカセットを本体から取り出してください。万一、結露が起きたときは、「結露について」（📖 188）の指示に従ってください。

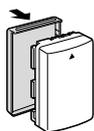
その他

バッテリーパックについて

このバッテリーパックは、リチウムイオン電池を使用しておりますので、充電する前に使い切ったり、放電する必要はありません。いつでも充電できます。

必ず充電してから使う

バッテリーパックは、出荷時に少し充電してありますので、ビデオカメラなどの動作確認ができます。長時間使用する場合や、動作確認ができない場合には、バッテリーを充電してから、お使いください。

端子はいつもきれいにしておく

バッテリーパック、充電器、ビデオカメラの⊕、⊖などの端子は常にきれいにしておいてください。使わないときは、ショート端子用カバーを取り付けてください。また、接触不良、ショート、破損の原因となりますので、端子の間に物が入り込まないようにしてください。

持ち運びや保存の際は、必ず付属のショート防止用端子カバーを取り付ける(図A)

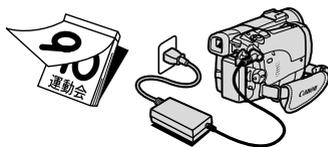
キーホルダーなどの金属で⊕と⊖の端子をショートさせると（図B)、バッテリーパックの破損の原因となることがあります。

（図A）

（図B）

充電は使用直前にする

充電しておいたバッテリーパックも内部の化学変化によって、少しずつ自然に放電してしまいます。使用する当日または前日に充電することをおすすめします。

充電完了まで充電した状態で保管するとバッテリーパックの寿命を縮めたり、性能の低下の原因となることがあります。

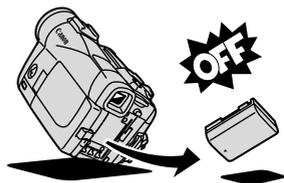
長い時間ビデオカメラを使用しないときは、画面に「バッテリーパックを取りかえてください」が出るまでバッテリーパックを使ってから、取りはずして保管することをおすすめします。

充電したのに、バッテリーパックの使用時間が極端に短いときは

常温で使用している場合は、寿命と考えられます。新しいバッテリーパックをお求めください。

こまめに電源を切って使う

- 撮影中はもちろん、撮影一時停止中でもバッテリーパックは消耗します。電源スイッチでこまめに電源を切ることが、使用時間を長くさせるコツです。
- バッテリーパックは0℃～40℃の範囲で使用できますが、性能を十分に発揮させるためには10℃～30℃で使用することをおすすめします。スキー場などでは、バッテリーパックの性能が一時的に低下し、使用時間が短くなります。ポケットなどに入れて温めてから使用すると効果的です。

使用しないときは、ビデオカメラから取りはずす

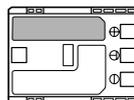
ビデオカメラにバッテリーパックを取り付けたままにしておくと、電源が切れていても少しずつバッテリーを消耗します。長い間ビデオカメラを使用しないときは、必ずバッテリーパックを取りはずして、湿度の低い、室温30℃以下の場所で保管してください。

バッテリーパックを長時間使用しない場合でも、機能を維持するために、次のことをおすすめします

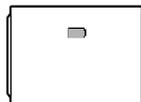
・ 湿度の低い室温で保管する。
・ 1年に1回程度、充電完了まで充電してから、ビデオカメラに取り付け、画面に「バッテリーを取りかえてください」が出るまでバッテリーパックを使う。複数のバッテリーパックをお持ちの場合、同時期に行う。

ショート防止用端子カバーについて

ショート防止用端子カバーには、「▭」の穴があります。バッテリーパックに端子カバーを取り付けるときに「▭」の位置を変えることで、充電済みのバッテリーパックを見分けるのに便利です。

例：充電したバッテリーパックの場合は、端子カバーをラベルの青が見えるように取り付ける

バッテリーパックの裏面

端子カバーの取り付け後

充電した場合

充電していない場合

・ この製品には、リチウムイオン電池を使用しています。
・ リチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。
・ リチウムイオン電池の回収・リサイクルについては、下記のキヤノンホームページで確認できます。
　　キヤノン サポートページ　　http://canon.jp/support
・ 交換後不要になった電池は、ショートによる発煙、発火の恐れがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼るか、個別にポリ袋に入れてリサイクル協力店にある充電式電池回収BOXに入れてください。
・ リサイクル協力店のお問い合わせは、以下へお願いします。
　・ビデオカメラ、リチウムイオン電池をご購入いただいた販売店
　・(社)電池工業会　小形二次電池再資源化推進センター及び充電式電池リサイクル協力店くらぶ事務局*

Li-ion

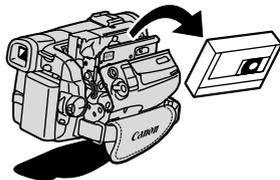
* (社)電池工業会　電話番号 03-3434-0261

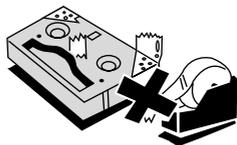
ビデオカセットについて

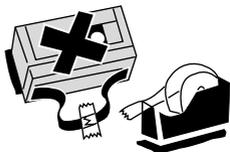
カセットは使用後、必ず巻戻す

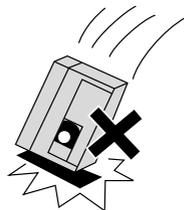
テープがたるんで傷み、テープに記録した映像や音声が劣化する原因となります。

カセットはケースに入れて、立てて保管する

カセットを本体に入れたまま放置しない

セロハンテープなどで、テープの穴をふさがない

カセットの裏面には、テープの種類などを検出する各種の穴があります。

テープをつなぎ合わせたカセットや規格外のカセットは使用しない

故障の原因となります。

カセットを落としたり、ぶつけたりして過度な衝撃を与えない

内部のテープがたるみ、故障の原因となります。

カセットを長期間保管するときは、時々巻き直す

傷のついたテープは使用しない

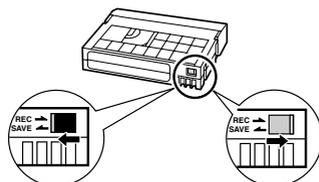
ヘッド汚れの原因となります。

金メッキ端子付きのカセットの場合は、カセットを十数回出し入れしたら、綿棒で金メッキ端子をきれいにする

本機は、カセットメモリー付きカセットのカセットメモリー機能には対応していません。

間違って消さないために

大切な映像を録画したカセットを誤って消去しないようにするには、カセットの背にある誤消去防止ツマミをSAVEにしてください。誤消去防止ツマミをRECに戻せば、再び録画できます。

・ カメラモードのときに、録画できない状態のカセットを本体に入れると、画面に「カセットの誤消去防止ツマミを確認してください」が4秒間点灯し、その後「」が赤く点滅します。

SAVE (録画できない)　　REC (録画できる)

コイン型リチウム電池について

プラス（+）とマイナス（−）を確認して、正しく入れる

接触不良を防ぐため、電池を乾いた布で拭いてから入れる

金属のピンセットなどでつかまない

ショートします。

分解や加熱をしたり、水の中に入れたりしない

破裂する恐れがあります。また、捨てるときは、燃えないゴミとして、適宜処理してください（地域によって異なります）。

カードについて

新規にカードを購入した際には、本機でフォーマットを行う

パソコンなど本機以外でフォーマットしたカードは、正常に使えないことがあります。

カードに記録した画像などのデータは、パソコンで外部記憶機器やハードディスクを使ってバックアップを取っておく

カードの故障、静電気などにより記録したデータが破損したり、消えることがあります。その場合の記録内容の補償については、ご容赦ください。

カード動作ランプが点滅中は絶対にカードを出したり、ビデオカメラなどの電源を切ったり、ビデオカメラの電源を取りはずしたりしない

強い磁気の発生する場所で使わない

高温、多湿の場所に放置しない

分解しない

ぬらしたり、曲げたり、落としたり、強い衝撃を与えない

極端な温度差にさらさない

温度差のある場所へ急に移動するとカードの内部、表面に結露することがあります。結露したときは、そのまま使用せず、水滴が自然に消えるまで、常温で放置してください。

カードの裏にある端子部分にごみや水などの異物を付着させたり、手で触れたりしない

正しくない方向に無理に入れない

カードには表裏、前後の区別があり、破損の恐れがあります。

ラベルをはがしたり、他のシールなどを貼ったりしない

ビデオヘッドをクリーニングする

画面に「クリーニングカセットを使ってください［ヘッドよごれ]」と出ることがあります。また、テレビ番組はきれいに写るのに、ビデオでテープを再生すると画面がおかしくなったり、画像全体が青くなったりすることがあります。これは、ビデオヘッドの汚れが原因です。きれいな画像を撮影したり見たりするために、市販の乾式のヘッドクリーニングカセットを使って、こまめにビデオヘッドをきれいにしてください。

正常な画像

ビデオヘッドが汚れているときの画像

ヘッドクリーニングするときは

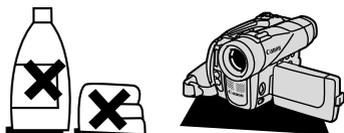
❍ 湿式のクリーニングカセットは使用しないでください。故障の原因となることがあります。

❍ ヘッドが汚れた状態で録画したテープは、ヘッドクリーニング後にも正常に再生できない場合があります。

日常のお手入れ／保管上のご注意

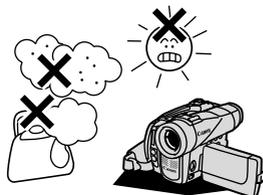
大切なビデオカメラやビデオカセット、カードをより長くお使いいただくために、日常のお手入れや保管方法には十分注意してください。

お手入れ

製品の汚れは乾いたやわらかい布で軽くふいてください。化学ぞうきんやシンナーなどの使用は、製品を傷めることがあるのでおやめください。

レンズはいつもきれいに

レンズの表面にホコリや汚れが付いていると、自動ピント合わせがうまく動作しないことがあります。レンズを常にきれいに保つようにしてください。最初にブロアーでレンズ表面のゴミ、ホコリを取り除き、それから汚れをふき取るようにしてください。

長期間使わないときは

製品を長期間ご使用にならない場合は、ホコリが少なく、湿度の低い、30℃以下の場所に保管してください。

各部のチェック

長期間使わなかった後のご使用や、重要な撮影の前には、各部の動作をチェックしてください。

ファインダーが汚れたときは

ブロアーでファインダー表面のゴミ、ホコリを取り除き、市販の眼鏡クリーナー（布製）などで拭いてください。

液晶画面について

- 汚れたときは市販の眼鏡クリーナー（布製）などで拭いてください。
- 温度差の激しいところでは、液晶画面に水滴がつくことがあります。柔らかい乾いた布で拭いてください。
- 寒冷地などで本機が冷え切っている場合は、電源を入れた直後は液晶画面が通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると、通常の明るさになります。

こんなときは

故障かな？と思っても、修理に出す前にもう一度確認してください。
特にほかの機器と接続しているときは、ケーブルの接続も確認してください。点検しても直らないときは、ご購入の店、またはキヤノンサービスセンターにご相談ください。

	こんなときは	考えられる原因	どうするの？	参照ページ
電源	**電源が入らない。**	バッテリーパックが消耗している。	十分に充電したバッテリーパックと交換する。	17
		バッテリーパックが正しく装着されていない。	バッテリーパックを正しく装着し直す。	17
	途中で電源が切れる。	バッテリーパックが消耗している。	十分に充電したバッテリーパックと交換する。	17
		撮影一時停止状態が5分以上続いた。	もう一度電源を入れる。	30
	グリップカバーを開いてもカセット入れが動かない。	バッテリーパックが消耗している。	十分に充電したバッテリーパックと交換する。	17
		グリップカバーが完全に開いていない。	止まるまで開く。	20
	カセット入れが動作中に止まって動かない。	バッテリーパックが消耗している。	十分に充電したバッテリーパックと交換する。	17
	画面がついたり消えたりをくり返す。	バッテリーパックが消耗している。	十分に充電したバッテリーパックと交換する。	17
	バッテリーパックが充電できない。	温度が0℃～40℃以外では充電できません。	0℃～40℃の温度で充電する。	19
		バッテリーパック使用直後はバッテリーの温度が高く、充電温度範囲外の場合があります。	バッテリーパックをしばらく放置して、温度が40℃以下になってから、充電を開始してください。	19
		バッテリーパックが故障している。	別のバッテリーパックを使う。	19
	操作ボタンを押しても動かない。	電源が入っていない。	電源を入れる。	30 37
		カセットが入っていない。	カセットを入れる。	20
撮影時・再生時	**画面で「 」が点滅する。**	カセットが入っていない。	カセットを入れる。	20
	画面で「 」が点滅する。	バッテリーパックが消耗している。	十分に充電したバッテリーパックと交換する。	17
	画面で「 」が点滅する。	ビデオカメラの内部に水滴が付いた。	結露の項目をご覧ください。	188
	画面で「カセットを取り出してください」が点滅する。	テープを保護する機能が働いている。	カセットを一度取り出して、入れ直す。	20

	こんなときは	考えられる原因	どうするの？	参照ページ
撮影時・再生時	リモコンが動作しない。	メニューでリモコンの設定が「切」になっている。	メニューでリモコンの設定を「入」にする。	155
		リモコンの電池が消耗した。	新しい電池と交換する。	25
撮影時	「⚡」が赤く点滅する。	本機が故障している。	サービスセンターにご相談してください。	巻末
	画面に映像が映らない。	カメラモードになっていない。	カメラモードにする。	30
	「エリア／日時を設定してください」が表示される。	世界時計のエリアまたは日時が設定されていない	エリアと日時を設定する	26
		コイン型リチウム電池が消耗している。	新しいコイン型リチウム電池CR1616と交換し、エリアと日時を設定し直す。	21
		コイン型リチウム電池を＋－逆に入れている。	コイン型リチウム電池の「＋」を手前にして入れ直し、エリアと日時を設定し直す。	21
	スタート／ストップボタンを押しても、録画しない。	電源が入っていない。	カメラモードにする。	30
		カセットが入っていない。	カセットを入れる。	20
		テープが終わっている（画面で「📼 END」が点灯している）。	テープを巻き戻すか、新しいカセットを入れる。	20 37
		カセットが録画できない状態になっている（画面で「📼」が点滅する）。	カセットの誤消去防止ツマミを確認する。	180
		カメラモード以外になっている。	カメラモードにする。	30
	ピントが合わない。	ピントの自動調整が苦手な被写体である。	手動でピントを合わせる。	53
		ファインダーの視度が合っていない。	視度調整レバーで画像がはっきり見えるように調整する。	22
		レンズが汚れている。	最初にブロアーでレンズ表面のゴミ、ホコリを吹き除いた後で、レンズを傷付けないように、乾いた柔らかい布で軽く拭いて、汚れを取り除く（ティッシュペーパーは使わないでください）。	183
	音が歪んだり、実際より小さく記録される。	大きな音の近く（打ち上げ花火や太鼓、コンサートなど）で撮影すると、音が歪んだり、実際より小さく記録されることがあります。故障ではありません。	－	

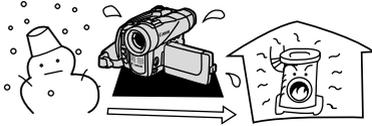
	こんなときは	考えられる原因	どうするの？	参照ページ
撮影時	**キラキラ光っていたり、極端に明るい被写体(一部に高輝度な部分がある被写体)を撮影すると、縦に帯が出る。**	CCDのスミア現象で故障ではありません。	－	
	ファインダーの画像がはっきりしない。	視度調整レバーで調整していない。	視度調整レバーで調整する。	22
再生時	**再生ボタンを押しても再生しない。**	電源が入っていない、または再生（VTR）モード以外になっている。	再生（VTR）モードにする。	37
		カセットが入っていない。	カセットを入れる。	20
		テープが終わっている（画面で「END」が点灯している）。	テープを巻き戻す。	37
		カードモードになっている。	テープモードにする。	37
	テレビに映像が出ない。	メニューで「AV/ヘッドホン🎧」が「ヘッドホン🎧」になっている。	メニューで「AV/ヘッドホン🎧」を「AV」にする。	41
		メニューで「AV→DV」が「入」になっている。	メニューで「AV→DV」を「切」にする。	87
	テープは回っているが、テレビに再生画像が出ない。	テレビのテレビ/ビデオ切換スイッチがビデオになっていない。	テレビ/ビデオ切換スイッチをビデオにする。	41
		ビデオヘッドが汚れている。	市販の乾式のヘッドクリーニングカセットでビデオヘッドをクリーニングする。	182
		コピー制限されたテープを再生またはダビング録画しようとしている。	再生またはダビング録画を中止してください。	171
	再生画像は出るが、内蔵スピーカーから音が出ない。	スピーカーの音量調整が「切」になっている。	設定ボタンで調整する。	39
	ヘッドホンから雑音しか聞こえない。	メニューで「AV/ヘッドホン🎧」が「AV」になっている。	メニューで「AV/ヘッドホン🎧」を「ヘッドホン🎧」にする。	40
	本機のDV端子に入力しても録画できない。	メニューで「AV→DV」が「入」になっている。	メニューで「AV→DV」を「切」にする	87
		信号の方式が異なっている。	アナログ入力では録画できる場合があります。接続した機器の使用説明書をご覧ください。	87

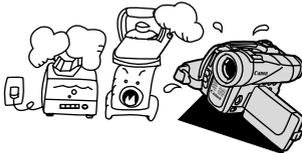
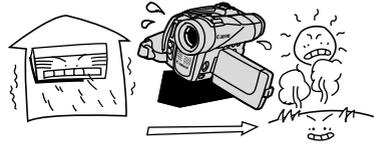
	こんなときは	考えられる原因	どうするの？	参照ページ
カード使用時	**カードが入らない**	カードの向きが正しくない。	正しい向きでカードを入れる。	94
	カードに記録できない。	すでにカードの容量いっぱいに記録してる。	不要な画像を消去してから撮影する。	121
		フォーマットされていないメモリーカードを使っている。	フォーマットしてからカードを使う。	127
		カードが入っていない。	カードを入れる。	94
		番号が最大になっている（ファイル名が作成できない）。	メニューで番号リセットを「する」に設定して、新しいカードを入れる。	97
		SDメモリーカードの場合、カードが記録できない状態になっている。	SDメモリーカードを記録できる状態に切り換える。	94
	カードの再生ができない。	カード再生モード以外になっている。	電源スイッチを「再生(VTR)」、テープ/カード切換スイッチを「 」にする。	116
		カードが入っていない。	カードを入れる。	94
	画像を消去できない。	画像がプロテクト設定されている。	プロテクト設定を解除する。	119
		SDメモリーカードの場合、カードが記録できない状態になっている。	SDメモリーカードを記録できる状態に切り換える。	94
	が赤色で点滅する。	カードエラーになっている。	電源を切る。 カードを出し入れする。 それでも点滅が続く場合は、フォーマットする。	94 127
印刷時	**本機とプリンターが正しく接続されているのに、プリンターが動作しない。**	電源スイッチが「ネットワーク」になっている。	本機をカード再生モードにして、接続ケーブルを抜き差しし、プリンターの電源を入れ直してください。	129

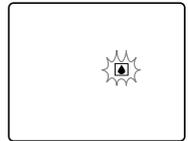
本機はマイコンを使用した機器です。外部からの雑音やノイズ、静電気などにより液晶画面／ファインダーに通常でない文字が出たり、正常に動作しないことがあります。このような場合は、電源およびコイン型リチウム電池をいったん取りはずし、しばらくしてから取り付け直して、操作してください。

結露について

夏季、よく冷えたビールをコップに注ぐと、コップの表面に水滴がつくことがあります。この現象を結露といいます。ビデオカメラを結露した状態で使用すると故障の原因になりますので注意してください。

・ 寒い所から急に暖かい所に移動したとき

・ 寒い部屋を急に暖房したとき

・ 湿度の高い部屋の中

・ 夏季、冷房のきいた部屋から急に温度や湿度の高い所に移動したとき

結露したときは？

電源ランプが点滅して、本機は自動的に停止します。画面に「結露しています」が約4秒間表示され、「」が点滅します。カセットが入っている場合は、「結露しています」のあとで、「カセットを取り出してください」が表示され、「」が点滅します。

カセットが入っている場合は、すぐに取り出して、カセット入れを開いたまま乾燥した所に置いてください（結露したときは、電源スイッチとカセット取り出しスイッチのみ働きます）。カセットを中に入れたまま放置すると、テープを傷める可能性があります。また、結露したときは、カセットを本体に入れようとしても入りません。

結露を防ぐためには

温度差のある場所へ急に移動するときは、事前にカセットを取り出し、ビデオカメラをビニール袋に入れて密閉してから移動します。ビデオカメラが移動先の温度と同じになってから袋から取り出すと、結露を防ぐことができます。

使い始めるには

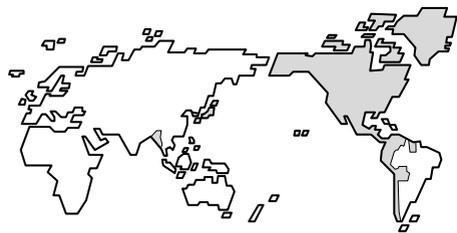
水滴が消えるまでの時間は、周囲の環境によって多少異なりますが、約1時間程度です。電源を入れて、画面の「」が点滅しなくなっても、念のためさらに1時間くらい放置してください。

海外で使うとき

本製品は、海外でもお使いになれますが、次のことにご注意ください。

テレビでの再生

録画したビデオカセットを現地のテレビでご覧になる場合、日本国内で採用しているNTSC方式（カラー受信方式の1つ）で、映像/音声入力端子のついたテレビが必要になります。

NTSC方式は以下の国／地域で採用されています。
日本放送出版協会発行「世界のラジオとテレビジョン1988」による

- アメリカ合衆国
- エクアドル
- カナダ
- キューバ
- グアム
- 大韓民国
- チリ
- ドミニカ
- トリニダード・トバゴ
- ニカラグア
- バミューダ
- プエルトルコ
- ベネズエラ
- ペルー
- 米領サモア
- ボリビア
- グァテマラ
- グリーンランド
- コスタリカ
- コロンビア
- スリナム
- セントルシア
- ハイチ
- パナマ
- バハマ
- バラバドス
- ミャンマー
- フィリピン
- ホンジュラス
- ミクロネシア
- メキシコ
- 台湾

電源について

コンパクトパワーアダプターCA-570は、AC100～240V 50/60Hzまでの電源に接続できます。ただし、電源コンセントの形状が異なる国では、変換プラグアダプターが必要になります（1つの国／地域の中でも地域によってコンセントの形状が異なる場合があります）。
コンパクトパワーアダプターCA-570を海外旅行者用の電子式変圧器などに接続すると、故障のおそれがありますので、使用しないでください。

変換アダプターについては、旅行代理店などで確認の上、あらかじめご用意ください。

海外の電源コンセントの種類

タイプ	A	B	BF	C	S
コンセントの形状					
変換プラグ	不要です				

主な国名と使用するプラグの種類（参考資料）

●北米	
アメリカ合衆国	A
カナダ	A

●ヨーロッパ	
アイスランド	C
アイルランド	C
イギリス	B. BF
イタリア	C
オーストリア	C
オランダ	C
ギリシャ	C
スイス	C
スウェーデン	C
スペイン	A. C
デンマーク	C
ドイツ	C
ノルウェー	C
ハンガリー	C
フィンランド	C
フランス	C
ベルギー	C
ポーランド	B. C
ポルトガル	B. C
ルーマニア	C

●アジア	
インド	B. C. BF
インドネシア	C
シンガポール	B. BF
スリランカ	B. C. BF
タイ	A. BF. C
大韓民国	A. C
中華人民共和国	A. B. BF. C. S
ネパール	C
パキスタン	B. C
バングラデシュ	C
フィリピン	A. BF. S
ベトナム	A. C
香港特別行政区	B. BF
マカオ特別行政区	B. C
マレーシア	B. BF. C

●オセアニア	
オーストラリア	S
グアム	A
タヒチ	C
トンガ	S
ニュージーランド	S
フィジー	S

●中南米	
アルゼンチン	BF. C. S
コロンビア	A
ジャマイカ	A
チリ	B. C
ハイチ	A
パナマ	A
バハマ	A
プエルトリコ	A
ブラジル	A. C
ベネズエラ	A
ペルー	A. C
メキシコ	A

●中近東	
イスラエル	C
イラン	C
クウェート	B. C
ヨルダン	B. BF

●アフリカ	
アルジェリア	A. B.BF. C
エジプト	B. BF. C
カナリア諸島	C
ギニア	C
ケニア	B. C
ザンビア	B. BF
タンザニア	B. BF
南アフリカ共和国	B. C. BF
モザンビーク	C
モロッコ	C

保証書とアフターサービス

本機の保証は日本国内を対象としています。万一海外で故障した場合の現地でのアフターサービスはご容赦ください。

保証書

本体には保証書が添付されています。必要事項が記入されていることをお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

製品の保証について

1 本製品が万一故障したときは、本製品と保証書をご持参のうえ、ご購入いただいた販売店またはキヤノンサービスセンターにご相談ください。

2 保証期間内でも保証の対象にならない場合もあります。詳しくは保証書に記載されている保証内容のご案内をご覧ください。
保証期間はご購入日より1年間です。

3 保証期間経過後の修理は原則として有料となります。

4 本製品などの不具合により録画されなかった場合の付随的損害（録画、録音に要した諸費用および得べき利益の損失など）については、保証致しかねます。

修理を依頼されるときは

5 修理品をご持参いただくときは、不具合の見本となるビデオカセットを添付するなどしたうえ、不具合の内容／修理箇所を明確にご指示ください。

補修用性能部品について

6 ビデオカメラ補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の保有期間は、製造の打ち切り後8年です。従って期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、故障の原因や内容によっては、期間中でも修理が困難な場合と、期間後でも修理が可能な場合がありますので、その判断につきましてはご購入店、またはキヤノンサービスセンターにお問い合わせください。

修理料金について

7 修理料金は故障した製品を正常に修復するための技術料と修理に使用する部品代との合計金額からなります。

修理見積につきましては、窓口で現品を拝見させていただいてから概算をお知らせいたします。なお、お電話での修理見積依頼につきましては、おおよその仮見積になりますので、その旨ご承知おきください。

主な仕様

FV M200

システム

録画方式	回転2ヘッドヘリカルスキャン DV方式（民生用デジタルVCR SD方式）
映像記録方式	デジタルコンポーネント記録
音声記録方式	PCMデジタル記録　16bit (48kHz/2ch) 12bit (32kHz/4ch)
信号方式	NTSC方式準拠
使用可能ビデオカセット	Mini DVのついたミニDVカセット
テープ速度	約18.81mm/秒（SPモード時） 約12.56mm/秒（LPモード時）
録画/再生時間	80分（80分テープ使用時/SPモード時） 120分（80分テープ使用時/LPモード時）
早送り/巻戻し時間	約2分20秒（60分テープ使用時）
撮像素子	1/4.5型CCD、総画素数133万画素 有効画素カード：約123万画素　テープ：約69万画素
液晶画面	2.5型TFTカラー液晶（約12.3万画素）
ファインダー	0.33型　TFTカラー液晶（約11.3万画素）
マイク	ステレオエレクトレットコンデンサーマイク
レンズ	f=3.5-70mm　F=1.8～3.5　電動20倍ズーム 35mmフィルム換算時の焦点距離 テープ：4:3撮影時：50.5～1010mm ワイドTV撮影時（手ぶれ補正「入」）：44.6～892mm ワイドTV撮影時（手ぶれ補正「切」）：41.3～826mm カード：37.9～758mm
レンズ構成	8群10枚
フィルター径	34mm
焦点調整	TTL自動焦点、マニュアル調整可
最短撮影距離	ワイド端1cm、ズーム全域1m
色温度切り換え	フルオート（セット、屋内、屋外付）
最低被写体照度	約1.8ルクス（ナイトモード時）
推奨被写体照度	100ルクス以上
手ぶれ補正機能	電子式
記録カード	マルチメディアカード、SDメモリーカード
カード記録画素数	静止画：1280×960、640×480画素（ピクセル） 動画：320×240、160×120画素（ピクセル）（15フレーム/秒）
カード記録フォーマット	DCF準拠、Exif 2.2準拠、DPOF対応
画像圧縮方法	静止画：JPEG（スーパーファイン、ファイン、ノーマル） 動画：画像データ：Motion JPEG、音声データ：WAVE（モノラル）

FV M200は、DCFに準拠しています。DCFは、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）で主として、デジタルカメラ等の画像ファイル等を、関連機器間で簡便に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。
FV M200は、Exif 2.2（愛称「Exif Print」）に対応しています。Exif Printは、ビデオカメラとプリンターの連携を強化した規格です。Exif Print対応のプリンターと連携することで、撮影時のカメラ情報を活かし、それを最適化して、よりきれいなプリント出力が得られます。

入・出力端子（レベル／インピーダンス）

映像/音声端子*	φ3.5mm　4極ミニジャック、1Vp-p/75Ω 出力時：-10dBV (47kΩ負荷時)/3ｋΩ以下 入力時：-10dBV /40kΩ以上
USB端子	mini-B
DV端子	マルチコネクター、IEEE1394準拠
外部マイク端子	φ3.5mm ステレオミニジャック、-57dBV（600Ωマイク使用時）/5kΩ以上
ヘッドホン端子*	φ3.5mm ステレオミニジャック

* 映像/音声端子は、ヘッドホン端子と兼用です。

電源その他

電源電圧	DC7.4V
消費電力	ファインダー使用時：約2.6W（録画中、AF合焦時） 液晶画面使用時：約3.2W（録画中、AF合焦時明るさ標準）
動作温度	0℃～+40℃
外形寸法	約72×78×131mm （幅×高さ×奥行き）（小突起部を含まず）
撮影時総質量	約560g （バッテリーパックNB-2LH、レンズキャップ、コイン型リチウム電池、ビデオカセット30分用、マルチメディアカード MMC-16M含む）
本体質量	約500g

コンパクトパワーアダプター　CA-570

電源	AC 100V-240V、50/60Hz
出力／消費電力	公称DC8.4V、1.5A/29VA（100V)～39VA（240V）
使用温度	0℃～+40℃
外形寸法（幅×高さ×奥行き）	約52×29×90mm
本体質量	約135g

バッテリーパック　NB-2LH

使用電池	リチウムイオン
使用温度	0℃～+40℃
公称電圧	DC7.4V
容量	720mAh
外形寸法（幅×高さ×奥行き）	約33.3×16.2×45.2mm
質量	約43g

マルチメディアカード　MMC-16M

記憶容量	16MB
使用温度	0℃～+40℃
外形寸法	約32×24×1.4mm
質量	約1.5g

※仕様および外観は予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

索引

ア行

カ行

サ行

タ行

修理サービスご相談窓口

故障などについてご相談になるときは、下記の項目をお知らせください。

型名：FV M200
故障の状態：できるだけ詳しく
ご購入年月日：

サービスセンター（修理サービスご相談窓口）

札　幌	〒060-8522	札幌市北区北七条西1ー1ー2　SE山京ビル1F	011(728)0665
仙　台	〒980-8560	仙台市青葉区国分町3ー6ー1　仙台パークビル1F	022(217)3210
大　宮	〒330-0854	さいたま市大宮区桜木町1ー10ー17　シーノ大宮サウスウイング6F	048(649)1450
銀　座	〒104-0061	東京都中央区銀座5ー9ー9	03(3573)7834
新　宿	〒163-0401	東京都新宿区西新宿2ー1ー1　三井ビル1F	03(3348)4725
横　浜	〒220-0004	横浜市西区北幸2ー6ー26　HI横浜ビル2F	045(312)0211
名古屋	〒461-8511	名古屋市東区東桜2ー2ー1　高岳パークビル1F	052(939)1830
梅　田	〒530-8260	大阪市北区梅田3ー3ー10　梅田ダイビルB1	06(4795)9100
広　島	〒730-0051	広島市中区大手町3ー7ー5　広島パークビル1F	082(240)6712
高　松	〒760-0027	高松市紺屋町4ー10　鹿島紺屋町ビル1F	087(823)4681
福　岡	〒812-0017	福岡市博多区美野島1ー2ー1　キヤノン販売福岡ビル1F	092(411)4173

東日本修理センター
〒261-8711　千葉市美浜区中瀬1ー7ー2　キヤノン販売幕張ビル1F　043(211)9032
西日本修理センター
〒530-0005　大阪市北区中之島6ー1ー21　06(6459)2570

● 休業のご案内
新宿、梅田（日曜日、祝祭日）
その他（土・日曜日、祝祭日）

●営業時間のご案内
銀座、新宿、梅田：10:00 ～ 18:00
その他：9:00 ～ 17:30

● 所在地、電話番号が変更になる場合がございますのであらかじめご了承ください。（2005年3月現在）

Canon

キヤノン株式会社

キヤノン販売株式会社

〒108-8011　東京都港区港南2-16-6

（2005年1月1日現在）

製品の取り扱い方法に関するご相談窓口

製品名	お問い合わせ
FV M200	**キヤノン販売　お客様相談センター**

（全国共通番号）050-555-90003

受付時間：平日 9:00〜20:00　土・日・祝日 10:00〜17:00
（1月1日〜1月3日を除く）

※上記番号をご利用いただけない方は043-211-9394をご利用ください。
※上記番号はIP電話プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。

キヤノンデジタルビデオカメラホームページのご案内

キヤノンデジタルビデオカメラのホームページを開設しています。最新の情報が掲載されておりますので、インターネットをご利用の方は、ぜひお立ち寄りください。

デジタルビデオカメラ製品情報　http://canon.jp/dv
キヤノン サポートページ　http://canon.jp/support

保証書別添付　保証書は必ず「購入店・購入日」等の記入を確かめて、購入店よりお受け取りください。

Li-ion

リチウムイオン電池のリサイクルにご協力ください。

この使用説明書は100%再生紙を使用しています。

PUB. DIJ-193C
0000A/Ni0.0

DY8-9010-141-000

PRINTED IN JAPAN